

国土技術政策総合研究所資料

TECHNICAL NOTE of
National Institute for Land and Infrastructure Management

No.1141

December 2020

観光振興に資する公園緑地の魅力向上に関する資料

影本信明・竹谷修一

Technical Note on Improving the Attractiveness of Parks and Green Spaces that Contribute to Tourism Promotion

KAGEMOTO Nobuaki and TAKEYA Shuichi

国土交通省 国土技術政策総合研究所

National Institute for Land and Infrastructure Management
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Japan

観光振興に資する公園緑地の魅力向上に関する資料

影本信明	*
竹谷修一	**

Technical Note on Improving the Attractiveness of Parks and Green Spaces that Contribute to Tourism Promotion

KAGEMOTO Nobuaki
TAKEYA Shuichi

概要

観光地として世界的に著名な公園を対象に、これら公園の観光資源としての特徴や、都市景観に与えている影響などを文献調査などで把握・整理し、これを基に我が国の公園緑地の観光的活用方策について検討し、観光振興に資する公園緑地の魅力向上に関する留意事項と事例をとりまとめた。

キーワード : 公園緑地、観光振興、魅力向上

Synopsis

In this study, we conducted preliminary research targeting world-famous parks functioning as tourism attractions to identify and organize their characteristics as tourism resources and their effects on urban landscapes through literature searches and so on. In light of this, we considered the measures for using parks green spaces in our country for tourism and summarized the points to note and examples of improving the attractiveness of them that contribute to tourism.

Key Words : parks and green spaces, tourism promotion, improvement of attractiveness

* 都市研究部 都市防災研究室
主任研究官

** 都市研究部 都市防災研究室長

Senior Researcher, Urban Disaster Mitigation Division

Head, Urban Disaster Mitigation Division

はじめに

平成 28 年 3 月「明日の日本を支える観光ビジョン」が発表され、「観光先進国になる」という目標のもと、観光を我が国の新たな基幹産業と捉え、取り組みが進んでいるところです。

地域の観光振興のためには、観光の拠点となる公園緑地の存在が重要であり、また、併せてそれらの公園緑地の魅力を向上させるとともに、有効な活用方策が講じられることが望まれます。

公園緑地の魅力を向上させるためには、どのような要件に対してどのような対策を講じるべきかを知ることが必要であり、それをまとめた知見を「観光振興に資する公園緑地の魅力向上に関する資料」としてとりまとめました。

本資料によって、必要な要件を見いだすことを可能にすることを目的としたものであり、今後の我が国の観光振興に寄与することを祈念するものです。

令和 2 年 12 月

国土技術政策総合研究所
都市研究部都市防災研究室

目 次

はじめに.....	i
【観光振興に資する公園緑地の魅力向上に関する資料】	1
第一章 海外事例から導く魅力向上要件の抽出.....	6
第二章 国内の先進事例に基づく要件の整理	47
第三章 公園の魅力向上要件の留意事項.....	91
第四章 資料の活用方法（手引き形式の活用方法）	115
あしがき	121

観光振興に資する公園緑地の魅力向上に関する資料

観光振興に資する公園緑地の魅力向上に関する資料

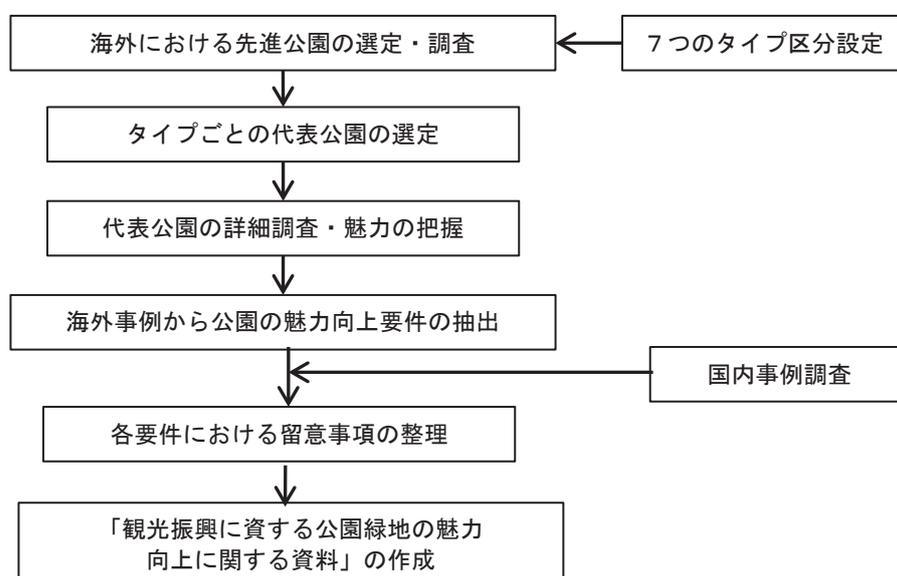
目次

研究の経緯・本資料の構成と使い方	5
第一章 海外事例から導く魅力向上要件の抽出	6
タイプⅠ 広大な自然体験型公園	7
スタンレーパーク	7
タイプⅡ 広大な都市のオアシス	10
セントラルパーク	10
タイプⅢ 都心の小規模なスポット	14
ミレニアムパーク	14
タイプⅣ 遊歩道公園	17
ハイライン	17
タイプⅤ 施設複合型公園	22
サウス・バンク・パークランズ	22
タイプⅥ 歴史的公園	25
リュクサンブール公園	25
タイプⅦ テーマ特化型公園	29
シンガポール植物園	29
メルボルンの王立植物園	33
海外事例に基づく魅力向上要件の設定	35
第二章 国内の先進事例に基づく要件の整理	47
タイプⅠ 広大な自然体験型公園	48
国営海の中道海浜公園	48
タイプⅡ 広大な都市のオアシス	50
新宿御苑	50
タイプⅢ 都心の小規模なスポット	53
警固公園	53
タイプⅣ 遊歩道公園	55
オアシス21（久屋大通公園）	55
タイプⅤ 施設複合型公園	57
生田緑地	57
国営ひたち海浜公園	60
ときわ公園	63
タイプⅥ 歴史的公園	65

	兼六園	65
	奈良公園	68
	新倉山浅間公園	70
	首里城公園	72
タイプⅦ	テーマ特化型公園	74
	広島平和記念公園	74
	海洋博公園	76
	あしかがフラワーパーク	79
	国内事例の魅力向上要素の抽出	81
第三章	公園の魅力向上要件の留意事項	91
	要件1 都市における公園の明確な位置づけ	91
	要件2 設置目的に合致したデザインコンセプト	93
	要件3 公園施設デザイン（施設内容含む）	95
	要件4 公園の実現手法	106
	要件5 周辺とのネットワーク形成	109
	要件6 ソフトサービス	111
	要件7 公園利用によって醸成された魅力	113
第四章	資料の活用方法（手引き形式の活用方法）	115

(研究の経緯)

国土技術政策総合研究所では、観光振興における公園緑地の重要性の認識のもとに、観光地として人気を博している海外公園の魅力や特徴を整理した。また、海外の先進公園事例の中から、異なるタイプごとの 8 公園を選定し、それらの詳細調査を実施した。調査を実施した海外の 8 つの代表公園は、どの公園も観光客を惹きつける魅力を十分に有し、しかもその魅力は単に施設内容の充実にとどまらず、都市の中における当該公園の明確な位置づけの中で、都市とともに利用客に愛されてきたものであることが明らかになった。そして、これらの成果を受けて、観光振興に資するために公園緑地が有すべき魅力向上の要件を抽出するとともに、国内の先進事例の調査もふまえ、その留意点を取りまとめた。本資料「観光振興に資する公園緑地の魅力向上に関する資料」は、これらの一連の研究成果の知見を取りまとめたものである。



(本資料の構成と使い方)

本資料は、上記の経緯によって得られた知見を活かして、観光振興を目的として公園緑地の魅力を向上させるために必要な要件を示したものである。本資料は4章構成になっているが、第一章では、海外事例調査結果をもとに、公園緑地の魅力向上のために必要な要件を抽出し、第二章では、国内事例情報をもとに、その要件内容の補強を行った。第三章では、第一章と第二章を受けて、観光振興の観点からの公園緑地の魅力向上のために必要な要件の留意事項を取りまとめ、第四章は本資料の使い方について記している。検討対象の公園の置かれた状況によって適用すべき要件は異なってくるので、必要な要件を見出すために手引き形式での活用法を取りまとめている。

第一章 海外事例から導く魅力向上要件の抽出

公園緑地の観光に資する魅力向上に資する要件を導くためには、先進事例が有する要件から導くことが考えられる。そこで、観光的魅力に加え、公園の面積や立地、施設構成等から判断される特徴をもとに分類を行い、表 1-1 のように観光上の先進事例として7つのタイプから8公園を選定し、それらの魅力に係る詳細調査を実施したところであるが、これらの海外の代表公園事例から、観光上、公園の魅力となっている要件を抽出し整理するものとする。

なお、下記表 1-1 中の「タイプ」欄は、公園緑地を分類して7つの区分を設定したものであり、本区分に基づいて海外公園の代表事例をタイプ毎におおむね1公園（タイプⅦのみ2公園）を選定している。

表 1-1 海外の代表公園事例

タイプ	公園名	所在都市	所在国
I：広大な自然体験型公園	スタンレーパーク	バンクーバー市	カナダ
II：広大な都市のオアシス (面積 50ha 以上)	セントラルパーク	ニューヨーク市	米国
III：都心の小規模なスポット (面積 10ha 以上)	ミレニアムパーク	シカゴ市	米国
IV：遊歩道公園	ハイライン	ニューヨーク市	米国
V：施設複合型公園	サウス・バンク・パーク ランズ	ブリスベン市	オーストラリア
VI：歴史的公園	リュクサンブール公園	パリ市	フランス
VII：テーマ特化型公園	シンガポール植物園	タングリ市	シンガポール
	メルボルンの王立植物園	メルボルン市	オーストラリア

最初に、上記表に記された代表公園事例から、それぞれの公園が有する魅力にかかる要素（項目）を抽出するものとする。次頁以降に、表 1-1 の各公園の概要を掲載し、その概要の末尾に魅力に係る主な要素項目を抽出した。これらの要素と各事例の詳細情報から、公園緑地の魅力向上に係る要件を導くものとする。

タイプ I 広大な自然体験型公園

スタンレーパーク

(所在地) カナダ、バンクーバー市

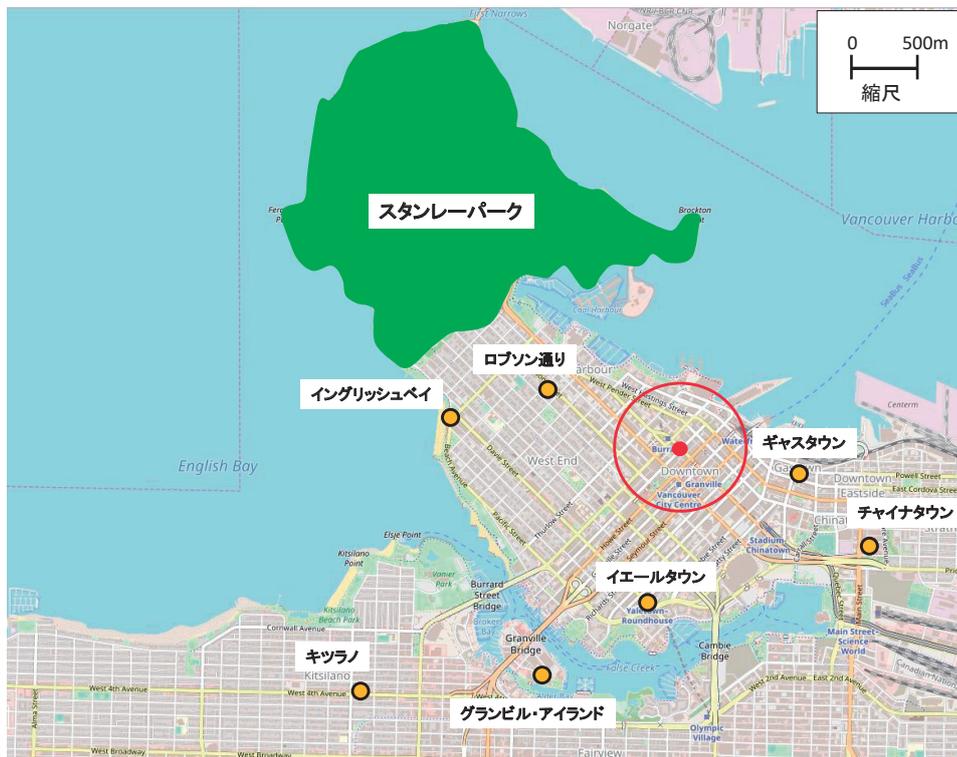
(面積) 400ha

(所有者) バンクーバー市

(管理団体) バンクーバー・ボード・オブ・パークス・レクリエーション

(設置経緯)

バンクーバーの市街地の先に飛び出した半島の先端に位置するため、19世紀には、軍事上の重要性が指摘されていた場所である。その場所が、1888年に公園として開園し、その後、当時カナダの総督だったダービー・スタンレー16世にちなんでスタンレーパークと名づけられた¹⁾。総面積400haの広大な公園であり、日本では都市公園というより自然公園に分類される規模である。



※公園位置図のベース図は、著作権フリーのオープンストリートマップ

<https://openstreetmap.jp/map#zoom=13&lat=49.29127&lon=-123.14515&layers=FB00F>

図 1-1 スタンレーパークの位置図

(公園の立地条件)

バンクーバーに市内におけるスタンレーパークの位置を示した図 1-1 中の赤丸は、スタンレーパークの最寄駅と、その徒歩圏域（500m 範囲円）を示している。最寄駅から徒歩で到達するのは難しいが、ダウンタウンからスタンレーパーク行きのバスが通っているので、公共交通機関によって公園まで行くことは可能である。

(公園の特徴)

スタンレーパークは、自然度の高い大自然を有していることが最大の特徴であり、樹林の中には、高さが 100 m もある針葉樹も生育する。カナダは、大自然を有する広大な国土を有する国であるが、その国を代表する自然が、都市の市街地に接して存在し、ごく身近で利用ができるというのが本公園の魅力であると考えられる。そして、公園の施設はその自然の保全とその自然を享受できる内容の施設が配されていることも、公園の魅力の増進につながっているものと考えられる*。

自然度の高さを活かした施設として、海沿いを周遊する遊歩道（シーウォール）やビーチ、森林があり、それだけでミニゴルフコース・テニスコート、プールなどの運動施設も充実し、水族館のような教養施設もある。さらに、カフェ・レストランなどの便益施設が整い、園内を楽しく巡るためのミニチュア鉄道や馬車のツアーもあるなど、様々な施設が充実していることが特徴である。かつては動物園もあったようだが、野生動物保護団体の反対などによって閉鎖となった経緯がある¹⁾。

(園内の主な施設)

大きな森に覆われた広大な自然公園であるスタンレーパークの海沿いの外周には、公園をぐるりと一周する約 8.8 km の遊歩道（シーウォール）が整備されている。公園利用者のおよそ 9 割がこのシーウォールを利用している*。他には、かつて先住民の居留地だったことを示す 7 つの部族のトーテムポールや、カナダ国内で最初に開館した国内最大の一般向け水族館であるバンクーバー水族館がある。1964 年に世界で最初にオルカの飼育・展示を始め、他にもベルーガ、イッカク、イルカなどの飼育実績があるなど、北方の哺乳海洋生物を中心とした海洋保全、海洋生物の保護の研究を進めている¹⁾。

(公園の運営管理及び利用促進上の取り組み)

- ・馬車ツアー：馬車による公園内のツアーが実施されている。ガイドによる詳しい説明を聞くことができ、約 1 時間で要所を巡るツアーである¹⁾。
- ・情報提供：スタンレーパークの情報（公園利用案内やアクセス情報、イベント情報など）を記載したパンフレットを、ネットで公開するとともに、紙ベースのものを空港やフェリーターミナル、旅行センター、ホテル、所管の公園等に配られている*。

*公園管理者 (Vancouver board of park and recreation) への問い合わせ情報 (2019.1)

- ・イベント開催：各種のフェスティバルやマラソン、ウォーキング大会などを含めて、年間平均 66 ものイベントが開催されている。スタンレーパーク 125 周年記念行事も企画されている*。
- ・スタンレーパーク・エコロジー・ソサエティの取り組み：スタンレーパークのフィールド活動を通じて、自然の大切さやその保全について学ぶ活動である¹⁾。

(都市の観光動向、および観光ネットワーク形成における公園の役割)

公園利用者は週末利用が多く、また海外旅行者よりも国内旅行者の方が多傾向にある。また、利用者のうちのおよそ 9 割が遊歩道（シーウォール）の利用者である。特にシーウォールの利用は自転車による利用が多く、市民の利用のうちおよそ半数が自転車利用である*。

バンクーバー市における観光のネットワーク上の観点からのスタンレーパークの意義は、次のように整理できる。そもそも、カナダ全域で言えることではあるが、バンクーバー市の良いところは、自然が豊かでそれが身近に存在することである。これだけの自然度の高い公園に、市街地から自転車でも到達可能で、マイカーやバスを利用すれば、市内のどこからでもアクセスしやすい。市民や観光客にとって、自然を満喫できる場として公園があり、その利用を目的とする利用者にとっては求心性がある施設と言える。つまるところ、スタンレーパークの魅力と観光上の意義は、自然と街が調和していることであり、それを如実に実感でき、かつ象徴的な場所がスタンレーパークだと言える。

(本公園の魅力に係る主な要素)

本公園の主な魅力は以下のものが挙げられる。

1. 都市に残された最後の原生自然
2. 原生自然を保全・活用した計画方針に基づいた自然に影響の少ない遊歩道（シーウォール）の整備
3. ミニゴルフやテニスなどの運動施設や水族館
4. ガイド付き馬車ツアーによる園内案内
5. 自然を活かしたイベント（マラソン、ウォーキング等）の実施

[参考文献・URL 等の情報根拠]

- 1) City of Vancouver の HP <<https://vancouver.ca/default.aspx> 参照日 2019.1.15>

タイプⅡ 広大な都市のオアシス

セントラルパーク

(所在地) アメリカ、ニューヨーク市

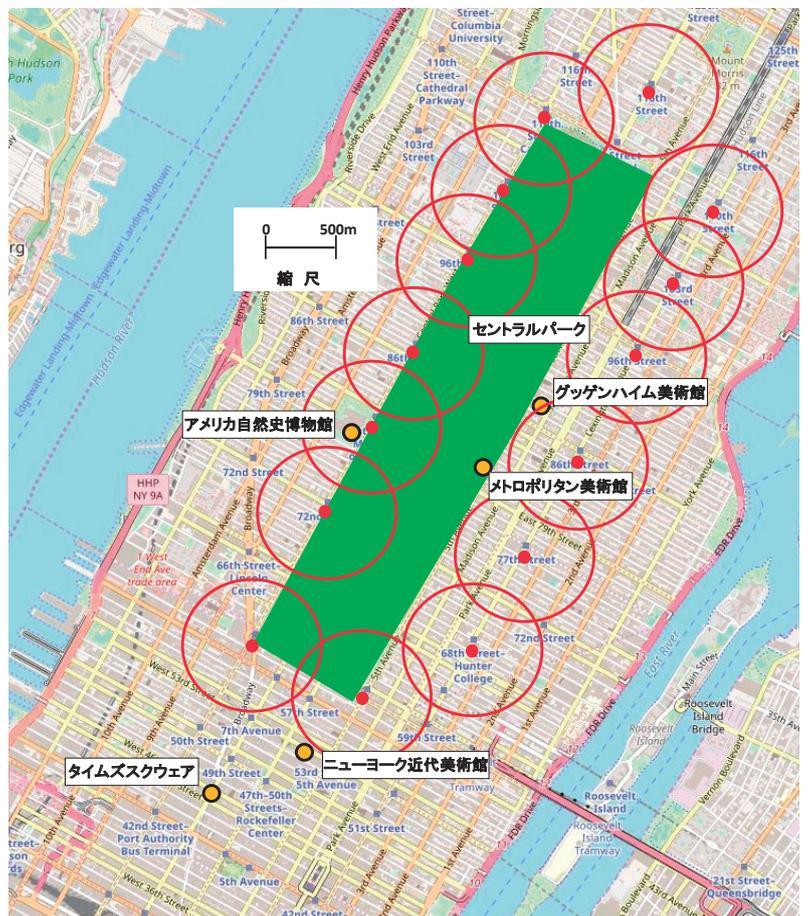
(面積) 341ha

(所有者) ニューヨーク市

(管理団体) セントラルパーク・コンサーバンシー

(公園の整備経緯)

19世紀前半にはニューヨーク市のマンハッタン島の市街地は、北へと拡大していった。こうした市街地の膨張に対して、パリのブローニュの森やロンドンのハイドパークのような、自然あふれる市民の憩いの場の確保が望まれるようになっていった。こうした市民ニーズを受ける形で、ニューヨーク州議会は現在のセントラルパークの地を1853年に公園用地として指定した。1858年には、公園のコンペが実施され、ランドスケープアーキテクトのフレデリック・ロー・オルムステッドと、建築家のカルヴァート・ヴォークスによる設計案が採用され、その案に基づいてセントラルパークが1873年に開園した。セントラルパークは、今ではニューヨーク市の有数な観光地の一つであり、1962年にはアメリカ合衆国の国定歴史建造物となっている¹⁾。



※ベース図は、著作権フリーのオープンストリートマップ

<https://openstreetmap.jp/map#zoom=14&lat=40.77849&lon=-73.97073&layers=FB00F>

図 1-2 セントラルパーク周辺図

(立地条件)

公園はニューヨーク市のマンハッタン島のほぼ中央に位置し、長さ2.5マイル(4km)、幅は0.5マイル(0.8km)の長方形をなす。周辺図である図1-2中の赤丸は、最寄りのメトロ駅と、駅から500m圏域(徒歩圏域)を示している。本図からは、公園の広さがうかがえるとともに、

公園をとりまくように、地下鉄の多くの駅が存在していることが分かる。セントラルパークの東側中央には、ニューヨークの観光地として人気の高いメトロポリタン美術館が位置し、西には道をはさんでアメリカ自然史博物館があるなど、公園を中心に有数の観光スポットが点在する立地をなしている。公園から南下すれば、マンハッタン島の南端にたどり着き、自由の女神像を望める。公園の北側は一般にアップーマンハッタンと呼ばれ、美術館が多く存在する地区でもある。

(公園施設内容とその特徴)

フレデリック・ロー・オルムステッドと、カルヴァート・ヴォークスは、セントラルパークの設計者であるが、彼らは、夏にはボートを浮かべ、冬にはアイススケートができるようにと、もともと沼地だったところを池に改造した。セントラルパーク・コンサーバンシーは、2012年に、このオルムステッドらの設計思想を反映させるために、園内に配置された池の護岸改修工事を行った。汀線を平均水位に合わせて調整し、かつ自然の岸辺に近い形状とし、野生の植生が復元されるようにした。

セントラルパークには、グレート・ローンを始め広大な芝生広場が配されている。こうした芝生広場では、毎年ニューヨーク・フィルハーモニックが屋外コンサートを開催し、メトロポリタン・オペラも公演を行う。また、メドウと呼ばれる牧草場が整備され、芝生広場のように、公園の利用者は穏やかにリフレッシュすることができる。

こうした都市のオアシスとしての施設以外にも、歴史的経緯から、様々な施設が設けられている。それらは、フランス式（北側円形庭園）、イタリア式（センター・ガーデン）、英国式（南側円形庭園）の三つの庭園が設けられているコンサーヴァトリー・ガーデンや、不思議の国のアリスに登場するアリスなどのキャラクターのブロンズ像もあり、子供に人気がある。他にも、ビートルズのジョン・レノンのメモリアル施設としてストロベリー・フィールドや、熱帯から北極圏に至る世界中から動物が集められているセントラルパーク動物園もある。57体もの木馬が廻る回転木馬は、1871年からセントラルパークで営業している。公園で最も人気のある施設の一つである。イギリスの有名な戯曲家のシェイクスピアに



ちなんで、1913年に造られた庭園がシェイクスピア・ガーデンである。イギリスの片田舎の風景を模したデザインの中に、花木や草花が多く植えられている。

公園内は自動車での通行が禁止されており、週末は、公園を囲む9.7 kmの園路はジョギング、サイクリング、インラインスケートを楽しむ人々などで賑わう。また、セントラルパークは、ニューヨークシティマラソンのゴール地点にもなっている*1。



(セントラルパークの魅力につながる公園のデザイン)

マンハッタン島は岩盤上にあるために、セントラルパークは、岩盤をダイナマイトで崩しながら整備した公園である。人工的に造られた公園にもかかわらず、公園のほとんどが自然に見えるのは、元からあった湖や沼など巧みに使って、より自然に近い地形をデザインし、かつ適切な植栽計画によるものである。また、道路は景観を崩さないために人工的に窪地に造られているなど、人工物が目に入らないような工夫もある。こうしたデザインによって、公園内はまるで天然自然の中にいるように錯覚する風景を現出し、都会的な景色や喧噪の中のオアシスとしての働きを果たしている。また、広大な都会の自然地のため、渡り鳥たちのオアシスにもなっており、バードウォッチングも盛んに行われている。このため、公園に面してセントラルパークが眺められるアパートメント・コンドミニアムは、近隣の中でも高く評価される物件となっている²⁾。

(セントラルパークの運営管理)

セントラルパークでは、その運営管理はコンサーバンシーと呼ばれるNPOによって実施されている。本団体は、市から毎年管理委託料を受け取るとともに、一般企業や個人からの寄付金や施設使用料、それに園内におけるカフェや売店等の収益施設の収入などを財源として公園の運営を行っている組織である。

深刻だったニューヨーク市の財政難の解決策として、セントラルパークの運営管理を1980年度からセントラルパーク・コンサーバンシーと委託契約を結んだことが嚆矢となり、その後は、本手法が成功したことにより、米国の大都市における主要な公園は、こうしたコンサーバンシーが運営管理を実施するようになっていったという実情がある。

セントラルパーク・コンサーバンシーは、寄付金が重要な位置を占めているが、マンハッタンの中心部は金融をはじめとしたビジネスが集中する地域であり、経済力が高く高所得者が多く住む地域でもある。こうした地域において、知名度が高く市民の関心の高い公園には寄付金は集まりやすい。米国では、人種や所得などの社会階層の似た者が集まる傾向があるため、低所得者が集まる地域では寄付を募ることが難しくなる。特に、公園という施設は必ずしも歓迎されるものばかりではなく、麻薬の売買の場となることもあることから、地域によっては逆に迷惑施設とみ

*1:公園管理者 (Central park Conservancy 及びニューヨーク市公園レクリエーション部局) への問い合わせ情報 (2019.2)

なされることもあるようである。よって、寄付行動は、企業や個人の価値観とともに、都市を取り巻く環境に大きく左右され、それが最も成功した事例がセントラルパークと言える*2。

広大なセントラルパークの維持管理には年間約 2700 万ドルもの経費が必要であり、セントラルパーク・コンサーバンシーはこのうちの約 85%を寄付金やイベント等の利用料収入によってまかなわれている²⁾。

以上のように、セントラルパークは、ニューヨーク市マンハッタン島のスプロール化防止と都市にとって貴重な自然を担保することを目的として造られ、その目的に沿って、自然豊かな都会のオアシスとして機能するようデザインされている。そして、開園以来およそ 150 年が経過し、その間に公園施設が暫時追加され、それが歴史となって積み重なっていることがセントラルパークの魅力と言える。

(ニューヨーク市全体の観光ネットワークの形成とセントラルパークとの関係)

セントラルパークはニューヨーク市への観光振興に大きく寄与しており、周遊という観点からは、観光客は通常はセントラルパークを見学した後に、近くの博物館等（アメリカ自然史博物館やグッゲンハイム美術館など）を訪れる。また、人気のタイムズスクウェアも近い。

なお、セントラルパークは、ニューヨークマラソンのようなイベントを除けば、他の観光施設との連携は特に実施されていないが、周辺の博物館や美術館との情報共有は行われている*1。

セントラルパークは、もともと先述したように、都市の骨格として中央に広大な緑地を設けたものであり、およそ 150 年もの長い歴史の中で、公園をとりまいて高級住宅が張り付き、それに伴って博物館や美術館などの観光施設が張り付いてきた。その結果、セントラルパークとこれらの施設を周遊する効果が生み出されている。セントラルパークの主な効果は、都市の中心に自然環境を担保することによって、市民のオアシスとして機能することではあるが、観光という観点からしても、観光ネットワークの中心として機能していることがうかがえる。

(本公園の魅力に係る主な要素)

1. 大都市の中心にある広大な自然地で、都市のスプロール化防止を図る広大な緑地空間
2. 池、広場等の新たに人工的に自然景観を作り上げたデザイン
3. 歴史のある各種施設（回転木馬、水族館など）の存在
4. 近隣の博物館との情報共有
5. 黎明期の都市の発展の過程で、早期に中心に自然空間ができたことによる、公園周辺の良好な市街地の形成

[参考文献・URL 等の情報根拠]

- 1) Central park Conservancy の HP <<http://www.centralparknyc.org/> 参照日 2019. 1. 20>
- 2) ニューヨーク市における公園緑地の民間管理の現状と課題（田島夏与）2010 年、立教経済学研究第 63 巻第 3 号，51-69

*2：立教大学田島夏与教授へのヒアリング情報（2019. 1）

タイプⅢ 都心の小規模なスポット

ミレニアムパーク

(所在地) アメリカ、シカゴ市

(面積) 9.9 ha

(所有者) シカゴ市

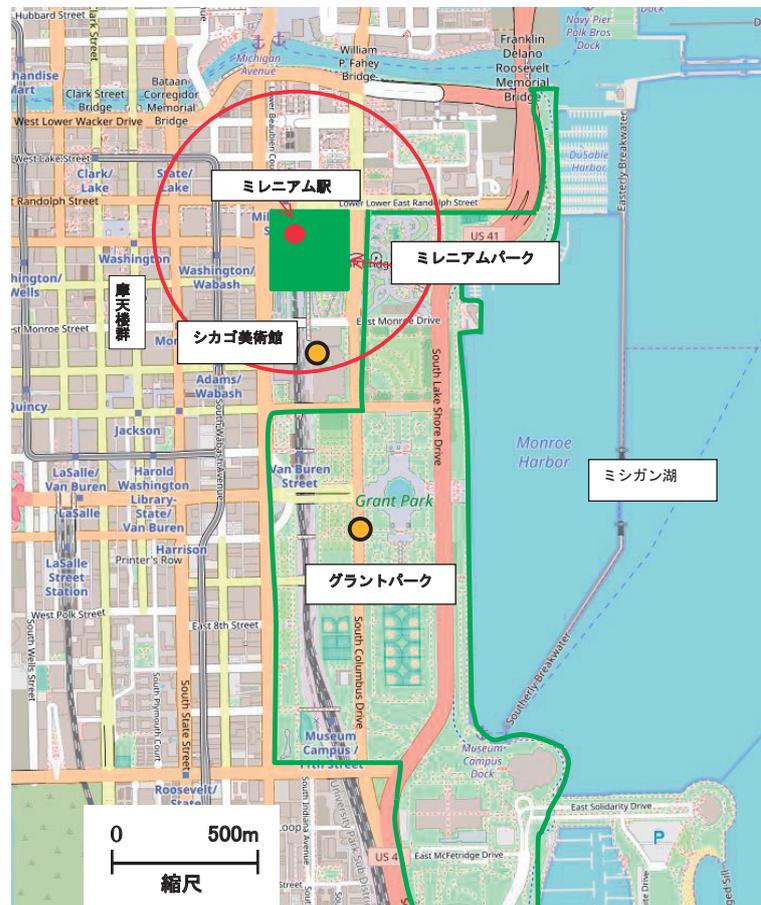
(管理団体) ミレニアムパーク財団

(公園設置経緯)

当該箇所は、もともと鉄道用地だった場所であり、そこが砂利敷きの駐車場として暫定利用されていたが、この鉄道用地の所有権がシカゴ市に残っていたことが判明したことがミレニアムパーク建設の契機となった。シカゴ市は、市の中心に残った遊休地の地下に、地下鉄駅・バスターミナル・駐車場を設け、駐車場収入等によって公園の運営を行うという事業の基本スキームを立てた。そのスキームの骨子は、納税者の負担なしで公園を整備するというものであり、①シカゴ市の発行する市債によって地下駐車場を建設し、駐車場収入によって市債を償還する。②地上部の公園部分は、民間からの寄付によって全ての建設費をまかなうという方針が立てられた。

寄付金の目標額は当初3,000

万ドルと設定されたが、最終的には1億2,500万ドルまで引き上げられ、総事業費4億7000万ドルにも及ぶ巨費を投じてわずかな整備期間を経て2004年に供用された。市の中心地という一等地に残された貴重なリザーブ用地を公園化して、新たな観光拠点を作り上げた成功事例である¹⁾。



※公園周辺図のベース図は、著作権フリーのオープンストリートマップ
<https://openstreetmap.jp/map#zoom=15&lat=41.87766&lon=-87.61884&layers=FB00F>

図 1-3 公園周辺図

(立地条件)

シカゴ市の中心市街地で、摩天楼の高層ビルが建ち並ぶループエリア内に立地する(図 1-3)。公園の地下に鉄道駅やバスターミナル、駐車場といった交通結節機能を設けているため、その立地のみならず、交通の便は良い。

(公園の施設内容)

本公園の面積は、東京の日比谷公園のわずか3分の2ほどしかないが、園内のパビリオンは、著名な建築家や芸術家が手掛けた象徴的なものばかりであり、2000年代においてシカゴで最も集客力のある施設となった。

それぞれのパビリオンは、例えば、マコーミック・トリビューン財団の寄付によって整備されたアイススケートリンク、シカゴの企業家 Jay Pritzker の寄付による野外コンサート会場、通信会社の AT&T の寄付によるステンレス板による卵型のモニュメント「The Bean」、リグリー財団の寄付によるモニュメント(100万ドル以上の寄付を行った個人や企業等の名前が刻まれている)、ハリス家の寄付による音楽及びダンス専用の劇場、自転車利用者用の施設であるマクドナルド・サイクルセンター、スペインの芸術家の Jaume Plensa による噴水クラウン・ファウンテンなどがあり、それぞれ寄付者が、著名な建築家や芸術家を選んで、より自己主張の強いパビリオンとなっている¹⁾。



(公園の特徴)

シカゴ市は米国屈指の大都市であるが、その中でもミレニアムパークの場所は、シカゴ市内でもビジネス街の中心地であり、ここに世界第一級の公園を造るのだという機運が容易に醸成される場所であったことが、ミレニアムパーク成功の大きな要因であった。ミレニアムパークを企画したブライアン市長は、ただの公園ではなく特別なものにしようという思いから、シカゴに古くからあったパブリックアートの伝統を活かして、ミレニアムパークを、芸術をテーマに整備することが望ましいと考えた。このために、多額の寄付金を集めて、それによって最高レベルの建築家や芸術家によるパビリオンや作品で公園を満たすことを目指した。

地上部の公園部の整備は民間の寄付によってまかなうという方針だった理由は、単に公的負担を減らすということのみならず、標準設計に代表されるような陳腐な公共事業に陥らないように、民間資金によってより高質な施設水準を確保するという効果が期待されたことが大きい。このため、その寄付金集めは戦略的に実施された。例えば、歴史的にシカゴに深い関わり合いや縁のある有力な組織や個人を洗い出し、それらの対象に高額な寄付を募り、寄付者(団体含む)には施設のネーミングライト(施設名称決定権)が与えられた。自らや自らが属する組織の名前が冠された施設であるならば、いっそ思い切った整備を行おうという発想になり、結果的に、各寄付組織のメンツをかけた設計やデザインがなされるようになっていった¹⁾。

※卵型モニュメントの写真は、兵庫県立淡路景観園芸学校の嶽山洋志主任景観園芸専門員・准教授の撮影による。

(都市の景観整備や観光ネットワーク形成と公園との関係)

ミレニアムパークができてから、シカゴ全体の観光入込客は増加し、観光客の多くはミレニアムパークを目指す傾向がある。ミレニアムパーク整備前は、シカゴ中心市街地の摩天楼が観光の目玉だったが、ミレニアムパークができてからは、摩天楼を目指していた観光客がミレニアムパークに流れた形になった。摩天楼はすでにデザインシーンが古くなっていったということもあり、高いデザイン性を持つ公園ができたおかげで、隣接する美術館を含む文化的な観光形態の傾向が強くなっていった*。

観光ネットワーク形成におけるミレニアムパークの役割としては、ミレニアムパークは、明らかにシカゴ市の新たな顔としてシカゴ市を代表する観光地として登場した。それは、単に観光客数を増やしたり、その観光周遊の流れをミレニアムパークに誘導するというにとどまらず、高いデザイン力を持った建築物やアートが、利用者を文化に目覚めさせ、それが美術館などの文化的施設の利用増進につながっているという影響も見逃せない。

(本公園の魅力に係る主な要素)

1. 都市の中心におけるシンボリックな空間で、パブリックアートの伝統を活かした都市のアート空間
2. 一流の建築家や芸術家による高度なデザイン空間の実現
3. スケートリンクやサイクルセンター等の多様な施設
4. 多額の民間寄付金収集による公園の整備方針
5. 利便性が非常に高く、公園の直下に駅やバスターミナル、駐車場が完備
6. シカゴ市の観光利用が増加し、その観光客がミレニアムパークに集中
7. ジェイ・ブリッカー・パビリオンで多数のイベントの開催

[参考文献・URL 等の情報根拠]

- 1) 都心部における新たな公共空間の創出と企業の社会貢献 (田島夏与) 2012年、立教経済学研究第65巻第3号, 143-161

* 公園管理者 (シカゴ市) へのメール及び電話による問い合わせ (2019.2)

タイプⅣ 遊歩道公園

ハイライン

(所在地) アメリカ、ニューヨーク市

(規模) 延長 1.5 マイル (2.4 km)、幅 30~50 フィート (9.1~15.2m)

高さは 18~30 フィート (5.5~9.1m) *

(開園年) 2009 年

(所有者) ニューヨーク市

(管理団体) フレンズ・オブ・ハイライン

(ハイライン整備の経緯)

マンハッタンのウェストサイドの工業地区を走る高架上軌道鉄道がハイラインだった。しかし、その後のモータリゼーションの進展によって、ハイラインは 1980 年に操業を停止し、残った鉄道敷の高架は撤去が決まっていた。そのような状況の中で、ハイラインとの直接的な利害関係の無かった二人の若者が、ハイラインの価値を認め、その保存活動を行ったのが新生ハイラインの始まりだった。彼らは、ハイラインを活用することによって、公園の少ないこの地に新しい公園ができ、それがこの街区の歴史を物語る文化遺産になりうると考えた。彼らはハイライン保全活動のために非営利法人であるフレンズ・オブ・ハイラインを設立 (1999 年) し、保全活動のための募金活動等を進めていった。当初はハイラインの再利用に反対していたニューヨーク市も、やがて再利用を支持するようになった。その後、ニューヨーク市で所要の予算措置等がなされ、2009 年にハイラインの第一期区間が供用された。このように、ハイラインはごく普通の青年二人が、10 年の月日を費やして実現させたという稀有な事業であった¹⁾。

(ハイライン周辺の市街地の保全)

ハイラインの公園化に最後まで反対していたのは、ハイラインの高架下の土地所有者たちであった。彼らは、ハイラインの高架が撤去されれば、そこに建物を建てることができ、莫大な利益が得られることを目論んでいた。このため、これらの土地所有者の権利を守るために、開発権の移転が行われた。それは、図 1-4 のように、ハイラインの上空の使えない開発権を別の街区の建物に移して売却するというものである。

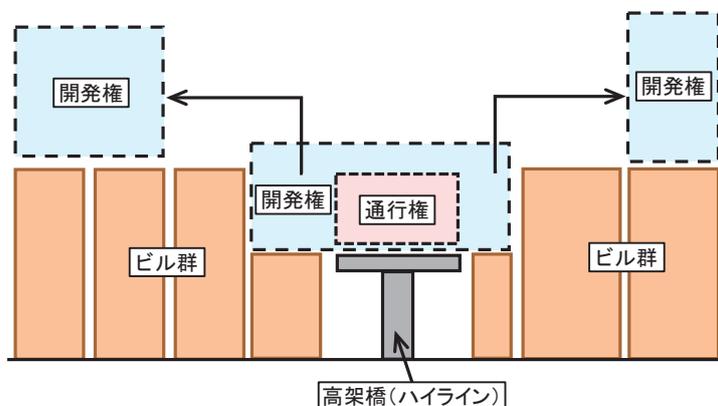


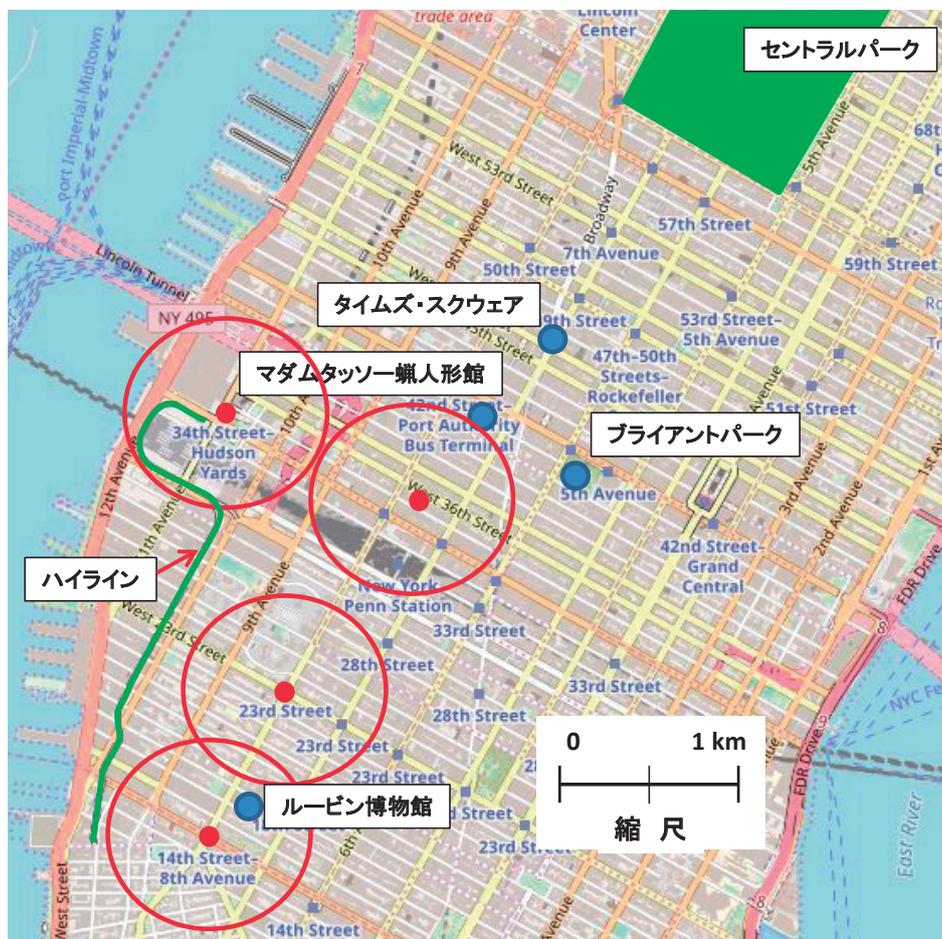
図 1-4 権利関係模式図

*電話によるニューヨーク市公園レクリエーション部局への問い合わせ (2019. 2)

この制度は、歴史的建造物であるニューヨーク市のグランドセントラル駅の保存方法が検討された際にあみだされた制度である。歴史的建造物が撤去されることによって生み出されるはずの開発権を、他の場所に売却したのである。こうしてハイラインの通るチェルシー歴史地区は、引き続き建物の高さを低く抑えることが可能となり、地区の景観保全につながった²⁻⁴⁾。

(立地条件)

図 1-5 はニューヨーク市のマンハッタン島におけるハイラインの位置を示している。赤丸は、最寄駅とハイラインの最寄駅からの徒歩圏域 (500m) を示している。もともとチェルシー地区は工業地帯だったために、周囲に有名な観光施設は存在しない。また、住宅地でもなかったことから、公園も少ない立地である。緑が少ない場所ゆえに、ハイラインの利活用方法案として、ハイライン上を公園化するという案が浮上したところである。



※周辺図のベース図は、著作権フリーのオープンストリートマップ
<https://openstreetmap.jp/map#zoom=14&lat=40.75269&lon=-73.98786&layers=FB00F>

図 1-5 ハイライン周辺図

(公園の施設内容とその特徴)

公園自体は、物理的には鉄道敷跡地を歩道として活用するものなので、計画上は物理的な自由度は低い。そんな中でも、ニューヨーク市からの委託によってフレンズ・オブ・ハイラインが2002年から公園計画のコンペを行った。その結果、36か国から720にも及ぶ作品が寄せられた。全体的に現状のハイラインの形状を活かそうという発想が共通していたが、中には、プールやジェットコースターの提案や、植栽が全く存在しない案もあった。それらの中から、今の美しいハイラインを、なるべくこのままの姿で残すべきという関係者や審査員の認識により、それは、ハイラインをマンハッタンというアルプスのふもとに横たわる緑の谷に見立てたもので、適度な植栽を有する高質なデザイン案が採用された。

実施設計段階においても、細部のデザインへのこだわりが魅力向上には重要だった。通常は、公共事業であれば標準設計があり、また、安全上の理由から各種の施設には守るべき基準が設けられている。例えば、フェンスは必要な高さが2.4mであったが、これではせっかくの視界を遮ってしまう。このため、植栽エリアを設けて人が入り込めないようにすることでフェンスの高さの特例が認められた。他にも、公園の予算軽減の観点から、標準仕様に基づくベンチなどが求められたが、個別に丁寧にその必要性を説明してクオリティの高いベンチが設置されていった¹⁾。



効果的に配された緑

フェンスとの間に人が入れないように →
植栽帯が設けられている



←休憩にも、イベント時の
観客席にも使えるベンチ

※本公園の掲載の写真は、兵庫県立淡路景観園芸学校の平田富士男主任景観園芸専門員・教授、同校の嶽山洋志主任景観園芸専門員・准教授の撮影による。

部分的に線路が残され、
鉄道跡であったことを→
示している



ライトアップされたハイラインが周囲の夜景と調和する

(運営管理の取り組み)

ハイラインでは、毎月いくつかのイベントが、異なったテーマで開催されている。また、ハイラインの運営維持管理費については、ニューヨーク市が、NPOであるザ・フレンズ・オブ・ハイラインに対して資金をサポートしている⁵⁾。



多くの利用者がハイライン上を歩く



ハイライン上でのパフォーマンス

(都市の観光動向と地区におけるハイラインの役割)

ハイラインが通るウェスト・チェルシー地区は、用途が軽工業地区だったところであり、もともと観光客が訪れるような場所ではなかった。しかもハイラインは鉄道廃線の高架であり、都市の再生にとっては阻害要因でしかなかった。それを、全く新しいタイプの公園として整備し、その結果年間2千万人*が訪れるようになったことを踏まえれば、観光への影響は計り知れないほ

*電話によるニューヨーク市公園レクリエーション部局への問い合わせ (2019. 2)

どだと評価できる。ハイラインは、同じマンハッタンにあるセントラルパークほどの集客力はないものの、面積がわずか1.8 ha程度の、セントラルパークのわずか0.5%の広さしかない公園で、しかも歩いたり休憩したり、景色を眺めたりといった特化した利用しかできない公園で、年間2千万人という利用者数は特筆すべきことであろう。なお、ハイラインの整備とあいまって、地区の土地利用区分の変更が検討されたが、結果的に、ウェスト・チェルシー地区の土地利用区分の用途は、一部を除いて軽工業のまま変更されなかった。ハイライン関係者は、現在の古き良きチェルシーの街並みの面影を残すことを望んだのだった。ハイラインが供用されてから、チェルシー地区の観光客は増加し、特に、公園周辺にアートギャラリー、美術館、ミュージカルやオペラが披露できる施設などが建てられるようになり、アートと一体となった空間が形作られていった。今では、ハイラインは古いチェルシー地区のシンボルであり、かつグリーンインフラでもある¹⁾。

(本公園の魅力に係る主な要素)

1. 市民の愛着のこもった歴史的建造物の保全と活用
2. 摩天楼の中の谷間をイメージした自然景観をなすデザインコンセプト
3. 快適な歩行空間や眺望が得られるような施設計画・デザイン
4. 観光地ではなかった地区を新たに観光名所にし、地区全体への観光客の集客
5. ハイラインと一体になった地区の景観向上と雰囲気への保全が図られ、地区の活性化に寄与

[参考文献・URL等の情報根拠]

- 1) 書籍名：High Line ～アート、市民、ボランティアが立ち上がるニューヨーク流都市再生の物語～ 著者：ジョジョア・ディビッド、ロバート・ハモンド出版社：株式会社アメリカン・ブック&シネマ
- 2) 鉄道跡地の遊歩道利用におけるレールバンク制度の運用と有効性～ハイラインにおける合意形成の制度的枠組み～：木村雄介他、土木学会論文集 D1(景観・デザイン) Vol. 69, No. 1, 76-89, 2013
- 3) ニューヨーク・ハイラインにおける歴史的効果橋再利用案の形成過程：木村雄介他、(社)日本都市計画学会都市計画論文集 NO. 45-3, 2010年10月, 199-204
- 4) 遊休地の公共空間等への活用に関するニューヨーク市における取組：別所 力、Green Age 2017-2, 12-15
- 5) HP: Friends of High Line の HP <<https://www.thehighline.org/> 参照日 2019. 1. 15>

タイプV 施設複合型公園

サウス・バンク・パークランズ

(所在地) オーストラリア、ブリスベン市

(面積) 17 ha

(所有者) ブリスベン市

(管理団体) City Parklands Services Pty Ltd

(公園の整備経緯)

オーストラリア、クィーンズランド州の州都ブリスベン市は、蛇行するブリスベン川に沿って発展した都市であり、川の南側のサウス・バンク地区は、ビジネスの中心地として急速に発展していった。ところが、1893年の洪水によって、土地の低かった南側が甚大な被害を受け、以後、中心地は川の北側へと移っていった。このため、その後は、サウス・バンク地区は荒廃していき、倉庫などが立ち並ぶさみしい場所となっていったが、その再活性化の景気となったのがブリスベン国際博覧会だった。会場をサウス・バンクに設けたのは、ここに人々の滞留を生み、それを起爆剤にするという目論見もあったようである*1。1988年に開催されたブリスベン国際博覧会は、半年でおよそ160万人の利用者を動員するなどの大成功を収めた。この博覧会の会場跡地は、1992年からサウス・バンク・パークランズという公園として供用されている¹⁾。



※公園周辺図のベース図は、著作権フリーのオープンストリートマップ

<https://openstreetmap.jp/map#zoom=15&lat=-27.47612&lon=153.02178&layers=FB00F>

図 1-6 公園周辺図

*1：ブリスベン国際博覧会日本館元副館長井上忠佳氏へのヒアリング(2019.1)

(立地条件)

公園の周辺図(図 1-6)にあるように、サウス・バンク・パークランズは、ブリスベン市街地の中のサウス・バンク(ブリスベン川の南側)と呼ばれる地区の中にあり、観光案内にはブリスベンに来たなら必ず訪れてほしいスポットに挙げられているほどである。サウス・バンク・パークランズへのアクセスは良く、電車の最寄駅からも近く、フェリーやバスも利用可能である。ブリスベンの中心市街地はコンパクトで、ブリスベン川の北岸の中心地から、サウス・バンク・パークランズまで歩くことも可能であり、ブリスベン市内の人気の観光地であるクイーンズランド州美術館やブリスベン博物館なども近い。

(公園施設の内容とその特徴)

サウス・バンク地区は、今やブリスベン市民の最高のライフスタイルを実現する場、また文化をリードする地区として人気を誇り、芸術や音楽などの学校も多い。本地区の中で中核をなしているのがサウス・バンク・パークランズである。この 17 ha の日比谷公園ほどの公園は、ブリスベン川の湖岸のという自然条件を活かした緑豊かなデザインが特徴であり、素晴らしい川の景色を堪能しながら、リラックスしてくつろぐのに最適な市民のオアシスとなっている。サウス・バンク河岸には、世界的に一流でスタイリッシュなレストランやバーがサウス・バンク・パークランズの景観と一体となって隣接し、広々とした河岸環境を作り出している。それらの施設をつなぐように、園内は川沿いにプロムナードやザ・アーバーと呼ばれる遊歩道が配され、散策やサイクリングに利用されている。また、園内には、リゾート地の雰囲気を醸し出す人工ビーチやプール、プレイグラウンドなどの遊びの場や、観覧車、海事博物館などもあるほか、カフェ・レストラン・バーベキューコーナーもあるため、多くの人に利用されている。また、毎年多くのイベントが開催され、特に週末にはマーケットも開催される。さらに、パークランズから外に出た大通り沿いにはレストランが軒を連ね、今やトレンドリーなエリアとなっている¹⁾。

(運営管理等の取り組み)

サウス・バンク・パークランズの管理運営上の取り組みとして、一年を通してイベント開催が多いことが特徴的だと言える。毎年開催されるイベントとしては、キーイベントとして、クリスマス・イン・ブリスベン、ニューイヤーイベント、オーストラリア・デイ、ブリスベン・フェスティバル、ナイト・ヌードル・マーケットやフレンチ祭などがあるが、これらのイベントは毎年内容が変わるし、他にも週末にクラフトマーケット、コンサート、エンターテイメントなどの催しもある*²⁾。

(都市の観光動向と当該公園の役割)

サウス・バンク・パークランズは、さびれていたサウス・バンクの再生を目指して開催されたブリスベン国際博覧会の跡地を公園化したものであり、サウス・バンクの河畔を周遊できるように、川沿いの利用者動線と、利用者を惹きつけるための魅力的な核的施設(人工ビーチや観覧車

*2 : 公園管理者(City Parklands Services Pty Ltd)へのメールと電話による問い合わせ(2019. 2)

など) が設けられている。こうした取り組みが功を奏して、今ではブリスベン川の北岸と南岸の巡る周遊が図られている。加えて、多様で多くのイベントの開催が、様々な世代の多様な目的を持った利用を促進している。

ただし、サウス・バンク・パークランズは、単に人を呼ぶことだけを目的としたものではなく、文化的でかつ穏やかな都市のライフスタイルの現出の場として設計・デザインされている。人が羨望するライフスタイルを過ごせる場所こそがサウス・バンクであり、サウス・バンク・パークランズは、そのサウス・バンクを象徴する場であることがサウス・バンク・パークランズの魅力であり、その魅力ゆえにブリスベン川を挟んだ利用者の周遊を生み出していると言える。

(本公園の魅力に係る主な要素)

1. リバーサイド空間再生による市民の理想的空間の創出
2. リバーサイドでの文化的ライフスタイルを実現するデザインコンセプトに基づいた、人工ビーチ等のトロピカルな雰囲気デザイン
3. 観覧車、人工ビーチ、プレイグラウンドなどの公園施設
4. 南岸の拠点となし、ブリスベン川の両岸を周遊する観光ルートの創出
5. 新たな文化的な都市生活の拠点の整備によって、洪水によって廃れた地区の活性化に寄与

[参考文献・URL 等の情報根拠]

1)HP : visit brisbane <<https://www.visitbrisbane.com.au/south-bank> 参照日 2019.1.15>

タイプVI 歴史的公園

リュクサンブール公園

(所在地) フランス、パリ 6 区

(面積) 25 ha

(所有者) フランス元老院

(管理団体) フランス元老院¹⁾

(公園の設置経緯)

リュクサンブール公園は、ルイ 13 世の生母が、王宮庭園の管理を担当した宮廷庭師であるジャック・ボワソーに 1612 年に命じて、リュクサンブール宮殿に付随する庭園として整備された。フランス革命時には牢獄として使用されていたこともあったが、ナポレオン・ボナパルトが第一統領となった統領政府期 (1799~1804 年) 以降に、リュクサンブール庭園は元老院の敷地となった。今でも、元老院の



議事堂が、庭園北端のリュクサンブール宮殿の中に入っている。このため、同宮殿の内部は非公開となっているが、リュクサンブール公園は元老院の庭園として一般に公開されている*。

(立地条件)

リュクサンブール公園は、パリ市内の中心地に位置し、観光地で有名なノートルダム大聖堂とモンパルナス地区のちょうど中間に位置する(図 1-7)。公園周辺の公共交通機関(メトロ、高速地下鉄 RER、バス)がす



※ベース図は、著作権フリーのオープンストリートマップ

<https://openstreetmap.jp/map#zoom=15&lat=48.85013&lon=2.33987&layer=s=FB00F>

図 1-7 公園周辺図

で充実しており、周辺駅から歩いてすぐの立地である。また、徒歩であっても、セーヌ川沿いのノートルダム大聖堂やルーブル美術館などまで移動することも可能である。

(公園施設内容とその特徴)

宮廷を豪華に彩どる園内の花壇植栽は年3回植え替えられ、全ての苗が専用の苗畑で生産されている。また、宮殿施設ゆかりの施設（養蜂園、ポニー乗馬場、オランジェリー〔冬季の園芸種の保存施設〕、温室など）が配されているほか、テニスコートやバスケットコート、ペタンクなどの運動施設や、子供用の遊び場、小さなカフェや売店もある。公園の立地条件が良く、大学も近くに立地することから、家族連れから就業者、学生、観光客に至る幅広い利用者に活用されている。宮殿らしい穏やかで、豪華な雰囲気の中で、散歩・休憩・読書などの思い思いの利用がなされている。また、中でも、当公園で特筆すべきことは、画家のドラクロワ、ジョルジュ・サンド、シヨパンなどの著名な作家の作品ばかりの約100体の優雅な彫像の存在である。



園内の随所に置かれた彫刻



柵が設けられた子供の遊び場



木陰のポニー乗馬場

ビスタ上に設けられた規模 →
の大きな修景用人工池。
夏期は子供用のヨットが浮
かべられることもあるという



※本公園の写真はフランス高等研究実習院博士研究員水真洋子氏撮影による。

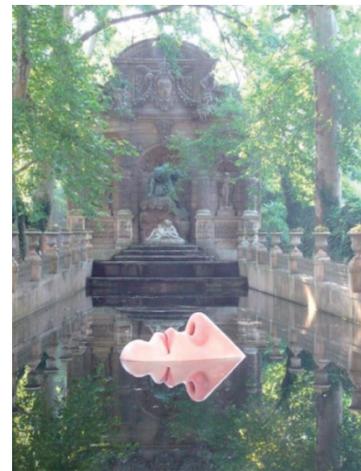
リュクサンブール公園は、①元老院の庭としての役割、②フランス史、庭園史、園芸史に中心的役割を果たした場所としての役割、③歴史的にパリ市民の憩いの場として利用されていたという歴史がある場所であり、その歴史的背景の結果として今日の観光地としての公園が出来上がったものであり、公園の魅力は歴史とともに醸成されてきたことがうかがえる*。

(イベント)

イベントは、大きく、主催者イベントと、外部からの持ち込みイベントに分かれる。主催者イベントは、毎年「秋の展覧会」「ガーデン・農業祭」、「ヨーロッパ遺産の日」が開催される他、夏の間はオランジェリーで「アート展」が開催されている。オランジェリーは冬季に果樹等の植物を保管する場所なので、夏は空室になっているからである。

「ガーデン・農業祭」は庭園をテーマとした文化通信省主催の催し物で、「ヨーロッパ遺産の日」は、建築物を中心とした欧州評議会と欧州議員会の主催行事である。毎年夏に行われるオランジェリーにおけるアート展は、公園の利用者増加目的で実施しているというよりは、むしろアーティストに展覧会の機会を与えるという目的で開催されている。「秋の展覧会」は、元老院主催のイベントで、庭師が所属する部署が担当の催し物であり、庭師が中心にイベントをオーガナイズしている。

こうした主催者イベント以外のアート関連の催し物については、アーティスト側から依頼を受けて開催する右の写真のような持ち込みイベントがある*。



(都市の観光動向と公園の役割)

リュクサンブール公園の誘客の面ではその立地の良さが際立っている。リュクサンブール公園は、セーヌ川沿いに並ぶ人気のある観光地から近く、同じく人気のあるモンパルナスとセーヌ川のちょうど中間に位置する。地下鉄などの公共交通機関の駅から近いが、徒歩であってもモンパルナスやセーヌ川まで散策することができ、リュクサンブール公園周辺は良好な住宅街でホテルも多い。十分な周遊の拠点になりうる立地条件を有している。

そして、何より本公園の魅力は、17世紀に建造されたブルボン王朝ゆかりの宮殿や庭園をそのまま保存し活用していることである。宮殿を望める庭園内に一歩足を踏み入れただけで、往時の世界に浸ることができる。園内に配置された多数の彫刻がその雰囲気趣きに趣きを添え、また、個別の公園施設を見ても、宮殿であった頃を彷彿させる施設が散見される。例えば、養蜂園・ポニー乗馬場・オランジェリーなどである。こうした往時が偲ばれる園内のしつらえが、公園内での休憩や散策といった利用に満足度を与えているものと考えられる。

本公園の元になっている庭園は17世紀に造られたところであり、宮殿のまわりの市街地は、むしろ宮殿整備後に発展していき、宮殿周辺の市街地は、宮殿と一体となって景観を形成してい

*リュクサンブール公園専属庭師へのヒアリング(2019.1)

ったものである。まさにこの場所の本来の歴史的意味とその価値の保持こそが、本公園の魅力と考えられ、その保全の姿勢こそが多くの観光客を惹きつけているものと考えられる。

(本公園の魅力に係る主な要素)

1. ブルボン王朝時代の宮廷文化の保全と活用
2. ブルボン王朝の宮廷空間を保全し、王朝時代の施設や彫刻を保存
3. 豪華な花壇植栽
4. ポニー馬場、ペタンク場、養蜂園などの王朝ゆかりの多様な施設の存在
5. パリの街自体が、宮殿等の歴史的建造物を保全して成り立っており、その中心的施設

[参考文献・URL 等の情報根拠]

- 1) 元老院 HP : <https://www.senat.fr/role/fiche/comptes_budget.html 参照日 2019.1.15>

タイプⅦ テーマ特化型公園

シンガポール植物園

(所在地) シンガポール、タングリ市

(面積) 82ha*

(所有者) シンガポール政府

(管理団体) 国立公園庁

(植物園設置経緯)

シンガポール植物園は1859年に設立され、160年にわたる歴史を有し、2015年にはシンガポール初の世界遺産にも登録された。

植物園として、作物としてのゴムの研究や輸出作物としてのランの研究を通じて、国の農産業の振興に貢献してきた。また、近年では国策としての都市緑化につながる緑化技術の面でも貢献している。



※公園位置図のベース図は、著作権フリーのオープンストリートマップ

<https://openstreetmap.jp/map#zoom=14&lat=1.28795&lon=103.82361&layers=FB00F>

図 1-8 シンガポール植物園の位置図

*シンガポール植物園へのメール及び電話による問い合わせ(2019.2)

(立地条件)

位置図では、シンガポールで人気の高い主要な観光スポットを黄色で示している。図 1-8 のように、シンガポール植物園は、シンガポールの中心地の一角に位置し、MRT の駅から近いという良好な立地条件を有している。車やバス、タクシー利用によるアクセスも容易である。徒歩でも、ショッピングで有名なオーチャード・アベニューにたどり着けるし、また、MRT を使って北上すれば、北部の観光地であるナイトサファリなどを周遊することも可能である。

(施設内容とその特徴)

160 年に及ぶ植物園の歴史の中で暫時施設が拡充されてきており、園内には多種多様な施設が配されている。また、各々の施設は植物をテーマにしつつも、いかに楽しみながら、植物にまつわることが学べるかという姿勢が見られるとともに、子供から大人まで楽しめる内容になっている。

数多くある施設の中でも、特徴的な施設としては各種のテーマパークの存在が挙げられる。それらは、地球の始まりから植物の進化をたどる庭であるエボリューションガーデン、ヒーリングガーデン、フレグランスガーデン、様々な形や色の葉をテーマにした庭であるフォリッジガーデン、盆栽ガーデン、多肉植物や乾燥地帯の植物などの庭であるサングarden、エコガーデン（ハーブ、タケ、果樹などの経済上重要だった植物の庭）、ジンジャー・ガーデンなどがある。



また、特にナショナルオーキッドガーデンは、1,000 種以上のランの原種と 2,000 種以上の交配種を有する面積約 3ha の世界最大級のラン園である。本植物園では、輸出用のランの栽培のために、1928 年からランの交配や繁殖の研究が進められてきたが、そうした積み重ねをベースにして開園したものである。オーキッドガーデンの中には、熱帯の高地の環境で生育するランを展示しているクールハウスや、熱帯の密林に生育するランの品種を展示しているミストハウスが設けられている¹⁾。



本植物園は、常に新しい施設の導入を試み、植物園の区域も拡大されてきた。慈善家の寄付によって 2007 年にオープンしたジェイコブ・バラス・チルドレンズ・ガーデンは新しい施設であり、アジア発の子供のための庭とうたわれている。14 歳までの子供が対象で、大人のみでは入れない。テーマは、「地球上のすべての生命は植物によって成り立っている」ことをテーマに、子供たちが冒険と遊びを通して、自然や植物について学び、親しめることを意図した施設である²⁾。



ボタニー・センターには、植物標本室、植物園芸図書館、工作教室などがあり植物園の学術的な根幹施設である。もともとはゴムやランなどの熱帯系有用植物の研究に端を発した研究施設ではあるが、ガーデンシティを目指したシンガポールの都市緑化技術を支えた施設でもある³⁾。

160年の歴史のある本植物園には、歴史的に価値のあるヘリテッジツリー（33種41本）や、歴史のある建造物などの歴史的なランドマークが多い。これらは、ヘリテッジとして説明版が置かれ、これらを巡るヘリテッジツアーも行われている。また、ヘリテッジミュージアムも2013年にオープンしている。右写真は、ヘリテッジツリーの一つである¹⁾。



（運営管理の取り組み）

誘客対策としては、公園利用者へのサービス向上策として、ボランティアによる植物園ガイドや、各種イベントに力が注がれている。イベントは、森林や熱帯雨林、ラン、バックヤードなどを案内するツアーが主流であり、楽しんで植物が理解できるように植物をスケッチするイベントもある*。

以上のように、シンガポール植物園は、長い歴史を通じて、植物をテーマにして、いかに分かりやすく植物と人との関わりを伝えようとしてきたかが分かる。また、そして、こうした取り組みが積み重なって、その歴史自体をヘリテッジという形で利用者に提示している。このような植物をベースに置いた一種のテーマパークとしての有り様が、本植物園の魅力と考えられる。

（都市の観光動向と本植物園の役割）

シンガポール植物園は、熱帯の植物や園芸の研究や教育、植物種の保全を目的とした施設であり、1万種以上の植物を有し、ヤシやラン、ソテツ、ショウガなどの特筆すべきコレクションを有している。19世紀の庭園の景観をよく保全し、その景観には、シンガポール初期の形態をしのぶことができるという。1859年に設立された植物園の継続的な保全と開発は、ガーデンシティというビジョンを有する都市国家シンガポールの生命都市としての理念を維持するための鍵と言えるものだった。シンガポール人が、この植物園に郷愁に似た愛着を感じるのはまさにそんな理由によるのであろう。そして、そうしたシンガポール国民の植物園の思いが、シンガポールで最初の世界遺産登録に繋がったとされる。

このように、本植物園は、多くの観光客を惹きつけるという意味では観光に貢献しているが、それ以外にも、シンガポールという都市国家における本植物園の意義は、シンガポール全体の都市緑化への貢献を見逃すことはできないであろう。それは、シンガポール人の植物園への愛着に通じるものではあるが、植物園が都市緑化の技術的・学術的な根拠を与える施設という立場から、都市の緑化環境向上に寄与し、ひいてはそれが都市全体の魅力向上につながり、それが観光客や定住者を都市に惹きつける原動力になっているという側面である。

シンガポールは金融や IT 産業などを主産業としているため、高度な人材を必要とする。国際的な都市間競争において、都市環境の向上は不可欠であり、特に、IT 産業のようなバーチャルな世界における知的労働者には、究極のリアリティである自然環境が必要だという指摘もある。このため、シンガポール政府は、そうした都市環境創造への意志や方向性を明確に示すため、従来の「ガーデンシティ」というコンセプトから、自給自活を最終ゴールとした「シティ・イン・ザ・ガーデン」へとその目標像を大胆に転換し、都市の緑化を進めてきた。その技術的根拠を与えるのが植物園であると言える³⁾。



緑の多いオーチャード・アベニューの風景

(本公園の魅力に係る主な要素)

1. 園芸産業振興、都市緑化の推進、人と植物の関係性の啓発
2. 植物の美しさを際立たせる展示とデザイン
3. 各々の植物の特徴を活かした各種テーマパークの整備と、人と植物の関わりの観点に基づいた解説
4. 主に植物と人をつなぐイベントの開催
5. 国民の愛着と誇りのこもった施設

[参考文献・URL 等の情報根拠]

- 1) シンガポール植物園の HP<<https://www.nparks.gov.sg/sbg> 参照日 2019.1.25>
- 2) マレーシア都市緑地会議・IFPRA アジア太平洋支部大会およびシンガポール公園緑地視察報告書 (IFPRA ジャパン、平成 26 年 11 月)
- 3) チェンマイ国際園芸、ロイヤルフローラ・ラチャプルック 2006 出典参加報告書、財団法人国際花と緑の博覧会記念協会

メルボルの王立植物園

(所在地) オーストラリア、メルボルン市

(面積) 38 ha

(所有者) ビクトリア州

(管理団体) ロイヤル植物園財団ビクトリア

(植物園の設置経緯)

メルボルン市内の王立植物園は、ヤラ川の南側のほとりに 1846 年に設立された。その後、1958 年には、エリザベス二世から植物園の名称に「Royal」を冠することが認められた。今では、世界中から 8,500 種に及ぶ植物が集められて園内に展示されている¹⁾。

(立地条件)

王立植物園は、メルボルの市街地のほぼ中心に位置し、公共交通機関の駅（トラム）からも近く観光客には便がいい。特に、メルボルの中心地は、王立植物園をはじめとして公園や庭園が多く、緑豊かな都市環境の中でも中心的な緑地であると言える(図 1-9)。王立植物園は、ビクトリア国立美術館や、ヤラ川をはさんで立地するメルボルンオリンピック公園等の公共施設と連なっており、メルボルの緑地の骨格の一部を成すとともに、市内観光の拠点として機能している。



※公園位置図のベース図は、著作権フリーのオープンストリートマップ

<https://openstreetmap.jp/map#zoom=14&lat=-37.82206&lon=144.96621&layers=FB00F>

図 1-9 公園位置図

(植物園の施設内容とその特徴)

本植物園には、オセアニアを始めとした全世界から収集された貴重な植物が、その生育環境が理解できるように展示してあるとともに、植物研究のための施設や、ボランティア等の支援組織の活動を促すための施設などが揃っている。生育環境の分かる展示施設とは、例えば、砂漠をはじめとした乾燥地に生育する植物を展示している乾燥ガーデン、ニュージーランドの自生種コレクション、シダの生い茂る小峡谷の空間を作り出すシダ小峡谷、熱帯の植物が展示してあるトロピカル温室などである。

他にも 150 万点もの植物標本を有する植物研究施設であるナショナル・ハーバリウムや、メンバー制による植物園を支える非営利の組織の拠点施設（メルボルン・フレンズ・オフィス）がある¹⁾。

(植物園の管理と誘客の取り組み)

本植物園の特徴としては、植物園を楽しみ、植物が理解できるような様々なソフト、特にガイドツアーが用意されているところが挙げられる。

最も簡単に園内を巡るには、園内探検ツアーと呼ばれる熟練のガイドも同乗した園内バスツアーが最適である。熟練ガイドが、園内の自然や歴史について説明しながら園内を巡り歩く無料ツアーもある。アボリジニのガイドと一緒に園内を歩いて、この地の歴史やアボリジニの生活と植物との関わりなどについて学ぶことができるアボリジニ遺産ツアーや、ガーデニング同好会や写真クラブ、プロバスクラブなどの各種の愛好会用に、リクエストに応じた園内ツアーも企画し提供している。このような園内のみでなく、利用者の要望に応じて、自然の知識に詳しいガイドを公園外にまで派遣するボランティア出前ツアーまで用意されている。

エンターテインメント的な施設としては、オーナメンタル・レイクにて、伝統的な小船を使ったミニクルーズの舟遊ツアーや、夏期期間中の夜間に中央芝生広場で実施される屋外映画鑑賞イベント（ムーンライトシネマ）が開催されている。また、園内には自撮が行えるスポットが随所に設けられ、思い思いに自らのショットの撮影に興じられている¹⁾。

(本公園の魅力に係る主な要素)

1. 歴史ある植物園の伝統を踏まえた植物の展示・解説
2. 世界中から集められた植物の原生植生空間の再現
3. 砂漠から熱帯までの多様な環境を再現・展示
4. 公園や庭園が都市の中心に多数立地する中で、最も中心に位置し、周遊の要
5. 多様なガイドシステムによる案内
6. 自撮スポットの設定といった独自の工夫

(参考文献等)

1) Royal Botanic Gardens Victoria の HP <<https://www.rbg.vic.gov.au/> 参照日 2019.1.20>

海外事例に基づく魅力向上要件の設定

ここまで海外の代表事例8公園について、それぞれの魅力の要素について、各事例概要の中の「本公園の魅力に係る主な要素」の欄にて魅力要素を抽出した。それらを表1-2に列挙した。また、同じ性格の要素をグルーピングするために、本表では「分類」欄と「小分類」欄を設けて、該当する分類を記載した。

表1-2 海外事例の魅力

公園	主な魅力内容	分類	小分類
スタンレーパーク	都市に残された最後の原生自然	計画・設計	テーマ・理念、公園施設内容（多様性）
	原生自然を保全・活用した計画方針に基づいた自然に影響の少ない遊歩道（シーウォール）の整備	計画・設計	公園デザインコンセプト
	ミニゴルフやテニスなどの運動施設や水族館	計画・設計	公園施設内容（多様性）
	ガイド付き馬車ツアーによる園内案内	ソフトサービス	利用者案内
	自然を活かしたイベント（マラソン、ウォーキング等）の実施	ソフトサービス	イベント
セントラルパーク	大都市の中心にある広大な自然地で、都市のスプロール化防止を図る広大な緑地空間	計画・設計	テーマ・理念、公園デザインコンセプト
	池、広場等の新たに人工的に自然景観を作り上げたデザイン	計画・設計	公園施設デザイン
	歴史のある各種施設（回転木馬、水族館など）の存在	計画・設計	公園施設内容（多様性）
	近隣の博物館との情報共有	周辺とのネットワーク形成	観光ネットワーク形成[他施設との連携]
	黎明期の都市の発展の過程で、早期に中心に自然空間ができたことにより、公園周辺の良好な市街地の形成	周辺とのネットワーク形成	周辺市街地との連携
ミレニアムパーク	都市の中心におけるシンボリックな空間で、パブリックアートの伝統を活かした都市のアート空間	計画・設計	テーマ・理念、公園デザインコンセプト
	一流の建築家や芸術家による高度なデザイン空間の実現	計画・設計	公園施設デザイン
	スケートリンクやサイクルセンター等の多様な施設	計画・設計	公園施設内容（多様性）
	多額の民間寄付金収集による公園の整備方針	公園の実現手法	
	利便性が非常に高く、公園の直下に駅やバスターミナル、駐車場が完備	周辺とのネットワーク形成	公共交通の利便性
	シカゴ市の観光利用が増加し、その観光客がミレニアムパークに集中している。	周辺とのネットワーク形成	観光ネットワーク形成[周遊上の位置づけ]
	ジェイ・ブリッカー・パビリオンで多数のイベントの開催	ソフトサービス	イベント

公園	主な魅力内容	分類	小分類
ハイライン	市民の愛着のこもった歴史的建造物の保全と活用	計画・設計	テーマ・理念
	摩天楼の中の谷間をイメージした自然景観をなすデザインコンセプト	計画・設計	公園デザインコンセプト
	快適な歩行空間や眺望が得られるような施設計画・デザイン	計画・設計	公園施設デザイン
	観光地ではなかった地区を新たに観光名所にし、地区全体への観光客の集客	周辺とのネットワーク形成	観光ネットワーク形成[周遊上の位置づけ]
	ハイラインと一体になった地区の景観向上と雰囲気への保全が図られ、地区の活性化に寄与	周辺とのネットワーク形成	周辺市街地との連携
サウス・パーク バンク クランズ	リバーサイド空間再生による市民の理想的空間の創出	計画・設計	テーマ・理念
	リバーサイドでの文化的ライフスタイルを実現するデザインコンセプトに基づいた、人工ビーチ等のトロピカルな雰囲気のデザイン	計画・設計	公園デザインコンセプト、公園施設デザイン
	観覧車、人工ビーチ、プレイグラウンドなどの公園施設	計画・設計	公園施設内容（多様性）
	南岸の拠点となし、プリズベン川の両岸を周遊する観光ルートの創出	周辺とのネットワーク形成	観光ネットワーク形成[周遊上の位置づけ]
	新たな文化的な都市生活の拠点の整備によって、洪水によって廃れた地区の活性化に寄与	周辺とのネットワーク形成	周辺市街地との連携
リュクサンブール公園	ブルボン王朝時代の宮廷文化の保全と活用	計画・設計	テーマ・理念
	ブルボン王朝の宮廷空間を保全し、王朝時代の施設や彫刻を保存	計画・設計	公園デザインコンセプト、公園施設デザイン
	豪華な花壇植栽	計画・設計	公園施設内容（多様性）
	ポニー馬場、ペタンク場、養蜂園などの王朝ゆかりの多様な施設やの存在	計画・設計	公園施設内容（多様性）
	パリの街自体が、宮殿等の歴史的建造物を保全して成り立っており、その中心的施設である。	周辺とのネットワーク形成	周辺市街地との連携
シンガポール 植物園	園芸産業振興、都市緑化の推進、人と植物の関係性の啓蒙	計画・設計	テーマ・理念
	植物の美しさを際立たせる展示とデザイン	計画・設計	公園デザインコンセプト
	各々の植物の特徴を活かした各種テーマパークの整備と、人と植物の関わり観の観点に基づいた解説	ソフトサービス	利用者案内
	主に植物と人をつなぐイベントの開催	ソフトサービス	イベント
	国民の愛着と誇りのこもった施設	公園利用によって醸成された魅力	
メルボルン 王立 植物園	歴史ある植物園の伝統を踏まえた植物の展示・解説	計画・設計	テーマ・理念
	世界中から集められた植物の原生植生空間の再現	計画・設計	公園デザインコンセプト
	砂漠から熱帯までの多様な植生環境を再現・展示	計画・設計	公園施設デザイン
	公園や庭園が都市の中心に多数立地する中で、最も中心に位置し、周遊の要	周辺とのネットワーク形成	観光ネットワーク形成[周遊上の位置づけ]
	多様なガイドシステムによる案内	ソフトサービス	利用者案内
	自撮スポットの設定といった独自の工夫	計画・設計	公園施設デザイン

表 1-2 のうち、「分類」欄と「小分類」欄に記載された各分類項目については、以下のように整理できる。なお、この項目分類のうちの「1. (2) 公園デザインコンセプト」とは、公園全体のデザインコンセプトを、「1. (3) 公園施設デザイン」は、個別の公園施設のデザインを意味している。また、表 1-2 の中の事例のうち、「1. 計画・設計」中の「(1) テーマ・理念」、「(2) 公園デザインコンセプト」、「(3) 公園施設デザイン」がそれぞれ明確に分かれている事例もあるが、それらの区分があいまいな内容で記されている事例も見受けられる。しかしながら、これらの項目は、内容的には各計画ステージにおいて本来整理されているべきものであり、このような区分の整理はどの公園でも可能なものと考えられる。

なお、「5. その他」については、どの項目にも該当しなかったものを分類したものであるが、本欄には、シンガポール植物園が、市民の各ライフステージにおいて利用されることによって醸成された愛着や、植物園の社会的貢献に対する誇りが位置付けられている。

1. 計画・設計
 - (1) テーマ・理念
 - (2) 公園デザインコンセプト
 - (3) 公園施設デザイン
 - (4) 公園施設内容（多様性）
2. 公園の実現手法
3. 周辺とのネットワーク形成
 - (1) 公共交通の利便性
 - (2) 観光ネットワーク形成
 - 1) 周遊上の位置づけ
 - 2) 他施設との連携
 - (3) 周辺市街地との連携
4. ソフトサービス
 - (1) 利用者案内
 - (2) イベント
5. その他（公園利用によって醸成された魅力）

次に、先に掲げた 8 公園全てについて、改めて上記分類項目に沿って整理し、それらを表 1-3 にとりまとめた。それは、表 1-2 の魅力内容を上記分類に沿って体系的に整理するとともに、これらの項目が全ての公園に普遍的に該当するものなのかどうかを確認するためである。

表 1-3 海外代表公園事例の魅力要素の整理

公園		スタンレーパーク	セントラルパーク	ミレニアムパーク	ハイライン	サウス・バンク・パークラズ	リュクサンブール公園	シンガポール植物園	王立植物園 (メルボルン)	
要素区分	計画・設計・デザイン	テーマ・理念	都市に残された最後の原生自然	大都市の中心にある広大な自然地	都市の中心におけるシンボリックな空間	市民の愛着のこもった歴史的建造物の保全と活用	リバーサイド空間再生による市民の理想的空間の創出	ブルボン王朝時代の宮廷文化の保全と活用	園芸産業振興、都市緑化の推進、人と植物の関係性の啓発	歴史ある植物園の植生を重視した空間景観の保全
	公園デザインコンセプト	原生自然を保全し、活用した計画方針	都市のスプロール防止を図る広大な緑地空間	パブリックアートの伝統を活かした都市のアート空間	摩天楼の中の谷間をイメージした自然景観をなすデザインコンセプト	リバーサイドでの文化的ライフスタイルを実現するデザインコンセプト	ブルボン王朝の宮廷空間の保全	植物の美しさを際立たせる展示とデザイン	植物園の伝統を踏まえた原生植生空間の再現	
	公園施設デザイン	自然に影響の少ない外周園路 (シーウォール)	池、広場等の新たに人工的に自然景観を作り上げたデザイン	一流の建築家や芸術家による高度なデザイン空間の実現	快適な歩行空間や眺望が得られるような施設計画・デザイン	人工ビーチ等のトロピカルな雰囲気デザイン	王朝時代の施設や彫刻を保存	各々の植物の特徴を活かした各種テーマパークの整備と、人と植物との関わり観点に基づいた解説	世界中から集められた植物の生育空間の再現 自撮スポットの設定といった独自の工夫	
	施設内容 (多様性)	ミニゴルフやテニスなどの運動施設や水族館	歴史のある各種施設 (回転木馬、水族館など)	スケートリンクやサイクルセンター等	公園施設内容は限られる	観覧車、人工ビーチ、プレイグラウンドなど	ポニー馬場、ペタンク場、養蜂園など王朝ゆかり多様な施設 豪華な花壇植栽	各種植物毎のテーマパーク	砂漠から熱帯までの多様な環境を展示	
公園の実現手法		公共事業	公共事業	多額の民間寄付金収集	市民活動による機運醸成	博覧会を契機にリーディングプロジェクトの実施	公共事業	公共事業	公共事業	
周辺とのネットワーク形成	公共交通の利便性	○良い。駅はやや離れてはいるが、市街地に接しており、自転車やバス、マイカーでのアクセスが容易。	◎利便性が高い。公共交通機関の駅が取り囲んでおり、利便性が高い。	◎利便性が非常に高い。公園の直下に駅やバスターミナル、駐車場が完備。	◎利便性が高い。地下鉄の駅から近い。	◎利便性が高い。鉄道駅が近く、船の便も良い。徒歩でも快適に移動可能。	◎利便性が高い。地下鉄駅が近い。パリの中心に位置する。	◎利便性が高い。駅の便が良く、市街地の中心に位置している。	◎利便性が高い。駅の便は良く、都市のほぼ中心に位置する。	
	観光ネットワーク形成	周遊上の位置づけ	観光客や市民が自然を求めて集まってきている。	公園から周辺の博物館等への観光周遊が定着しており、観光周遊の拠点となっている。	シカゴ市の観光利用が増加し、その観光客がミレニアムパークに集中している。	観光地ではなかった地区を新たに観光名所にし、地区全体に観光客を呼び寄せた。	南岸の拠点をなし、プリズベン川の両岸を周遊する観光ルートを創出した。	パリの観光地の中でも要に立地し、有名な観光地のため、観光周遊には欠かせない存在。	シンガポールの中では有数の観光地であり、周遊の一拠点となっている。	
	他施設との連携	特になし	近隣の博物館との情報共有	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし	
周辺市街地との連携	早い時期に公園化が図られたため、都市の中に貴重な原生自然が残った。日常的に自然を求める市民や観光客にとって貴重な観光地である。	黎明期の都市の発展の過程で、早期に中心に自然空間ができたことにより、良質な都市が形成された。	シンボリックな都市の拠点が形成され、都市の中心がはっきりした。	ハイラインと一体になった地区の景観向上と雰囲気保全を図り、地区の活性化に寄与した。	新たな文化的な都市生活の拠点の整備によって、洪水によって廃れた地区の活性化に寄与した。	パリの街自体が、宮殿等の歴史的建造物を保全して成り立っており、その中心的施設となっている。	研究成果が国是である都市の緑化の技術的根拠を与えている。	歴史が古く、多様な植生展示と決め細かいソフト提供によって、根強いファンを確保している。都市の緑地系統の要に位置する		
ソフト・サービス	利用者案内	ガイド付き馬車ツアーによる園内案内	HP による利用者案内	HP による利用者案内	HP による利用者案内	HP による利用者案内	あまりなされていない	HP による利用者案内 各テーマパーク事の解説	多様なガイドシステムによる案内	
	イベント	自然を活かしたイベント (マラソン、ウォーキング等) を実施	ニューヨークマラソンなどの NY 市を代表するイベントの開催地	ジェイ・ブリッカー・パビリオンで多数のイベントの開催	テーマの異なる様々なイベントの開催	リバーサイド空間に馴染んだイベントの開催	毎年決まった主催イベントを実施	主に植物と人とをつなぐイベントを開催	この地の自然や歴史を学べるイベントを開催	
その他								国民の愛着と誇りのこもった施設		

魅力向上要件の設定

表 1-3 のうち、各事例の魅力要素が挙げられていなかった項目については、改めて各事例の情報から要素の抽出を試みたところ、おおむねどの公園も、先に整理した魅力の分類項目それぞれに要素を当てはめることができた。もちろん、項目によっては、事例ごとに該当する重要度に差があるものの、それでも、各項目は横断的に全ての事例にはほぼ当てはまっている。

以上から、海外の先進事例からは、観光振興に資するための公園緑地の魅力向上のために備えるべき要件として、まず下記分類項目のうちの大項目を挙げるができる。

1. 計画・設計

テーマ・理念、公園デザインコンセプト、公園施設デザイン、公園施設内容（多様性）

2. 公園の実現手法

3. 周辺とのネットワーク形成

公共交通の利便性、観光ネットワーク形成、周辺市街地との連携

4. ソフトサービス

利用者案内、イベント

5. その他（公園利用によって醸成された魅力）

上記分類項目の大項目をそれぞれ要件に当てはめると、以下の5つに要件を設定することができる。

要件 1	計画・設計（のあり方）
要件 2	公園の実現手法
要件 3	周辺とのネットワーク形成
要件 4	ソフトサービス
要件 5	その他（公園利用によって醸成された魅力）

これらの要件のうち、要件 1 の「計画・設計」については、小項目として「テーマ・理念」、「公園デザインコンセプト」、「公園施設デザイン」、「公園施設内容（多様性）」の 4 項目が含まれる。表 1-2 に掲載した各要素について、どの公園も「テーマ・理念」、「公園デザインコンセプト」、「公園施設デザイン」が魅力として挙げられている。中には、「テーマ・理念」と「公園デザインコンセプト」の内容が一緒に含まれた魅力や、「公園デザインコンセプト」と「公園施設デザイン」の内容が一緒に含まれた魅力も向けられるが、表 1-3 のように整理すると、全ての公園がこれら三つの要素にうまく当てはまっている。

加えて、各事例において、公園の最も重要な魅力を示している要素は、計画・設計に該当する上記 3 要素である。例えば、ハイラインでは、高架という歴史的建造物の保全にかかる市民活動

によって「市民の愛着のこもった歴史的建造物の保全と活用」という理念のもとに保全が実現し、専門家によるコンペによって、「摩天楼の中の谷間をイメージした自然景観をなすデザインコンセプト」が決められ、それに基づいて「快適な歩行空間や眺望が得られるような施設計画・デザイン」の実践がなされていった。公園の魅力形成には、これらのどれもが重要な要素である。また、ハイラインの保全によって周辺の建築物の高さが抑えられるなどの措置がとられ、そうした周辺市街地との景観上の一体性も魅力として挙げられているが、本要素はハイライン自体の理念やデザインが成功して初めて活きるものである。これらのことから、要件1として整理した「計画・設計」の中の3つの小項目については、それぞれが重要な要件として整理すべきと考え、以下のように要件1～3として整理した。

なお、要件の名称については、公園のテーマ・理念が、当該都市における公園の位置付けが明確なものである事例がより魅力を際立たせているため、要件の名称は以下のように変更した。また、公園デザインコンセプトについても、テーマや理念に込められている公園の設置目的に合致した事例がより魅力が認められたため、名称を以下のように変更した。なお、表1-3では多様な公園施設を含むものが魅力としてみなされたため、公園施設デザインには、多様性等の公園施設の内容を含むものとした。

- (1) テーマ・理念 → 要件1 都市における公園の明確な位置づけ
- (2) 公園デザインコンセプト → 要件2 設置目的に合致したデザインコンセプト
- (3) 公園施設デザイン → 要件3 公園施設デザイン（施設内容含む）

以上の検討から、以下の7つの要件を設定した。

- 要件1 都市における公園の明確な位置づけ
- 要件2 設置目的に合致したデザインコンセプト
- 要件3 公園施設デザイン（施設内容含む）
- 要件4 公園の実現手法
- 要件5 周辺とのネットワーク形成
- 要件6 ソフトサービス
- 要件7 その他（公園利用によって醸成された魅力）

要件の留意事項

前項において、観光振興上の観点から公園緑地が備えるべき要件を7つ導いたが、それぞれの要件の留意事項を導くため、魅力に係る要素をさらに細分化して、表1-4～表1-7のように整理した。

これは、各公園の事例に立ちかえって公園緑地の魅力に係る要素を詳細に見て、各要件に係る事項に沿って、より各要素を細分化したものであるが、それぞれの要素は以下のとおりである。

表1-4 公園設計・デザインにかかる項目

公園デザインコンセプト、デザインに係る内在意味・意義の理解、独自デザイン及びその効果、高質なデザイン実現手法、公園周辺への景観影響、インスタ映えするスポットの存在

表1-5 施設内容

自然、花、文化性、独自性、エンターテインメント性

表1-6 周辺とのネットワーク形成

公共交通の利便性、公園アクセス、周遊上の位置づけ、周辺施設との連携方策、都市の観光振興に寄与する公園の機能、都市形成に寄与した公園の役割（一体的な都市景観形成・都市のシンボル形成等）

表1-7 ソフトサービス

利用者案内、イベント、その他各種サービス等

表1-4からは、公園の理念を基底に置くデザインコンセプトに沿って、公園施設のデザインがなされていることが分かる。また、独自デザインへのこだわりも見受けられ、特に特徴の見られたデザイン手法については、それぞれデザイン手法の名称を表中に記載したところである。記載されたデザイン手法は、「自然特性保全活用デザイン」、「都市の自然環境保全デザイン」、「都市のシンボル形成デザイン」、「場の記憶保全デザイン」、「歴史的環境保全デザイン」などの5つのデザイン手法である。さらに、デザインの実現手法も、寄付金収集によるもの以外にも、競争性のある選定方式によるものや、リーディングプロジェクトによるものなどの特徴的な公園事例が見られた。

周辺とのネットワークの面では、どの公園も立地条件が良く、アクセスが容易であることが挙げられる。いくら施設内容が優れていたとしても、そこに到達しづらくては利用の促進は難しいため、重要な要素と言えよう。ただし、他の観光施設等との連携が図られている例はほとんど見られなかった。

また、利用者案内の面では、公園 HP の案内は充実しているものの、観光客、それも海外観光客対策はほとんどとられていないことが分かる。海外では、そもそも見た目では外国人かどうか判断できない場合も多く、しかも英語圏の国であれば、海外旅行者が英語を話せば済むため、あまり言語対応への努力をばらう必要性が少ないという事情もあるのであろう。こうした事項を勘案すると、観光振興に資する都市公園の要件を検討するには、我が国に特化した要件もありうる可能性もあることから、補足的に国内事例の情報も加味する必要がある。このため、次章では海外事例の情報の補完する目的で、国内事例の調査を実施している。なお、本章での海外事例の分析結果については、次章での国内事例の調査結果を合わせて分析し、もって、公園の魅力向上のための要件についての検討を進めるものとする。

表 1-4 公園設計・デザインにかかる留意事項

タイプ	公園名	公園デザインコンセプト	デザインに係る内在意味・意義の理解	独自デザイン及びその効果	高質なデザイン実現手法	公園周辺への景観影響	インスタ映えするスポットの存在
I	スタンレーパーク (カナダ、モントリオール市)	原生自然を保全し、活用した施設計画（広大な自然体験型公園）	市内に残る貴重な原生自然であり、その保全と活用が公園計画の基底を成す。	原生自然にはほとんど手をつけないというデザインコンセプトによって、利用者が求めるニーズに合致した施設計画となっている。【自然特性保全活用デザイン】	極力自然に負荷をかけないよう、半島という地形を利用して、海沿いの外周に遊歩道（シーウォール）を設けている。公園利用者のおよそ9割がこのシーウォールを利用している。	市街地から飛び出した半島上の公園のため、周辺は海であり、隣接地以外からは隔離されている。	シーウォールでの写真が多い。展望台からの眺めも良い。
II	セントラルパーク (米国、ニューヨーク市)	都市の中心に人工的に新たに自然景観を作り上げたデザイン	都市のスプロール化への対応として、人工的に自然環境を作り出している。人工的な整備ではあるが、自然に忠実な設計が目指されている。	マンハッタン島の中心に広大な自然地が現出したことにより、市街地の中心に自然豊かなオープンスペースを有した余裕のある都市が形成された。【都市の自然環境保全デザイン】	建築家オルムステッドによる都市計画によって、市街地のスプロール化に対応するために、マンハッタン島の中央に広大な公園を整備した。	周辺市街地には博物館や美術館が多く存在し、公園を中心に観光がなされている。	ストロベリー・フィールドやグレートローンなどの多くの有名なスポットがある。
III	ミレニアムパーク (米国、シカゴ市)	高質なアート性のあるデザイン空間を実現	都市の中心地に残された貴重な空間を、芸術的に都市のシンボリックな空間として創り上げる。	一流の建築家や芸術家のデザインによる建築物や構造物の実現により、都市の中心的なシンボル空間を実現した。【都市のシンボル形成デザイン】	通常の公共事業では標準的なレベルのデザインしか望めないため、ネーミングライトの手法を取り入れて、多額の民間資金を投入することによって高質なデザイン確保を可能にした。【寄付金収集方式】	シカゴ市の摩天楼の中に出現した芸術的空間が、その対比の中で際立っている。	公園内のパビリオンは、どれもインスタ映えする。
IV	ハイライン (米国、ニューヨーク市)	摩天楼に横たわる谷間をイメージした自然景観を現出するとともに、周辺市街地空間の保全を図った。	廃線敷高架であるハイライン存続への市民の思いが実現化した事業であり、その思いが形として表現された。【場の記憶保全デザイン】	ハイラインを快適に歩きやすいように植栽等がデザインされるとともに、人のたまり場が計画されている。【都市のシンボル形成デザイン】	市民の思いが募金という形で支援の輪が広がり、その人の輪が行政を動かした。寄付金や公共資金によるコンペを通じて、市民の思いが表現されたデザインとなった。【競争性のある選定方式】	ハイラインにマッチするように周辺の建物用途は変更されず、建物の高さも抑えられた。	ハイラインの上自体が格好の撮影スポットであり、周辺の市街地を眺めも良い。
V	サウス・バンク・パークランズ (オーストラリア、ブリスベン市)	リバーサイドでの文化的ライフスタイル現出の場として、リバーサイドの景観を活かしつつ、水辺での公園利用が図られる施設デザインを指向した。	リバーサイドにおける市民の理想的なライフスタイル現出の場をデザインした。	内陸であるが、人工ビーチを設けてトロピカルなデザインによって非日常的な空間を現出し、人気のスポットとなった。【都市のシンボル形成デザイン】	洪水によって荒廃していた市街地を、ブリスベン国際博覧会会場として整備し、その起爆力を活かして、跡地を公園化し活性化させた。【リーディングプロジェクト方式】	リバーサイドが当該地で分断されていたが、公園整備によってリバーサイドを周遊するルートが出来上がった。	人工ビーチをはじめ、リバーサイドとしての公園の至るところが撮影スポットとなりうる。
VI	リュクサンブール公園 (フランス、パリ市)	ブルボン王朝の宮廷空間の保全とともに、それらの施設を活用して宮廷文化ゆかりの利用を図っている。	ブルボン王朝の宮殿であり、世界史的な歴史の舞台でもあった。その事実を受け止め、後世に引き継ぐことが空間デザインの根底となっている。	新たな近代的デザインを施すことなく、往時の宮殿の形状の保全に徹している。【歴史的環境保全デザイン】	現存する施設の保全と適正な管理、また、オランジェリー（冬用果樹温室）などの施設も、本来使われていたような使用方法がなされている。	もともとパリの旧市街地内に位置し、周辺街並みと調和するとともに、パリの観光の要に位置する。	宮殿建物や数多くある彫刻など、撮影スポットには事欠かない。
VII	シンガポール植物園 (シンガポール、タングリン市)	植物と人との関係性を重視し、植物の美しさを際立たせる展示とデザインが図られている。	植物と人の関わり合いが理解しやすいデザインが採用されている。	ジェイコブ・バラス・チルドレンズ・ガーデンのような新しい施設や、ジンジャー・ガーデン等のテーマガーデンにおいて、独自のデザインが見受けられる。	植物に熟知した知見を基に、植物を軸にした高度な展示デザインを実現させている。	緑化技術の底支えをし、都市全体の緑化振興に寄与している。	園内のテーマガーデンを始めとして撮影スポットは多い。
	メルボルンの王立植物園 (オーストラリア)	植物園の伝統を踏まえた原生植生空間の再現がなされている。	歴史的に皇室の植物園として位置づけられた公園であり、その名にふさわしい施設整備がなされている。	様々な自然条件における植生を、園内いたるところに配置している。	植物の生育環境を再現して、原生自然を楽しめるデザインがなされている。	市内中心部の緑地を構成する重要な緑地である。	各々の園地が撮影スポットであり、自撮りコーナーまである。

表 1-5 施設内容に係る留意事項

タイプ	公園名	自然	花	文化性	独自性	エンターテインメント性
I	スタンレーパーク (カナダ、モントリオール市)	園内はほとんどが樹林であり、手つかずの自然が残る。ビーバーレイクという大きな池も存在する。	樹林や池を貴重にした公園であり、天然の花々が季節に応じて咲く。	シーウォールの入り口から 2.5km ほどのところに、かつて先住民 (7つの部族) の居留地だったことを示すトーテムポールが立てられている。トーテムポールには熊やシャチや人などが彫られているが、それらのモチーフの中には、各部族を象徴するものが含まれている。	一部に水族館等の施設整備はなされているものの、手つかずの自然を残すということが本公園の特徴である。	バンクーバー水族館は、オルカやイッカクなどの北方海洋哺乳類の飼育実績がある他、園内移動用乗り物として、パークトレインや馬車ツアーがある。
II	セントラルパーク (米国、ニューヨーク市)	人工的に造られた自然ではあるが、園内は樹林と芝生、池が基本となっている。池の護岸は自然の岸辺に近い形状をなし、野生の植生の復元が可能になっている。	シェイクスピア・ガーデンなどのテーマゾーン内に花木や草花が多く植えられている。	園内の施設は、それぞれ 150 年近くに及ぶセントラルパークの歴史を刻んだものである。19 世紀に設けられた、ベセスダ噴水、コンサーヴァトリー・ガーデン、ベルヴェデーレ城などの施設も存在する。	公園内では天然自然の中にいるような錯覚を覚え、都会的な景色や喧噪の中のオアシスとして機能する。	セントラルパーク・コンサーバシオンが多くのイベントを開催している。
III	ミレニアムパーク (米国、シカゴ市)	駐車場などに使用されていた都心の空地を活用した 10ha 程度の公園であり、大規模な自然が再現されているわけではない。	各建築物やパビリオンに外構的に植栽がなされており、その中で花の植栽にも配慮されている。	シカゴに古くからあったパブリックアートの伝統を活かして、芸術をテーマにした公園にするという企画された公園であり、コンサートをはじめとしたイベントが昼夜を問わず開催され、文化発信の拠点となっている。	都市の顔としてのシンボリックな空間の現出によって、観光客増を目指すという戦略に基づいている。	象徴的なパビリオンが整備され、2000 年代においてシカゴで最も集客力のある施設となった。
IV	ハイライン (米国、ニューヨーク市)	廃線高架上の空間的制約のある空間ではあるが、摩天楼内の谷間としてイメージできるような植栽がなされている。	緑化の工夫はされているが、花はあまり植えられてはいない。	毎月いくつかのイベントが異なったテーマで開催されている。	廃線敷高架という特殊空間を、全くの一般市民がコーディネートして公園化した稀有な事例	ハイラインでは各種のイベントが豊富に実施されている。
V	サウス・バンク・パークランズ (オーストラリア、ブリスベン市)	ブリスベン川の南側の河畔に位置し、河川と一体となった景観を成す。	トロピカルなイメージの花が植えられている。	サウス・バンクには芸術や音楽の学校が多く、文化をリードする地区である。また、市民の最高のライフスタイルを実現する場として人気が高い。	万博跡地を活用して、地区の活性化を図った事業である。	毎年多くのイベントが開催され、週末にはマーケットも開催される。
VI	リュクサンブール公園 (フランス、パリ市)	王朝時代の宮殿の庭であり、自然物ではないものの、多くの樹木が植えられ、良好な自然地を形成している。	宮殿周囲をはじめとした花壇の花は、年 3 回植え替えられている。	宮殿や庭園自体が芸術であるが、園内には著名な芸術家の手による彫刻が多数データされている。	宮殿をそのまま国会議事堂の敷地として利用し、その庭園部を一般に開放している。	主催者イベントは年に数回同じテーマのものを実施している。持ち込みイベントは多い。
VII	シンガポール植物園 (シンガポール、タングリ市)	園内には 1 万種以上の植物が植えられ、特に歴史的に価値のあるヘリテッジツリーも 41 本ある。	植物園として多種多様な花が展示されているが、ランやジンジャーの花は圧巻である。	植物をテーマにしつつも、いかに楽しみながら、植物にまつわることが学べるかという姿勢に基づいて、各種テーマパークが設けられている。	ゴムやラン研究を主目的とした歴史を持つが、約 160 年という長い歴史が市民の植物園への愛着を醸成している。	イベントは、園内を案内するツアーが主流であるものの、一方でコンサートといった大人数の集客イベントも開催される。
	メルボルンの王立植物園 (オーストラリア)	世界中から 8500 種に及ぶ植物が集められ、園内に展示されている。	植物園として多様な花々が展示されている。	「Royal」と冠された植物園のあり方そのものが文化である。歴史のある植物園らしく、世界中から集めた植物を、原生植生環境を再現して展示している。	世界中から集められた植物が、それらの生育環境が理解できるように展示してある。	ムーンライトシネマ、自撮りツアー、ボランティア出前ツアー、園内探検ツアー、船遊ツアーなど、利用者のニーズに沿った様々な取り組みがなされている。

表 1-6 周辺とのネットワーク形成に係る留意事項

タイプ	公園名	公共交通の利便性	周遊上の位置づけ	周辺施設との連携方策	都市の観光振興に寄与する公園の機能	都市形成に寄与した公園の役割 (一体的な都市景観形成・都市のシンボル形成等)
I	スタンレーパーク (カナダ、モントリオール市)	○良い。駅はやや離れてはいるが、市街地に接しており、自転車やバス、マイカーでのアクセスが容易。	観光客や市民が自然を求めて集まってきた。	特になし	日常的に自然を求める市民や観光客にとって貴重な観光地である。	早い時期に公園化が図られたため、都市の中に貴重な原生自然が残った。
II	セントラルパーク (米国、ニューヨーク市)	◎利便性が高い。公共交通機関の駅が、公園を取り囲むように存在する。	マンハッタン島の中央に位置し、観光客が周遊する際の拠点となっている。	公園内外の近隣の博物館との情報共有	日常的に自然を求める市民や観光客にとって貴重な観光地である。	黎明期の都市の発展の過程で、早期に中心に自然空間ができたことにより、良好な都市が形成された。
III	ミレニアムパーク (米国、シカゴ市)	◎利便性が非常に高い。公園の直下に駅やバスターミナル、駐車場が完備。	シカゴ市の観光利用が増加し、その観光客がミレニアムパークに集中している。	交通結節点上に公園を設けることにより、周辺との連携が容易となっている。	新たな観光拠点の登場で、観光地としては陳腐化していた摩天楼から公園に観光客が移った。シカゴ市全体の観光客も増加した。	都市の交通結節点と都市のシンボルを新たに都市の中心に設けたことにより、都市の中心性が際立った。
IV	ハイライン (米国、ニューヨーク市)	◎利便性が高い。地下鉄の駅から近い。	NY市内では観光地ではなかった地区に、新たに観光名所を創出し、地区全体に観光客を呼び寄せた。	特になし	それまで観光地として見られていなかった地区を、一躍観光地にのし上げ、新たな観光需要を地区全体に創出している。	ウェスト・チェルシー地区全体の保全のシンボルとして機能し、地区の景観向上と雰囲気保全を図り、地区の活性化に寄与した。
V	サウス・バンク・パーク ランズ (オーストラリア、ブリスベン市)	◎利便性が高い。鉄道駅が近く、船の便も良い。徒歩でも快適に移動可能。	ブリスベン川の両岸を周遊する観光ルートを創出。南岸の拠点をなす。	特になし	洪水によって廃れた街に公園ができたことにより、川の両岸沿いを巡る観光周遊が図られるようになった。	洪水によって廃れた街に、新たな文化的な都市生活の拠点かつ観光拠点の整備によって、町の活性化に寄与した。
VI	リュクサンブール公園 (フランス、パリ市)	◎利便性が高い。地下鉄駅が近い。パリのほぼ中心に位置する。	パリの観光地の中でも要の位置に立地し、観光客にとって周遊する上では欠かせない存在。	特になし	17世紀のブルボン王朝ゆかりの有名な観光地であり、周遊観光の拠点である。	都市自体が宮殿などの歴史的建造物を中心に成り立っている。
VII	シンガポール植物園 (シンガポール、タングリ市)	◎利便性が良い。駅の便が良い。	シンガポールの中では有数の観光地であり、周遊の一拠点となっている。	特になし	シンガポールでは、歴史的にも国を支えてきた施設であり、その理念・意義が理解されている人気の観光地である。	国民の愛着と誇りのこもった施設であり、かつ研究成果が国是である都市の緑化の技術的根拠を与えている。
	メルボルンの王立植物園 (オーストラリア)	◎利便性が高い。駅の便は良く、都市のほぼ中心に位置する。	公園や庭園が都市の中心に多数立地する中で、最も中心に位置し、周遊の要となる。	特になし	歴史が古く、多様な植生展示と決め細かいソフト提供によって、根強いファンを確保している。	都市の緑地系統の要に位置する。

表 1-7 ソフトサービスに係る留意事項

タイプ	公園名	利用者案内	イベント	その他各種サービス等
I	スタンレーパーク (カナダ、モントリオール市)	・馬車ツアーではガイドによる詳しい説明を聞くことができる。 ・案内情報を記したパンフレットをネットで公開、紙ベースのものは空港、フェリーターミナル、旅行センター、ホテル、所管の公園等で配布	各種のフェスティバルやマラソン、ウォーキング大会などを含めて、年間平均 66 ものイベントが開催されている。スタンレーパーク 125 周年記念行事も企画されている。	・自然の大切さやその保全を学ぶ組織として、スタンレーパーク・エコロジー・ソサエティがある。 ・2014 年にトリップ・アドバイザーの人気 No.1 に選定された。
II	セントラルパーク (米国、ニューヨーク市)	広大な公園の維持管理のために寄付金を主体としたセントラルパーク・コンサーバンシーが運営管理を行う。本コンサーバンシーの HP に公園案内がある。	ニューヨークマラソンなどのニューヨーク市を代表するイベントが開催されている。	セントラルパーク・コンサーバンシーの主要な仕事が寄付金集めであるが、寄付者にグッズを提供するなどの努力がはらわれている。
III	ミレニアムパーク (米国、シカゴ市)	シカゴ市の HP や各パビリオンの HP で利用者案内がなされている。	イベント案内の HP では、毎日のようにジェイ・ブリッカー・パビリオンでの多くのイベントが開催されていることが分かる。	寄付金を集めるために、高額寄付者の名前を刻んでいるモニュメント (リグリー・スクウェア) もある。
IV	ハイライン (米国、ニューヨーク市)	公園を運営管理する NPO (フレンズ・オブ・ハイライン) の HP で利用者案内がなされている。	HP には開催されるイベント等の情報が記されている。	運営管理を行うフレンズ・オブ・ハイラインは、ハイラインの事業化に貢献のあった若者 2 人が中心となった組織である。
V	サウス・バンク・パークランズ (オーストラリア、ブリスベン市)	HP で利用案内がなされている。	HP には開催されるイベント等の情報が記されている。	万博を契機に、荒廃した地区を活性化するために設けられた公園であり、本公園によって川の両岸にわたる周遊がなされるようになった。
VI	リュクサンブール公園 (フランス、パリ市)	元老院職員 (国家公務員) の庭師が公園の管理を行っている。本来の機能が元老院の運営であるため、通常の公園ほどは利用者案内はなされていない。	毎年、決まった主催者イベントが実施されている。	全て元老院予算 (国家予算) で運営管理費はまかなわれている。
VII	シンガポール植物園 (シンガポール、タングリ市)	植物園の HP に利用者案内が記されている。ボランティアによる植物園ガイドが案内を行う。	主に植物と人をつなぐイベントを開催している。ボランティアによる植物園ガイドや各種イベントは、サービス向上策に位置付けられている。	シンガポールは都市の緑化が国是であるが、その緑化技術の根拠を常に本植物園は提供し続けてきている。つまり、その下支えによってシンガポールは国際都市としてのクオリティを確保していると言える。
	メルボルンの王立植物園 (オーストラリア)	植物園の HP に利用者案内が記されている。フリー・ガイドツアー (熟練ガイドによる無料ツアー) も開催されている。	実に様々なきめ細かいツアーやイベントが開催されている。園内の自然景観をいかに堪能してもらうかという姿勢が窺える。	植物が生育している自然環境をなるべく忠実に再現した展示がなされており、歴史ある植物園らしい佇まいを見せている。

第二章 国内の先進事例に基づく要件の整理

前章の検討から、海外事例に加えて国内事例の調査の必要性が認識されたため、国内事例の情報の収集を行った。国内事例については、海外事例の7つのタイプそれぞれに該当する公園が当てはまるように、全国の主な公園事例を選定した。なお、国内事例の選定にあたって、海外のタイプ要件をそのまま国内の事例にあてはめると、面積規模が実態に合わないなどの不都合が生じた。このため、表中のタイプ要件を青字の箇所のように修正した。しかしながら、このように修正しても、海外公園の区分に影響を及ぼすことはない。

表 2-1 国内事例の調査公園

タイプ	タイプ要件	国内事例
I	広大な自然体験型公園	国営海の中道海浜公園[福岡県福岡市東区]
II	広大な都市のオアシス (面積 50ha 以上→10ha 以上)	新宿御苑[東京都新宿区]
III	都心の小規模な休憩スポット (面積 10ha 以上→規模を設定せず)	警固公園[福岡県福岡市中央区]
IV	遊歩道公園 (大通公園などまで対象を拡大する)	オアシス 21 (久屋大通公園) [愛知県名古屋市東区]
V	施設複合型公園	生田緑地[神奈川県川崎市多摩区] 国営ひたち海浜公園[茨城県ひたちなか市] ときわ公園[山口県宇部市]
VI	歴史的公園	兼六園[石川県金沢市]、奈良公園[奈良県奈良市] 新倉山浅間公園[山梨県富士吉田市] 首里城公園[沖縄県那覇市]
VII	テーマ特化型公園	広島平和記念公園[広島県広島市中区] 海洋博公園[沖縄県国頭郡本部町] あしかがフラワーパーク[栃木県足利市]

※公園タイプは単純に一公園を一タイプに区分されるものでもなく、一つの公園が複数の公園にまたがって区分することが妥当な場合もあるが、本表では一公園一タイプで分類している。

また、各事例の内容は以下の項目について記載した。

所在地、面積、公園種別、年間公園利用者、公園へのアクセス、設置経緯、主な施設、公園の特徴・魅力(・デザイン手法)、デザイン的な特徴・配慮、利用状況 [インバウンド利用]、観光上の位置づけ、周辺等との連携や観光対策、周辺(施設等)との連携、周辺地との関係、運営管理、管理運営(上の取り組み)、イベント

タイプⅠ 広大な自然体験型公園

国営海の中道海浜公園

(所在地) 福岡県福岡市東区

(面積) 540 ha うち開園面積約 300ha (2017 年) ¹⁾

(公園種別) イ号国営公園

(年間公園利用者) 261 万人/年 (2017 年度) ¹⁾

(公園へのアクセス)

公園内に JR の駅があるほか、福岡市街地から渡船を利用することも可能である。志賀島方面への周遊を行うためには、マイカーの便が良い(図 2-1)。

(設置経緯)

公園区域の大半は、かつては米軍の通信基地だった。本基地の返還に伴い、跡地活用検討の結果、九州圏域における広域的レクリエーション需要に対応するため、イ号国営公園として整備されることになった。

(主な施設)

福岡市内に残る広大な自然である通称海の中道と呼ばれる陸繋島砂州のほぼ大半の区域を公園にしている。玄界灘と博多湾の海に囲まれ、海に関係する施設としてマリンワールド(水族館)、サンシャインプール、マリナーがあるほか、ワンダーワールド(遊園地)、デイキャンプ場、動物の森、大芝生広場、サイクリングロード、野外劇場などの多様な施設があり、さらに宿泊機能を提供する施設としてホテルや青少年海の家もあるなど、様々な客層が自然の中で丸一日利用できる公園である²⁾。

(公園の特徴・魅力・デザイン手法)

白砂青松の広大な砂州という立地条件を活かした海浜公園で、デザイン的な特徴・配慮としては、地形や自然に馴染み、かつ国営公園としてのグレードを保ったデザインがなされている。例えば、玄界灘の海岸線にはほとんど手を付けず、人工林である松林は、園内の暴風のためには不可欠であり、かつ白砂青松林の重要な要素でもあるため、その保全が図られている。

また、砂州には雨水が溜まるため、園内の池の殆どは



素掘りによって整備した池で、池の水位は地下水位そのものである。このため、季節によって水位が変動するため、護岸は階段状にデザインされている。整備が進んでいる「森の池エリア」は、前記の素掘りの池と同じ理由で、降雨が続くと標高が低い箇所に現れる幻の池をそのまま公園施設として活用している。

また、園内の水族館の建築物は著名な建築家（磯崎新）の設計により、高いデザイン性を目指している。



（観光上の位置づけ）

海の中道海浜公園の先には、金印で有名でかつ海水浴客でにぎわう志賀島が存在し、その途中に位置することからこれら施設とのネットワーク形成が可能である。



※電子国土Web（国土地理院）をベース図にして、最寄り駅からの位置と縮尺を表示した。

図 2-1 公園位置図

〔参考文献・URL 等の情報根拠〕

- 1) 国土交通省 九州地方整備局 別添 2、海の中道海浜公園の概要
http://www.qsr.mlit.go.jp/n-park/park/kanminrenkei/22_kanminrenkei_data.pdf 参照日 2020. 2. 15>
- 2) 海の中道海浜公園 HP、海の中道管理センター <<https://uminaka-park.jp/>> 参照日 2019. 12. 26>

タイプⅡ 広大な都市のオアシス

新宿御苑

(所在地) 東京都新宿区

(面積) 58.3ha*

(公園種別) 国民公園（環境省設置法、国土交通省設置法に基づく）

(年間公園利用者) 250万人／年（2017年度）¹⁾

(公園へのアクセス)

外国人が増加した理由の一つに、バスターミナル（バスタ新宿）の整備があるとされている。バスタ新宿は海外旅行客が地方へ移動するための交通拠点となっているため、新宿に宿泊する外国人は多い。また、繁華街も多く、移動の空き時間にアクセスしやすいという利便性が大きいと指摘されている*（図2-2）。

(設置経緯)

1590年、譜代大名の内藤氏の屋敷地となる。明治5（1872）年には牧畜・園芸の試験場が設置された。その後、欧米建築や洋風庭園がもてはやされる中、明治政府が威信をかけて庭園として修築、明治39（1906）年に皇室庭園としての新宿御苑が完成した。戦時中に多くの園内施設が焼失したものの、一部は焼失を免れ、現在は重要文化財に指定されている。戦後は国民公園新宿御苑として一般開放され、現在の新宿御苑となった^{1,2)}。

(公園の特徴・魅力)

本公園の魅力は、第一には庭園である。日本庭園、フランス式整形庭園、イギリス式風景式庭園が整備されており、こうした三つの公園が揃っているのは珍しい²⁾。

魅力の二つ目は、大都市の中における静寂で広大な公園であることが挙げられる。新宿駅周辺の商業地区から至近距離にあるにも関わらず、静かに自然を感じられ、全く新宿の喧騒を感じることはない。また、高層ビルを背景とした庭園との対比も特徴的であり、ニューヨークのセントラルパークを彷彿させるものでもある。



(デザイン的な特徴・配慮)

大名屋敷の庭の遺構をデザインに組み込むなど、その土地の歴史を生かした設計がなされている。現在の姿の原型は皇室の庭園として整備された際の形であり、アンリ・マルチネによって設計された風景式庭園、整形式庭園、日本庭園という異なるデザインが巧みに組み合わせられた庭園

* 公園管理者（新宿御苑管理事務所）への問い合わせ（2019.11）

を鑑賞することができる。アンリ・マルチネはビスタラインを意識して庭園を造ったとされ、都市の過密化が進んだ現在、貴重な開放的なオープンスペースとなっている³⁾。

広大な園内には1万本を超える樹木が植栽されており、都心における貴重な緑地となっているが、特に、園内には約65種1000本のサクラが配植されており、1年を通じてサクラの花を見ることができるという特徴がある。早春には早咲きのサクラが咲き、4月初旬にはソメイヨシノが、その後はサトザクラが花を咲かせる。カンザクラは冬に咲くが、夏や秋に狂い咲きすることもあるからである。長期間にわたってサクラの花見を楽しむことができるほか、四季を通して様々な花が鑑賞できる²⁾。また、2012年には温室がリニューアルオープンし、日本国内外の様々な環境テーマに沿った植物が鑑賞できるほか、絶滅危惧種の保護等も行っている^{1,2)}。

SNS映えする場所として、プラタナス並木等が挙げられるほか、園内のバラの写真も数多く投稿されている。以上から、公園の魅力維持のためには、庭園の風景や植栽の維持が重要であると認識されている*。

(利用状況 [インバウンド利用])

公園のうちの約半数が外国人利用者であると推定されている。外国人はアジアからの来訪者が多く、平日は外国人観光客の方が多くいるという報告がある*。

(周辺施設等との連携)

東京都内の庭園管理者が集まった「東京の日本庭園おもてなし協議会」に属している。本協議会で共同イベントや英語版の共通の冊子の作成などがなされている。

また、新宿御苑周辺は、新宿区の条例によって眺望保全地区に指定されており、新宿御苑内外に屋外広告物を設置する際に新宿区との協議が必要となる⁴⁾。さらに、渋谷区景観条例⁵⁾に基づいて、新宿御苑周辺の建物の意匠について、公園内からの眺望にふさわしいものとなるように指導がなされている。

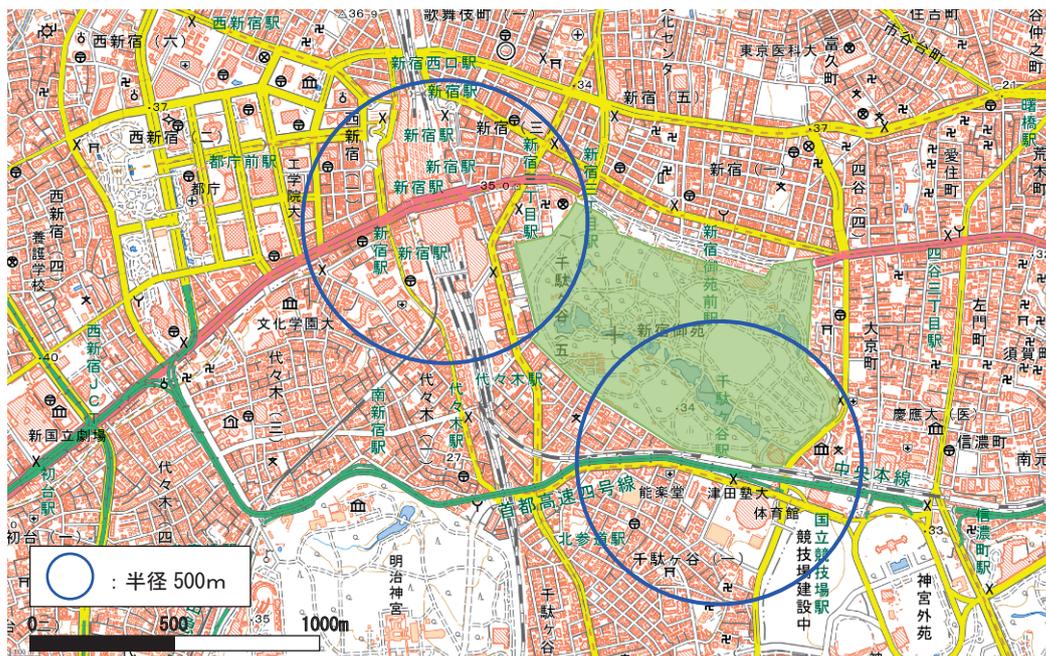
(運営管理)

外国人観光客への取り組みとして、多言語対応のマップ・パンフ等が配布されている。また、国内向けの対応として、花の見ごろ情報が配信されている*。さらに、園内にはフリーWi-Fiのサービス²⁾が提供されている。

(イベント)

GWには「みどりフェスタ」や「ロハスフェスタ」が開催されている。11月の文化日前後には、皇室ゆかりの「菊花壇展」が開催される。そのほかにも福島県産物のマルシェなど多くのイベントが開催されている*。





※電子国土Web（国土地理院）をベース図にして、最寄り駅からの位置と縮尺を表示した。

図 2-2 公園周辺図

〔参考文献・URL 等の情報根拠〕

- 1) 新宿御苑の平成 29 年における入園者数等の報告について、環境省 HP
<https://www.env.go.jp/garden/shinjukugyoen/> 参照日 2019. 2. 20
- 2) 新宿御苑、一般財団法人国民公園協会 <<https://fng.or.jp/shinjuku/>> 参照日 2019. 2. 20
- 3) 新宿御苑の空間構造とデザインの特徴 田村 裕希
<http://www.tamura-ep.com/writing/image/s-gyoen.pdf> 参照日 2019. 12. 23
- 4) 「新宿区景観まちづくり計画」一部改定（素案）（平成 26 年 11 月）新宿区
<https://www.city.shinjuku.lg.jp/content/000163735.pdf> 参照日 2019. 12. 23
- 5) 景観形成特定地区（新宿御苑周辺地区）の景観形成基準に対する措置状況説明書（建築物の建築等）
https://www.city.shibuya.tokyo.jp/assets/detail/files/kurashi_machi_pdf_keikan_c1n.pdf 参照日 2019. 12. 23

タイプⅢ 都心の小規模なスポット

警固公園

(所在地) 福岡県福岡市中央区

(面積) 1.1ha

(公園種別) 近隣公園

(年間公園利用者)

利用者人数のカウントはなし。

(公園へのアクセス)

福岡市の市役所に近い中心地に位置し、西鉄福岡駅を出たところ設けられているため、駅前広場的に通行人の往来の多い場所である(図 2-3)。

(設置経緯)

福岡市天神の中心に位置し、待ち合わせ等によく利用される。2012年に、老朽化や防犯の問題から展望台などが撤去され、見通しを良くするなどして全面的に生まれ変わった。現在は、街行く人たちが安心して過ごせる場所であり憩いの場となっている。

(公園の特徴・魅力)

かつては治安の悪化が問題となっていたが、改修後は改善され、周辺に商業施設が集積していることもあって、春から秋にかけては座る場所がないほど多くの人に利用されている。近年は周辺商業施設が公園に向けてカフェを開業させるなどの活用もなされている。



(デザイン的な特徴・配慮)

老朽化や植物の経年変化に伴い、治安の悪化が問題となっていた。そこで、デザインコンセプトを「防犯と景観の両立」とし、防犯の観点から見通しを改善するために、西側の築山の撤去や樹木の伐採が行われた。また、死角を無くすために、公園内とその周辺の歩道を広くして、ベンチや花壇を配置した。その結果、園内外の視線が交錯するようになり防犯性が向上した。加えて、周囲からは園内の様子や来園者の活動、休憩する姿を眺められるとともに、園内からは見えてくる周囲の景観を公園の魅力として感じられるようになった。さらに、スケートボードの利用を排除するため、舗装を芝や自然石を用いるなどの配慮がなされ



た。こうして、改修後の公園の魅力が周囲に伝播することで、来園者の増加と人目が増えることによる防犯効果の向上が図られている^{1,2)}。

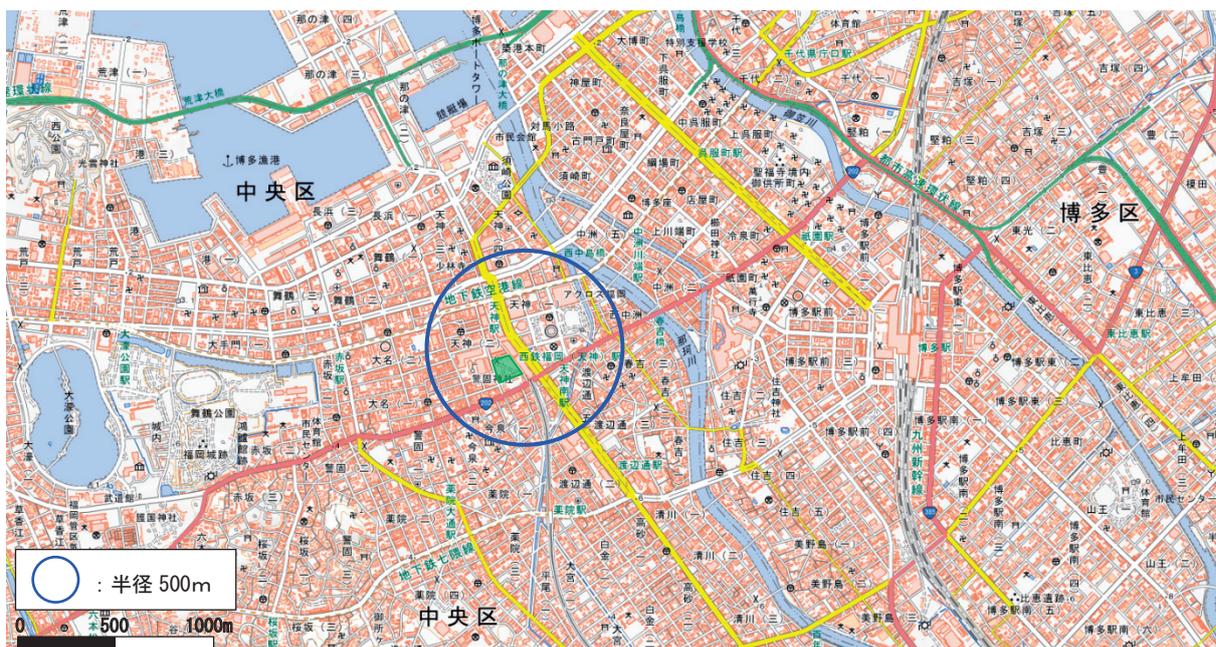
(利用状況〔インバウンド利用〕)

もともとこの場所は駅に接し、百貨店などの集客施設や市役所が近接するなど市民が日常的に行き交う場所である。市外からというよりも、主に市内住民が活用する空間ではあるが、より安全な空間となることにより観光客の利用も可能となっている。

地域住民、来街者、観光客などがあらゆる属性の公園利用者が、隙間時間に気軽に立ち寄ることのできる場所であり、周辺商業施設（ソラリアプラザ・岩田屋等）での買い物の休憩所としても利用されている*。

(管理運営)

公園の再整備の検討に当たっては、地域住民、周辺の事業者、エリアマネジメント団体、ボランティア団体、大学、警察からなる警固公園対策会議が設けられ設けられて議論された。その結果先に上げた各種デザインに繋がっている¹⁾。



※電子国土Web（国土地理院）をベース図にして、最寄り駅からの位置と縮尺を表示した。

図 2-3 公園周辺図

[参考文献・URL 等の情報根拠]

- 1) 福岡市「警固公園再整備事業」～安心安全のシンボルについて～、公園緑地 Vol.1.78, No.1, 2017 P18 - 21
- 2) 緑のまちづくり、公益財団法人福岡市緑のまちづくり協会
<<https://www.midorimachi.jp/park/detail.php?code=305002> 参照日 2019. 12. 27>

*公園管理者（福岡市役所）への問い合わせ（2019.11）

タイプⅣ 遊歩道公園

オアシス 21（久屋大通公園）

（所在地）愛知県名古屋市東区

（面積）約 2 km に及ぶ久屋大通公園の一部、水の宇宙船（2,700 m²）を含む地上公園（14,500 m²）¹⁾

（公園種別）特殊公園*

（年間公園利用者）1600 万人／年

（公園へのアクセス）

バスターミナルと一体になっている他、地下鉄につながる地下街と一体的な施設である（図 2-4）。

（設置経緯）

旧栄公園の老朽化と旧愛知県文化会館・旧 NHK 名古屋放送会館の建て替え時に、両施設と旧栄公園の敷地を入れ替えて再整備がなされた。

（主な施設）

水をたたえたガラスの大屋根（水の宇宙船）、芝生広場（緑の大地）、バスターミナル、イベント広場（銀河の広場）、ショップが一体となった立体型の公園。

（公園の特徴・魅力）

名古屋の栄のシンボルとして都市の骨格をなす公園。オアシス 21 はその中でも公園の拠点性を有する。多数のバスが乗り入れるバスターミナルがあり、地下鉄栄駅・名鉄栄町駅と直結する名古屋の交通拠点となっている。

（デザイン的な特徴・配慮）

設計者は都会の賑わい等を意識して設計した。名古屋のオフィス街でかつショッピング街である栄の町の中心軸をなすのが久屋大通公園である。公園内の施設は高いデザイン性のこだわりがみられるが、特に 2002 年に整備されたオアシス 21 は、久屋大通りの公園の中でもさらにランドマークとなるべきデザイン性の高い建造物が整備された。地下街やバスターミナルと一体になった施設であり、町のシンボルの施設となっている。公園周辺は、周辺施設と一体的に整備されている。



*オアシス 21 管理事務所への問い合わせ（2019.11）

計画は、提案競技によって選ばれたものであり、宇宙船をイメージした水をたたえたガラスの大屋根がシンボリックな構造物となっている。この大屋根と芝生広場（緑の大地）とイベント広場（銀河の広場）、加えてバスターミナルやショップが一体となった立体型の公園となっている²⁾。



〔利用状況〔インバウンド利用〕〕

海外利用客は、この施設をメインで訪れている印象がある。国内の方に関しては、NHK 名古屋放送センターや、愛知県技術文化センター等と併せて来ている印象を受ける。外国人観光客への取り組みとして園内表記は英語・中国語・韓国語等による表記も行っている。国内向けの対応として園内の観光案内所で案内をするなどしている*。



※電子国土Web（国土地理院）をベース図にして、最寄り駅からの位置と縮尺を表示した。

図 2-4 公園周辺図

〔参考文献・URL 等の情報根拠〕

- 1) 名古屋市 HP<<http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/53-10-7-5-1-0-0-0-0.html>
参照日 2019. 12. 27>
- 2) オアシス 21 HP、栄公園振興株式会社<<https://www.sakaepark.co.jp/>> 参照日 2019. 12. 27>

タイプV 施設複合型公園

生田緑地

(所在地) 神奈川県川崎市多摩区

(面積) 約 180ha

(公園種別) 総合公園

(年間公園利用者) 80 万人/年 (近年おおむね同程度で推移) *1

(公園へのアクセス)

新宿駅から列車 1 本で来園できるアクセス性の良さも魅力となっている*1。ただし、広大な公園のため、園内の移動は課題である(図 2-5)。

(主な施設)

岡本太郎美術館、日本民家園、伝統工芸館、かわさき宙(そら)と緑の科学館、藤子・F・不二雄ミュージアム、バラ苑(春と秋に開苑)。園内の枡形山は、鎌倉時代は城として利用されていたほか、古墳群が存在しており、地域の歴史に触れることができる¹⁾。



(設置経緯)

本格的な都市化が進む以前の昭和 16 (1941) 年に都市計画決定されたため、里山の自然が保全された。また、向ヶ丘遊園の閉園に伴い、遊園内のバラ園の存続を求める声が高まったことから、公園内にバラ園が組み込まれることとなった¹⁾。



(公園の特徴・魅力)

多摩川崖線上に位置する川崎市内最大の緑地。公園のテーマは敷地内に残されている里山の自然、および文化の保全であり、クヌギ・コナラを中心とした雑木林や、谷戸部の湿地、湧水等、里山的な環境が保全されている。文化的な展示としては、日本各地から古民家を移築・展示している日本民家園があり、ここでは実際に当時の生活の一部を体験することも可能であり、学校向けの体験学習プログラム等も充実している²⁾。



*1:公園管理者(川崎市生田緑地整備事務所)への問い合わせ(2019.11)

自然面においては、中央地区にゲンジボタルやホトケドジョウ等、近年は限られた地域にしか見られない生物が生息している。その他、周辺には、美術館や伝統工芸、バラ園等の園内施設も充実しており多面的な楽しみ方ができる。特にバラ園は SNS への投稿数が多く見られる。



(デザイン的な特徴・配慮)

里山の環境・文化の保全のため整備された公園緑地のため、森や自然をそのまま残すことが優先されている。そのため、園路には、多数の登り坂や下り坂、階段、自然路などが点在しているほか、ゲンジボタルやホトケドジョウなどが生息する貴重な環境が保全されており、過去の環境を今に伝える場所になっている。自然に近い緑地ゆえに、維持管理として倒木の防止・排除等を継続的に行い、安全を確保している*2。

(利用状況 [インバウンド利用])

公園利用者総数は近年大きく変化はないが、日本民家園などの利用状況を見ると、外国人観光客は増加傾向にある。外国人から人気の施設は、古い日本の庶民文化に触れあえる場所としての日本民家園や、岡本太郎美術館や藤子不二雄ミュージアムなどの美術館などがある。

誘客範囲は市内が多く、その他の来園者は東京都や神奈川県内の地域からの来園者が多い。幅広い層に利用されているが、里山の生活体験等のメニューが充実しているため、小学校等の学習の場としても利用されている*1。

公園と併せて利用されているのは、日本民家園、科学館、藤子・F・不二雄ミュージアムなどである。これらの施設は同一の管理会社が運営しており、施設相互の連携が行われている³⁾。観光客への配慮として、危険排除(倒木の処理等)が行われているほか、園内は非常に広いため、ホワイトボード等を用いた道案内や、どのような植物があるかかの案内が行われている*2。

外国人観光客に向けては、12か国語対応のパンフレットが配布されている。日本民家園では英語による案内が行われているほか、案内音声アプリを開発・無料配布(英語、中国語、韓国語)されている。*1。

(周辺との連携、イベントなど)

周辺との連携については、公園内のばら苑へのアクセスロードの整備など、生田緑地を活かした景観づくりの取組が見られる。また、多摩川崖線の上に位置しており、上位計画では崖線に沿って緑のつながりを維持する方針が立てられており、生田緑地はその中核とされている。

市民団体の活動が活発であることも特徴であり、緑地の管理や、多摩区民祭、生田緑地サマーミュージアム等、周辺の商店街や住民と連携したさまざまなイベントが行われている。ちなみに、本公園では古くから住民によるボランティアの活動が行われており、それが現在はマネジメント

*2:生田緑地ビジターセンターへの問い合わせ(2019.11)

会議へと組織化されている。その一環としてボランティアによる英語ガイドなどが実施されている*1。



※電子国土 Web(国土地理院)をベース図にして、最寄り駅からの位置と縮尺を表示した。

図 2-5 公園周辺図

〔参考文献・URL 等の情報根拠〕

- 1) 生田緑地について、生田緑地 HP <<http://www.ikutaryokuti.jp/ryokuchi.html>> 参照日 2019. 12. 24>
- 2) 生田緑地ビジョン、川崎市 HP、平成 23 (2011) 年 3 月
<<http://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/26-8-18-2-0-0-0-0-0-0.html>> 参照日 2019. 12. 24>
- 3) 川崎市立日本民家園 HP <http://www.nihonminkaen.jp/facility/old_folk_house/> 参照日 2019. 12. 24>

国営ひたち海浜公園

(所在地) 茨城県ひたちなか市

(面積) 計画面積 350 ha (開園面積約 200 ha)¹⁾

(公園種別) イ号国営公園

(年間公園利用者) 228 万人/年 (2017 年度) *

(公園へのアクセス)

マイカー利用が多いが、JR 勝田駅から路線バスを利用することもできる(図 2-6)。

(設置経緯)

第二次世界大戦前は水戸陸軍飛行学校、大日本帝国陸軍水戸飛行場が建設され、戦後には米軍による水戸射爆撃場となっていたが、昭和 48(1973) 年に米軍から返還された経緯を持つ。返還跡地についてはイ号国営公園として整備されることが決まり、自然環境保全や、首都圏の増大かつ多様化するレクリエーションへの対応を目的として整備されている。

四季折々のダイナミックな花畑の他にも、プレジャーガーデン(遊園地)があり、また、砂丘、芝生広場、樹林帯等の様々な環境が存在しており、環境に合わせ様々な活動を楽しむことができる。樹林や湧水を活かして、自然観察をメインとした活動が楽しめるほか、芝生広場周辺ではアスレチックや BBQ 等を楽しむことができる。砂丘では植物の保全が行われており、散策も可能である。入口付近には飲食点やサイクルセンター等の便益施設が設けられている¹⁾。



(公園の特徴・魅力)

本公園は開園面積約 200ha の広大な敷地を持ち、各所に大規模な花畑があり、春にはスイセン、チューリップ、初夏にはネモフィラ、バラ、夏にはジニア、秋にはコキアやコスモスなど、季節を通して草花を鑑賞することができる。花のない 12-2 月にかけては、公園内施設ガラスハウス内でアートフラワーの展示なども行われる。

樹林エリアでは、既存の自然を生かして、里山環境が整備されており、カワセミや水鳥が訪れるなどしているほか、準絶滅危惧種に指定されているオオウメガサソウが自生している。



* ひたち公園管理センターへの問い合わせ (2019. 11)

沢田遊水地ではオゼイトトンボやホトケドジョウなど多様な動植物が生息する²⁾。

砂丘観察園路は砂丘の地形や植生をそのまま残されており、海浜性植物を観察できる。公園ボランティア「海浜植物パートナー」によって海浜部の景観回復のためにスカシユリ等の増殖活動が行われている。その他、東日本で最も古い民家の一つである、旧土肥家住宅が移築復元されるなど、文化的な展示も行われている。

(デザイン的な特徴・配慮)

広大な敷地に四季折々の花がダイナミックに咲き誇る風景で有名である。四季を通じて色鮮やかな花々を雄大なスケールで見せる演出は、公園関係者の間でも注目を集め、見学に訪れる専門家も少なくない。茨城県での観光を考えると、偕楽園の梅の見ごろが終わった後も、四季を通じて花々を楽しむことができるようになっている。3月のスイセンから始まり菜の花やチューリップ、そして5月になると「みはらしの丘」一帯を覆うネモフィラは、毎年テレビなどでも紹介され、多くのファンを呼びこんでいる。夏にはバラやラベンダーが、秋になればこの公園で品種改良されたコキアの群れが鮮やかな紅葉で目を楽しませる。ひたち海浜公園がこうした花作りに注力してきたのは、茨城県を代表する公園にふさわしい個性と、地域に貢献できる集客力を目指すというコンセプトが背景にあった。そこで県や地元の声を踏まえて、春から秋まで途切れなく楽しめる花と緑の組み合わせを選び、育てることで、現在のような姿が形成されていった³⁾。

(利用状況 [インバウンド利用])

特に外国人に人気なのが、見晴らしの丘におけるネモフィラやコキアに代表される花の景色の美しさである。ネモフィラやコキア以外にもチューリップなどの花の美しさも人気が高い。レンタサイクルも人気がある*。

(周辺等との連携や観光対策)

近隣施設の「那珂湊お魚市場」、「アクアワールド茨城県大洗水族館」、「偕楽園」などと併せて公園を利用する者が多い。広域的には、当公園と「あしかがフラワーパーク」とをセットにした民間ツアーなどもある。このため、茨城県やひたちなか市の観光施策では、ひたち海浜公園を主軸に周遊を促す取り組みが進められている。

周辺施設との連携方法として、イベントや花装飾で連携しているほか、地域周遊を促す周辺エリア観光ガイドサイト「旅ドキ！ひたちトラベッペ」が運営されている。2018年12月に「ひたちなか市インバウンド推進協議会」が立ち上がり、今後、全市的な取り組みが期待されている。

外国人環境客への取り組みとして、公園のホームページ及び園内ガイドマップは、英語・中文簡体字・中文繁体字・韓国語・タイ語・ベトナム語の6ヶ国語を用意しており、園内の看板は、英語・中文簡体字・中文繁体字・韓国語の4ヶ国語で表示されている。その他、フリーWi-Fiスポットを2ヶ所設置、英語・中国語の話せるスタッフの配置（非常駐）や、音声翻訳機を設置するなどしている*。

(管理運営)

毎年夏にロックフェスティバルが開かれ、GWのネモフィラや秋のコキアと並んで、多くの入園者が訪れる。他にも、園内の自然についてのガイドツアーのほか、クラフト体験・スポーツイベント等、幅広いイベントが開催されている。公園の管理運営への協力するためのボランティアである「パークパートナー」が1999年度に立ち上げられた（現在13団体）*。



※電子国土 Web(国土地理院)をベース図にして、最寄り駅からの位置と縮尺を表示した。

図 2-6 公園位置図

[参考文献・URL 等の情報根拠]

- 1) 国営ひたち海浜公園整備・管理運営プログラム、国営常陸海浜公園事務所、平成 29 年 3 月
<http://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000669725.pdf 参照日 2019. 12. 24>
- 2) 国営ひたち海浜公園 HP、ひたち公園管理センター
<<https://hitachikaihin.jp/spot-guide.html> 参照日 2019. 12. 24>
- 3) 国土交通 No. 144
<<http://www.mlit.go.jp/kohoshi/book/144/book/pageindices/index13.html#page=13> 参照日 2019. 12. 24>

ときわ公園

(所在地) 山口県宇部市

(面積) 189.4 ha

(公園種別) 総合公園

(年間公園利用者) 70.3万人(2017年度)うち約1割が外国人利用者(約7万人、2018年)*

(公園へのアクセス)

JR常盤駅からはやや距離(およそ徒歩15分)があり、山口宇部空港から至近にある(図2-7)。

(設置経緯)

山口県の最大規模の常磐湖のほとりに設けられた公園であり、風光明媚な景勝地である。地元実業家の土地の寄付によって1925年に市の公園となった。

(公園施設)

園内にはこれまで様々な施設が整備されてきた。1960年には渡辺記念植物園が開園したが、1991年の台風で倒壊した。1995年には熱帯植物園として再建され、2007年には彫刻野外展示場と統合されて、緑と花と彫刻の博物館「ときわミュージアム」が開館した。また、1958年には常盤遊園地が、1964年には動物園が開園した。他にも、少年キャンプ場、石炭記念館、スポーツ広場、周遊園路などがある¹⁾。

(公園の特徴・魅力)

宇部市最大の湖のある風光明媚な場所であり、多様な施設が豊富にあることも魅力である。特に常設の彫刻野外展示場が存在するだけでなく、二年に一度野外彫刻の国際コンクール「UBEビエンナーレ」が開催されている。この知名度の高いイベントによって全国から5万人もの来場者を集め、国外からの観光客も増加している。

また、1950年代の郊外問題を契機とした花壇コンクールの100回目を記念して「花いっぱい運動記念ガーデン」が整備された。「市民みんなで作くり、みんなで育てるガーデン」をコンセプトにした癒しの空間が演出されている¹⁾。

(デザイン的な特徴・配慮)

園内には特徴あるコーナーがいくつか存在し、それらに合致したデザインが進められている。

(利用状況 [インバウンド利用])

宇部市への外国人観光客数の増加は、フェリーや航空便の増便が理由に挙げられるが、同時に彫刻や熱帯植物のあるときわ公園の人気が高いことも理由として挙げられる。

なお、UBEビエンナーレのイベントは、瀬戸内国際芸術祭と連携協定を結び、相互広報発信が行われている他、山口市の山口情報芸術センターとも連携して広報発信がなされている*。

*公園管理者(宇部市ときわ公園課)への問い合わせ(2019.11)

(管理運営上の取り組み)

インバウンドの取り組みとして、案内の多言語化、多言語音声ガイドシステムの導入、フリーWi-Fiの導入がなされている。山口県が海外の旅行ツアーの誘致に力を入れており、海外旅行会社のトップを対象にしたFAMトリップツアー（familiarization tour：観光地の誘致促進のため、ターゲット国の旅行事業者、ブロガー、メディアなどを現地視察に招くツアー）を開催しており、その一環としてときわ公園にも訪れる*。



※電子国土Web（国土地理院）をベース図にして、最寄り駅からの位置と縮尺を表示した。

図 2-7 公園周辺図

〔参考文献・URL 等の情報根拠〕

1) ときわ公園 HP, 宇部市ときわ公園課 <<https://www.tokiwapark.jp/>> 参照日 2019.12.24)

タイプVI 歴史的公園

兼六園

(所在地) 石川県金沢市

(面積) 11.4 ha

(公園種別) 歴史公園

(年間公園利用者) 234.5万人/年(内外国人38万人/年) (2017年度)*

(公園へのアクセス)

最寄駅は近くにはないが、金沢駅からバスで25分程度の場所に位置しており、「兼六園シャトル」バスが毎日運行されている。また、市内観光には金沢市内を巡る路線バスの便が良い。特に兼六園は市の中心部に位置するので、ここを起点に他の観光スポットを巡ることが容易である(図2-8)。



(設置経緯)

延宝4(1676)年から、歴代加賀藩主により築庭され、接待の場、宴を楽しむ場として活用されてきた。藩主の意向や火事によって形を変遷させつつも、1863年にはほぼ現在の庭園の姿になったと言われている。明治期には一般開放され、それに伴い多くの茶店が开店したほか、平成に入ってから明治期に取り壊された建造物の復元や、それに伴う庭園の整備等も行われた。現在、江戸時代の代表的な大名庭園として「特別名勝」の指定を受けているほか、日本三大庭園として評価されている。



(主な施設)

池、築山のほか茶亭、水亭などが配置されている。

(公園の特徴・魅力)

金沢の歴史を伝える代表的な庭園である。広大な土地に、池、築山、御亭を配置した廻遊式の庭園で、様々な年代の手法が取り入れられていることが特徴でもある。

季節を通して異なる魅力があり、春の桜、初夏のカキツバタ、



*公園管理者(石川県金沢城・兼六園管理事務所)への問い合わせ(2019.11)

秋の紅葉、冬の雪吊りなど、四季それぞれの美しさを楽しむことができる。

植栽樹種として、ツバキ、サザンカ、冬桜、ウメ、マンサク、ソメイヨシノ、ツツジ、カキツバタ、サツキ、ハギ、キキョウ、フジバカマ、キンモクセイなどが挙げられる。また、日本のサクラの名所百選にも選ばれており、開花時期には多くの市民や観光客で賑わう¹⁾。

(デザイン的な特徴・配慮)

「廻遊式」の要素を取り入れながら、様々な時代の庭園手法をも駆使して総合的につくられた庭園である。「築山・林泉・廻遊式庭園」ともよばれる。歴代加賀藩主によって築庭されてきたが、神仙思想を表現するという設計思想は一貫しており、大きな池を海に見立て、そのなかに不老不死の神仙人が住むと言われる島を配置することで、世界観を表現した。観光客がよく写真を撮影する場所として琴柱灯籠や、サイフォン式の噴水などが挙げられる。

現在は特別名勝であるため、昔からの風景を大切に維持・管理が行われており、看板等の設置は控え気味にするなどの工夫がされている。結果として江戸時代の風景が高いクオリティで保全されている*。

金沢市の景観条例によって眺望景観形成区域 兼六園眺望台区域に指定されており、周辺の建築物・広告物・設備に対して方針が定められている²⁾。

(利用状況 [インバウンド利用])

金沢市の中心部に位置し、四季折々の美しさを楽しめる庭園として、多くの県民や世界各国の観光客に親しまれている。来場者は兼六園を目的に来場する人が多く、合わせて来場する施設として、隣接している金沢城、県立美術館、博物館などがあげられる。周辺との観光連携として、一つのチケットで周辺他施設にも入ることが可能なチケットが販売されている。周辺に多数の観光スポットが存在し



金沢城公園五十間長屋

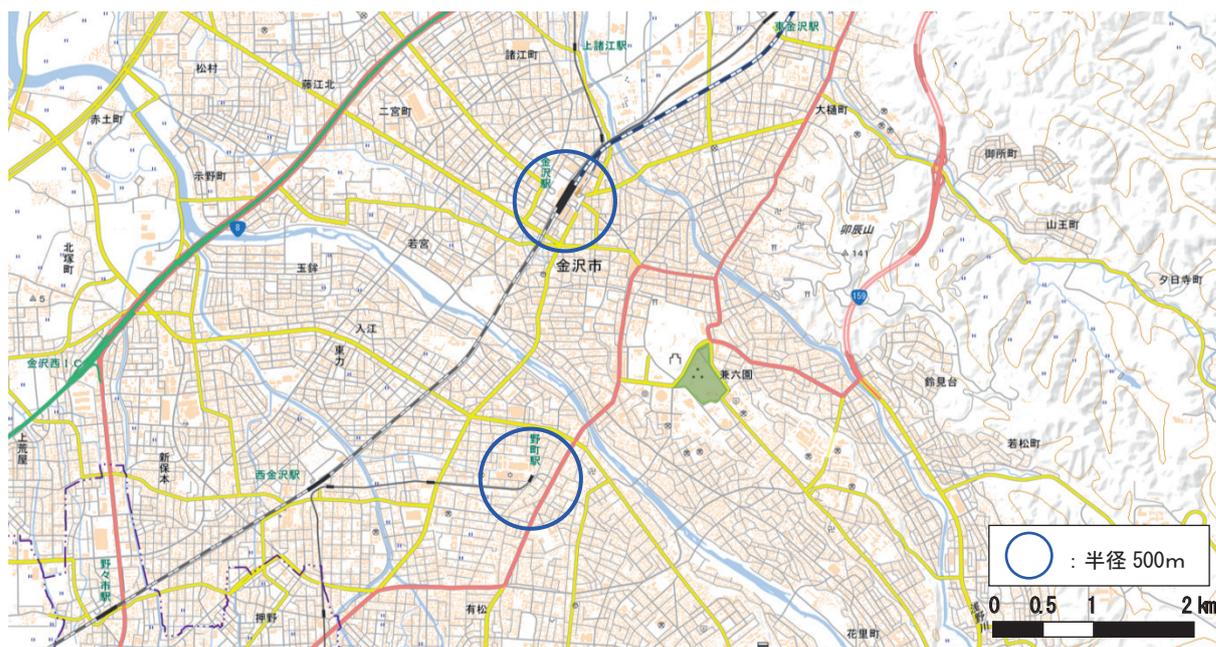
ており、茶屋街・兼六園・金沢 21 世紀美術館・長町武家屋敷跡・近江町市場など多様な観光地を巡ることが可能である。金沢市観光協会では、HP 上ではモデルコースが紹介されている³⁾。

隣接する金沢城公園内に鼠多門、鼠多門橋を復元整備中（2020 年度完成予定）であり、完成後は、金沢の武家屋敷群から尾山神社、金沢城公園、兼六園と繋がる加賀藩ゆかりの歴史的回遊ルートが創出されて新たな観光の魅力が付与されるものと期待されている。

外国人観光客への対応として、パンフレット・看板等を多言語化しているほか、キャッシュレス決済の導入や、フリーWi-Fi の整備も行われている。その他、国内向けの対応として、日本円に関してもキャッシュレス化が進められている*。

(管理運営)

一般的なイベントとして、季節ごとのライトアップ、日本庭園での食事会、夏のホタル観賞などがある*。もともと無料だったが、庭園の荒廃が懸念されて、市民の発意によって有料化された経緯があるため、有料制となっているが、早朝には無料入園サービスが実施されており、地域住人の利用も多い。現在、ライトアップされた庭園を眺めつつ飲食を楽しめるイベント等が開催され、かつて宴の場として利用された雰囲気を味わうことができる⁴⁾。



※電子国土Web（国土地理院）をベース図にして、最寄り駅からの位置と縮尺を表示した。

図 2-8 公園位置図

[参考文献・URL 等の情報根拠]

- 1) 兼六園 HP、石川県金沢城・兼六園管理事務所
<<http://www.pref.ishikawa.jp/siro-niwa/kenrokuen/about.html> 参照日 2019. 12. 24>
- 2) 金沢市公式 HP、金沢市役所
<<https://www4.city.kanazawa.lg.jp/29020/keikan/jourei/cyoubou/guid205.html> 参照日 2019. 12. 24>
- 3) 金沢市公式観光サイト、金沢市観光協会
<<https://www.kanazawa-kankoukyoukai.or.jp/modelCourse/index.html> 参照日 2019. 12. 24>
- 4) 兼六園めぐり、兼六園観光協会 <<https://kenrokuen.or.jp/history/> 参照日 2019. 12. 24>

奈良公園

(所在地) 奈良県奈良市

(面積) 511.33ha*

(内、平坦部 48.77ha ・ 山林部 462.56ha)

(公園種別) 広域公園*

(年間公園利用者) 約 1300 万人/年

(公園へのアクセス)

近鉄の最寄り駅から容易にアクセスできる。団体客はバスの利用が多い。東大寺、興福寺、若草山、平城宮跡を巡ることのできる「ぐるっとバス」が運行されている。料金は 100 円(図 2-9)。

(設置経緯)

西暦 710 年、平城京に都が置かれて以来、東大寺、興福寺や春日大社等の社寺仏閣が創建・移築され、信仰の場として発展した歴史を持つ。明治 13 (1880) 年には公園として開園され、現在は都市公園として整備・管理がなされている。名勝や風致地区等にも指定され、社寺と春日山の緑が一体的に保全されている¹⁾。

(主な施設)

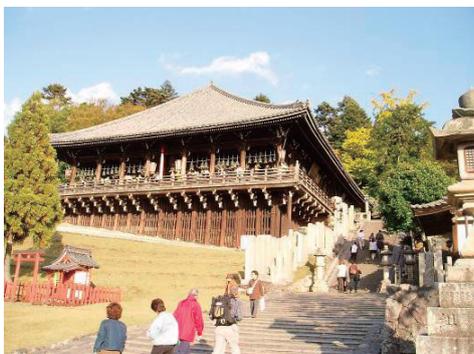
園内の広場や緑地、池を中心として、春日大社、興福寺、東大寺、国立博物館、正倉院等が隣接している。公園の範囲には春日山や若草山なども含み、社寺仏閣と雄大な緑が調和している。

(公園の特徴・魅力)

東大寺、興福寺、春日大社、国立博物館、正倉院等が隣接しており、奈良の歴史に触れることができる。また、園内の野生のシカへの餌やりが楽しめることも魅力の一つである。

(デザイン的な特徴・配慮)

社寺の歴史的風致景観を守ることを目的に整備されており、公園を含む一体は風致地区に指定されている*。



*公園管理者（奈良県奈良公園室、奈良公園事務所）への問い合わせ（2019.11）

(利用状況〔インバウンド利用〕)

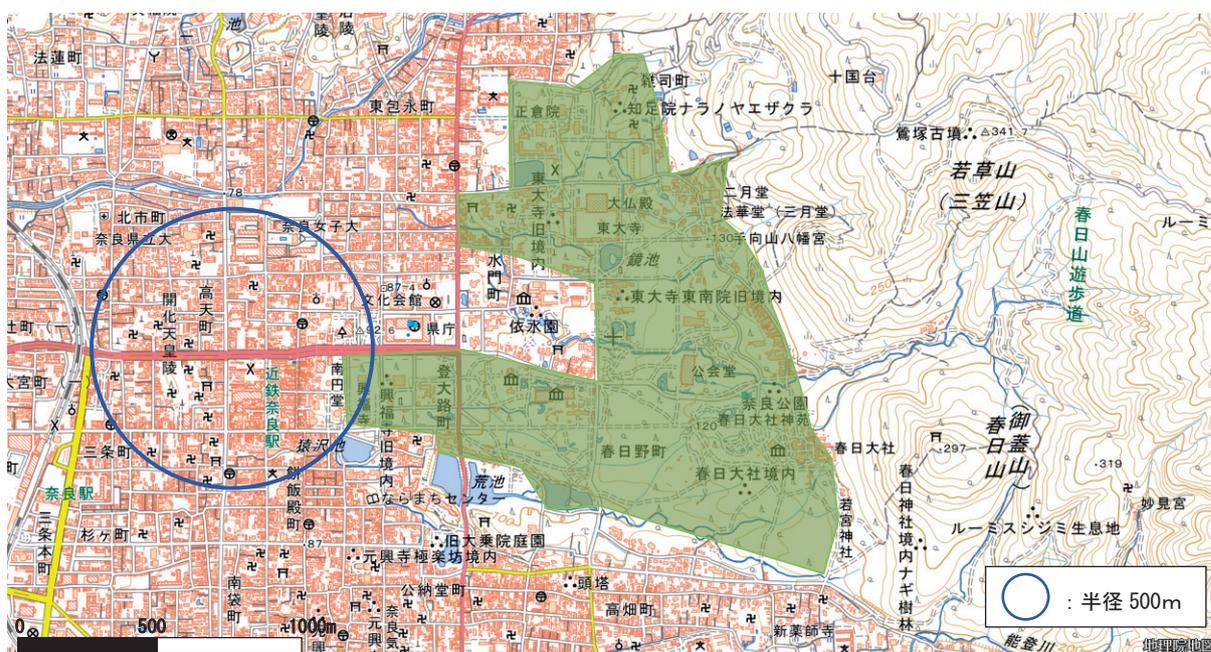
奈良県への観光客は約3,500万人/年で、奈良公園周辺（奈良市）へは県全体の約1/3の約1,300万人/年の観光客が訪れており、奈良公園は奈良県の観光の中心的な役割を担っている。

シカによるケガ人のうち8割近くが外国人である。応急の相談はシカサポーターズクラブが対応しているが言葉の壁がある。インバウンド対応としては、ポケトークの導入やHPや案内の多言語化、フリーWi-Fiの整備、イラスト入りの看板整備などがある*。

(イベント)

社寺において定期的に以下のイベントが開催されている他、冬期には「なら瑠璃絵」というイルミネーションが実施されている^{1,2)}。

東大寺修二会（お水取り）、なら燈花会、正倉院展、春日若宮おん祭



※電子国土Web（国土地理院）をベース図にして、最寄り駅からの位置と縮尺を表示した。

図 2-9 公園周辺図

〔参考文献・URL 等の情報根拠〕

- 1) 奈良公園 HP, 奈良県奈良公園室 <<http://nara-park.com/outline/> 参照日 2019. 12. 24>
- 2) 奈良公園の概要、奈良県 HP, 奈良県 <<http://www.pref.nara.jp/5751.htm> 参照日 2019. 12. 24>

新倉山浅間公園（あらくらやませんげんこうえん）

（所在地）山梨県富士吉田市

（面積）約 4.3ha

（公園種別）地区公園

（年間公園利用者）38 万人／年（2018 年度）うち外国人はおよそ 7～8 割*。

（公園へのアクセス）

最寄り駅から徒歩 15 分の距離である。中央自動車道富士吉田西桂スマート IC からは近いものの、公園への進入道路は傾斜がきつい(図 2-10)。

（主な施設）五重塔（忠霊塔）・展望デッキ・公園専用駐車場など

（設置経緯）

本公園のシンボルであり、富士吉田市を代表する五重塔は、第二次世界大戦の戦没者の忠霊塔として 1959 年に建設されたものであり、鉄筋コンクリート造である。およそ 60 年以上も前に設けられた忠霊塔は、本来の目的はあくまで戦没者の慰霊のためであり、観光は第一義的な目的ではなかったはずである。五重塔というモチーフを用いた動機に観光という目的もあった可能性も否定できないが、たとえ、そうだったとしてもそれは二次的な目的だったはずである。本公園が人気となったのは、SNS の発達が大きく影響している。東京に近い立地で、京都らしい建築物や桜が富士山と一緒に一枚の写真に収められるため、そのことに気づいた外国人が競って SNS に投稿したことで人気に火がつくことになった。公園管理者が十分には想定していなかった魅力を、公園利用者が気づいて発掘したという稀有な事例と言える^{1,2)}。

（公園の特徴・魅力）

富士吉田市の北部、新倉山の中腹に位置しており、雄大な「富士山」と五重塔「忠霊塔」が一目に見ることができる、日本らしい景観となっている。富士山への眺望を守るため、富士吉田市景観条例が定められている。園内には約 700 本もの桜が配植され、花見客でにぎわう他、ハイキングコースとしても利用されている。海外の SNS において、日本らしい風景として有名になったため、外国人観光客が非常に多く、フリーWi-Fi や多言語パンフレットの作成などの取り組みがなされている*。



サクラの季節には、さくらマルシェと題して、軽食や民芸雑貨を販売しているほか、地域の団体による音楽演奏やパフォーマンスも行われている。その他、忠霊塔から新倉山を約 15 分登るとアヤメの群生地があるため、同公園では 6 月ごろにあやめ祭りも開かれている。「京都（らしい風景）と富士山を同時に見ることができる場所」としてタイ人などの外国人観光客に人気であり、「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン（改訂第 4 版）」の表紙を飾ったこともあるほどである³⁾。

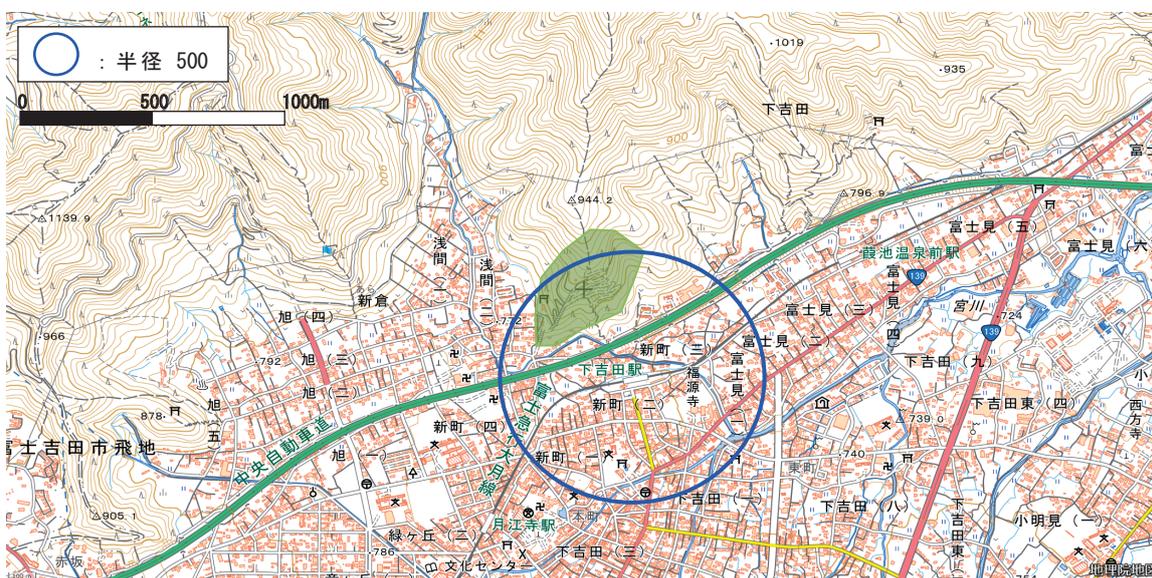
*公園管理者（富士吉田市役所富士山課）への問い合わせ（2019.11）

(デザイン的な特徴・配慮)

700本の桜が配植されており、富士山と忠霊塔との景観が大切にされている。富士吉田市景観条例や富士吉田市富士山世界遺産条例などによって良好な眺望が保たれている。

(利用状況〔インバウンド利用〕)

サクラ、富士山、五重塔という日本らしい要素を一枚の写真に収めることができるスポットとして、多くの外国人観光客が訪れる。富士吉田市における良好な景観が望める緑地として観光拠点として位置づけられており、市街地と拠点を結ぶ歩行系ネットワークの計画がある。また、富士五湖観光連盟にて案内チラシの作成が行われている*。



※電子国土Web（国土地理院）をベース図にして、最寄り駅からの位置と縮尺を表示した。

図 2-10 公園周辺図

[参考文献・URL 等の情報根拠]

- 1) 富士の国やまなし HP、公益社団法人やまなし観光推進機構
<https://www.yamanashi-kankou.jp/kankou/spot/pl_4919.html 参照日 2019. 12. 26>
- 2) 富士吉田市HP. 富士吉田市
<<https://www.city.fujiyoshida.yamanashi.jp/info/151> 参照日 2019. 12. 26>
- 3) ニッポン旅マガジン、一般社団法人プレスマンユニオン
<<https://tabi-mag.jp/yn0253/> アクセス日 2019. 12. 26>

首里城公園

(所在地) 沖縄県那覇市

(面積) 17.8ha

(公園種別) ロ号国営公園+県営公園 (歴史公園)

(年間公園利用) 786万人/年 (2018年度)¹⁾

(公園へのアクセス) 近隣に空港からつながるモノレールの終着駅がある。利用の多い手段は、レンタカーやマイカー、ツアーバスなどである(図2-11)。

(設置経緯)

太平洋戦争以前は、琉球王朝の居城がそびえた沖縄県のシンボリックな場であったが、沖縄戦で灰燼に帰し、その後に琉球政府によって琉球大学が建てられた。沖縄の本土復帰がなされてからしばらくして、琉球大学の移転に伴って首里城復元の機運が高まり、最終的に国営公園として首里城の復元がなされることになった。沖縄本土復帰20周年にあたる平成



4(1992)年に公園の一部が開園し、残りの国営公園の区域は2019年1月に完成した。しかしながら、同年10月に発生した火災により、正殿を含む主要な復元建物が焼失してしまった。

(主な施設)

18世紀の琉球王朝時代の首里城の様子を忠実に復元していた。復元建物としては、正殿をはじめとした歴史的建造物群(南殿、北殿、奉神門、番所、二階殿、書院・鎖の間など)があるが、その中心的施設が現在は焼失している。ただし、守礼門などの周辺施設は火災の影響は免れ、便益施設としての地下駐車場やレストランもある¹⁾。

(公園の特徴)

琉球王朝時代の宮殿を忠実に復元しており、琉球王朝の栄華を偲ぶことができる。これだけ大規模に歴史建造物を復元した例には、他には同じく国営公園である平城宮跡歴史公園を挙げることができる。ただし、平城宮跡歴史公園は、広大な敷地の殆どは復元されておらず、面的に復元した公園事例としては首里城を超えるものは未だに存在しない。

(デザイン的な特徴・配慮)

城郭の中は全域特別史跡であり、学術的な時代考証に基づいた復元がなされている。時代考証には発掘調査や古文書等をもとに、専門家による検討の上で、詳細な形態が決められている。

(観光上の位置づけ)

タイプⅦ テーマ特化型公園

広島平和記念公園

(所在地) 広島県広島市中区

(面積) 12.21 ha

(公園種別) 総合公園¹⁾

(年間公園利用者) 24時間自由に入出りできる公園であるため、来園者数は把握されていない。

(公園へのアクセス)

広島市のほぼ中心に位置し、市電の駅からも近い(図 2-12)。

(設置経緯)

原子爆弾投下時、広島市の中心的な繁華街であったが、原子爆弾により、一瞬のうちに破壊された。1946年に爆心地に近い中島町内 10.72ha が、「中島公園」として都市計画公園に決定された。その後、1949年には「広島平和記念都市建設法」が制定され、丹下健三設計による広島平和記念資料館や原爆死没者慰霊碑等が実現した。また、公園南側の平和大橋・西平和大橋は、アメリカ人彫刻家であるイサム・ノグチの設計による。1951年に現在の区域を平和記念施設とすることを決定し、1954年に広島平和記念公園として開園した¹⁾。

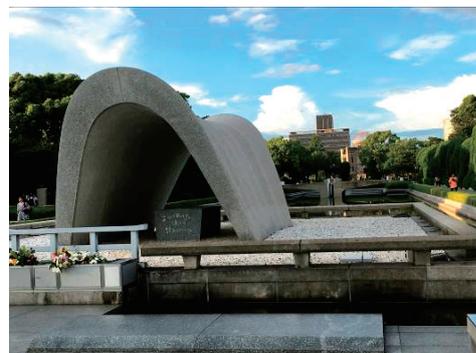
(主な施設)

原爆投下当時の広島の様子を展示した広島平和記念資料館や世界遺産に登録されている原爆ドームや原爆死没者慰霊碑、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館、広島国際会議場などがある。

(公園の特徴：デザイン的な特徴・配慮)

爆心地である旧太田川(本川)が元安川と分岐する三角州の最上流部に位置している。原爆死没者の慰霊と世界恒久平和を祈念して開設された。原爆被災地の悲惨さを記憶にとどめて恒久的な平和を祈念する場となるように施設計画がなされている。

人通りの多い平和大通りから原爆ドームに向かう景観軸を定め、その軸上に慰霊碑を配置し、後方に広島平和記念資料館が配置されている。資料館は平和大通りから原爆ドームへの視線を遮らないよう、ピロティによって空中に浮かせる形となっている。また、平和大通りの沿道・周辺



市街地地区・原爆ドーム背景地区など、平和記念公園からの見え方に合わせて地区別の景観形成方針が立てられている²⁾。

(利用状況〔インバウンド利用〕等)

外国人対応として、説明板の多言語化を実施している。広島市屋外広告物条例第12条により、原爆ドーム及び平和記念公園周辺地区などを景観形成広告整備地区に指定し、地区固有の基準を設定して、良好な景観の形成に取り組んでいる*。



※電子国土Web（国土地理院）をベース図にして、最寄り駅からの位置と縮尺を表示した。

図 2-12 公園周辺図

〔参考文献・URL 等の情報根拠〕

- 1) 広島市 HP、広島市役所
〈<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1483699383190/index.html> 参照日 2019. 12. 26〉
- 2) 丹下健三による「広島平和公園計画」の構想過程、千代章一郎、広島平和科学 34 (2012) PP. 61-91
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/heiwa/JNL/34/34sendai.pdf> 参照日 2019. 12. 26〉

*公園管理者（広島市緑政課、観光政策部）への問い合わせ（2019. 11）

海洋博公園（国営沖縄記念公園 海洋博覧会地区）

（所在地） 沖縄県国頭郡本部町

（面積） 都市計画決定面積／約 77.2ha（開園面積約 71.8ha）¹⁾

（公園種別） ロ号国営公園

（年間公園利用者）

約 500 万人／年（2017 年度）、うち外国人観光客は 159 万人／年で、アジア圏（台湾、韓国、中国）が多い*。

（公園へのアクセス）

レンタカーやマイカー、観光バスでの移動が多い。公共交通機関としての路線バスの利用も可能だが、やや不便である(図 2-13)。

（主な施設）

沖縄美ら海水族館、イルカショープール、マナティ一館、ウミガメ館、海洋文化館、エメラルドビーチ（人工ビーチ）、熱帯ドリームセンター、沖縄郷土村などがある。



（設置経緯）

1975 年に沖縄で開催された沖縄国際海洋博覧会を記念して、その跡地が国営公園として整備された。

（公園の特徴・魅力）

国際海洋博覧会の跡地を国営公園として整備している。「沖縄の海と自然と文化」がテーマの公園であり、自然・歴史・文化について園内で一通り触れることが可能である。公園内には、沖縄随一の人気スポットである沖縄美ら海水族館やエメラルドビーチといった目の前の海を活用した施設のほか、国内随一のラン温室を有する熱帯ドリームセンター、沖縄の文化が堪能できる沖縄郷土村や沖縄海洋文化館までが配されている。



園内ではゾーンごとに各種イベントが開催されており、イベントによっては毎日開催されているものもある。海洋博地区で最も人気のある美ら海水族館では、夏季には夜 9:30 までのナイトツアーが開催される

*一般財団法人沖縄美ら島財団への問い合わせに基づく情報（2019.11）

など、観光シーズンに合わせたイベントが実施されている。

外国人が求めるものは生き物と自然であり、美ら海水族館、イルカショー、エメラルドビーチに人が集まる*。

(デザイン的な特徴・配慮)

歴史・文化のエリア、海のエリア、花・緑のエリアの3つのエリアから構成される。海のエリアはエメラルドビーチに面しており、海と一体的な整備がされているほか、美ら海水族館にはジンベエザメ、マンタなど大型のサメ・エイ類を鑑賞できる水槽が設置されており、特に高い人気を誇っている。花・緑のエリアにある熱帯ドリームセンターにはランなどの熱帯の植物で彩られている。歴史のエリアでは昔の沖縄の農村風景を再現した沖縄郷土村や、海洋文化を展示した海洋文化館が設けられており、地域の芸能がイベントとして開催されることもある^{1,2)}。



(利用状況 [インバウンド利用])

沖縄本島北部の観光の拠点として中心的役割を果たしており、地域の観光・産業上重要な存在となっている。那覇空港から車で2時間程度（高速利用の場合）であり、やや移動が不便な印象があるが、直行バスの運行が開始され、アクセス性が向上している*。

(管理運営)

レンタカー会社と連携して、水族館と首里城のセット券が販売されている。インバウンド対策としてHP、SNS (Twitter、Line、Facebook、Instagram、You tube) による情報発信。プラネタリウムの映像番組について、イヤホンでの多言語化対応がなされている。特に、利用者の生命に関わる救急対応など専門的な翻訳を必要とする案件には、「見える通訳」（iPad を用いた三者間通訳：外国人観光客、職員、iPad 経由での通訳の三者）を活用し、迅速に対応できるようにしている*。



※電子国土Web（国土地理院）をベース図にして、公園の位置と縮尺を表示した。

図 2-13 公園位置図

〔参考文献・URL 等の情報根拠〕

- 1) 国営沖縄記念公園海洋博覧会地区 HP, 国営沖縄記念公園事務所
 <<http://www.dc.ogb.go.jp/kouen/ocean/index.html> 参照日 2019. 12. 26>
- 2) 海洋博公園HP、海洋博公園管理センター <<http://oki-park.jp/sp/kaiyohaku/> 参照日 2019. 12. 26>

あしかがフラワーパーク

(所在地) 栃木県足利市

(面積) 9.4ha

(公園種別) 民間施設

(年間公園利用者) 150～160万人／年、うち外国人は25～30万人／年*

(公園へのアクセス)

2018年4月に新駅「足利フラワーパーク駅」が整備され、アクセス性が改善された。6000台の無料駐車場もあり、マイカーでの利用者は多い¹⁾(図2-14)。

(設置経緯)

1968年に足利市堀込町(現:朝倉町)に「早川農園」として開園したのが始まりだったが、都市開発のために1997年に現在の足利市迫間町に移設し、「あしかがフラワーパーク」としてオープンした。園内は元湿地帯のため、250トンを超える量の炭を敷き詰めるなどして土壌改良が行われた。移設に伴って、園のシンボルとして親しまれてきた大藤も移植することになり、当時は話題となった*。



(主な施設)

巨大でかつ趣向を凝らした藤棚が園内各所に配植されるとともに、多くの花々が植栽・展示されている。また、園内には各種の便益施設(飲食施設、土産売場、花売場)が配されている。



(公園の特徴・魅力)

天然記念物に指定された大藤の名木をはじめとして、四季折々の花々が鑑賞できる。他にも、花のない冬季はイルミネーションの展示が行われている。



(デザイン的な特徴・配慮)

特にフジが最大の売りであるが、他にも花の種類は多く、開花する花に合わせて1年に8つのテーマを設定し、季節ごとや年度ごとに異なる景観を創出することでリピーターを生んでいる。花の停滞期である冬季には、イルミネーションの展示が行われている。また、見える角度や風景が映える演出づくりといったビューポイントの設定にも配慮されている。特に、毎年同じものにならないよう、また、シーズン毎にも季節の変化や花ごとの変

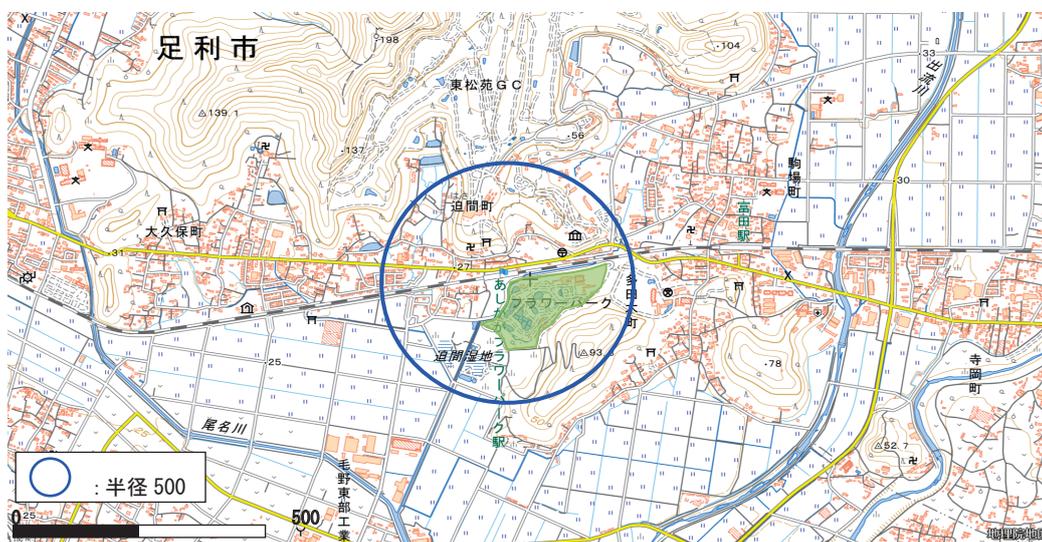
*¹⁾ 栃足利フラワーリゾートへの問い合わせ(2019.11)

化がつけられるように配慮され、それがリピーターの増加につながっている*。

(利用状況〔インバウンド利用〕等)

フジの花の時期に開催される「ふじのはな物語～大藤まつり～」と、10月下旬から始まるイルミネーション「光の花の庭」がイベントの柱になっている。このイルミネーションは、全国イルミネーションランキングで1位に輝いた¹⁾。

園内の写真が足利市内や栃木県の周遊ツアーでのトップイメージとして使用されており、県内の観光の目玉の1つとなっている。また、外国人はSNSの口コミを見て来るため、ビジュアルにこだわった戦略がとられている*。



※電子国土Web（国土地理院）をベース図にして、最寄り駅からの位置と縮尺を表示した。

図 2-14 公園周辺図

〔参考文献・URL 等の情報根拠〕

- 1) あしかがフラワーパーク HP <<https://www.ashikaga.co.jp/>> 参照日 2019.12.26

国内事例の魅力向上要素の抽出

前項までに 14 か所の国内事例について、先に設定した魅力向上要件の留意点を導くために調査を実施した。これらの国内事例は、海外事例と比較するために、海外事例で分析した表 1-4 から表 1-7 と同様のフォーマットに合わせて、次の表 2-2 から表 2-5 までに要素を抽出・整理した。また、それぞれの公園の総括的な魅力については表 2-1 に取りまとめたところである。

これらの整理からは、公園利用者案内の面において、音声翻訳機の導入やフリーWi-Fi 設置等の取り組みなどが見られた。特に、我が国ではインバウンド観光客へのサービスにおいて言葉の壁があるので、海外事例には見られないきめ細かい取り組みが必要なものと推察できる。多言語対応の最先端技術を用いたサービスなどについては、今後も ICT 技術を用いたより高度なサービスが展開される可能性もあることから、要件 6 ソフトサービスの利用者案内とは別に、ICT 関連サービスとして、次章にて要件の留意事項にまとめることとする。

また、海外公園事例からは、公園施設のデザイン手法として「自然特性保全活用デザイン」、「都市の自然環境保全デザイン」、「都市のシンボル形成デザイン」、「場の記憶保全デザイン」、「歴史的環境保全デザイン」の 5 つの手法が抽出されたが、国内事例からは、これらの手法に加えて、「地域自然環境活用デザイン」、「都市の安全性確保デザイン」、「鎮魂空間形成デザイン」、「花活用デザイン」の 4 つの手法が抽出された。これらの合計 9 つのデザイン手法については、次章において要件 3 の説明に用いるものとする。

なお、要件 7 の「公園利用によって醸成された魅力」は、シンガポール植物園の事例に関するものであった。本植物園は、その長い歴史の中でゴムやランといった輸出産業に結び付く研究や、都市緑化技術の研究などにおいて国家に貢献してきた施設であり、かつ、市民は学校の行事として、また友人や家族と訪れ、また、大人になってからも友人や子供と一緒に訪れるといった、市民の多くが人生の様々なライフステージで関わる場所でもある。このため、市民が愛着と誇りを抱いている施設であり、それは建国よりも長い歴史を通じて醸成されてきた魅力であり、よって、「公園の利用によって醸成された魅力」と定義づけたところである。本要件に該当する国内事例としては、新倉山浅間公園が挙げられた。現在、本公園の中で人気のある施設は五重塔の形状をした忠霊塔であるが、これはおよそ 60 年も前の 1959 年に戦没者慰霊のために設けられた施設である。ところが、富士山を望むことのできる高台から、この忠霊塔（五重塔）とサクラと富士山が一枚の写真におさめることができることから、インバウンド客が SNS に投稿し始めて人気が出てきた事例である。その意味では、公園利用者の公園の使われ方によって魅力が培われたものであり、まさに要件 7 に該当するものと考えられる。このため、要件 7 の公園利用によって醸成された魅力の説明事例として、次章で新倉山浅間公園を取り上げるものとする。

表 2-1 公園別の特色や基本的魅力等

タイプ	公園名	公園の特徴（テーマ・理念）	公園の魅力
I	国営海の中道海浜公園	九州圏域からのレクリエーション利用に対応するための、白砂青松の広大な砂州という立地条件を活かした国営の海浜公園	福岡市内に残る広大な自然である通称海の中道と呼ばれる砂州の大半を公園にしている。玄界灘と博多湾の海に囲まれ、海に関する施設として水族館、レジャープール、マリーナがあるほか、遊園地やデイキャンプ場、小動物園、大芝生広場をはじめとした多様な施設があり、加えて宿泊施設（ホテル、青少年海の家）があるなど、様々な客層が自然の中で丸一日利用できる。
II	新宿御苑	風景式庭園、整形式庭園、日本庭園という異なるデザイン形態を併せ持つなどの、国民公園となった歴史を有する都会の貴重なオープンスペース	都市の過密化が進んだ現在、貴重な開放的なオープンスペースであり、園外の高層ビルと緑地の対比も魅力の1つとなっている。公園は大名屋敷―農業試験場―皇室庭園―国民公園と利用形態が変化しており、それぞれの時代の痕跡が随所に引き継がれている。現在の姿の原型は皇室の庭園として整備された際の形であり、風景式庭園、整形式庭園、日本庭園という異なるデザインが巧みに組み合わせられた庭園を鑑賞することができる。
III	警固公園	福岡市の中心市街地における「まちを回遊する拠点」	駅や商業施設、行政機関が集中した都市の中心の貴重なオープンスペースであり、主に買い物時の休憩や待ち合わせなどに利用されている。改修によって見通しの良い安全で安心できる空間が生まれた。
IV	オアシス 21（久屋大通公園）	名古屋の栄のシンボルとして都市の骨格をなす公園内の都市の中心拠点	名古屋のオフィス街でかつショッピング街である栄の中心軸をなす久屋大通公園の一角として、2002年に整備されたオアシス 21は、久屋大通りの公園の中でもさらにランドマーク的な、地下街やバスターミナルと一体になった施設であり、町のシンボリック施設となっている。
V	生田緑地	クヌギ・コナラの雑木林、及び谷戸の里山的な環境や文化の保全	雑木林や湿地、湧水等の日本のかつての環境が残されており、ホトケドジョウやゲンジボタル等も生息している。日本各地から古民家を移築・展示するなど、昔の生活の一部を体験することもできる。美術館や伝統工芸、バラ園等の施設も充実しており多面的な楽しみ方ができる。
	国営ひたち海浜公園	海に面した広大な敷地に四季折々の花がダイナミックに咲き誇る国営公園	見晴らしの丘に大規模な花畑があるほか、園内随所で四季折々の草花が鑑賞できる。遊園地やアスレチック広場、サイクリング、BBQ広場などの施設が充実し、自然鑑賞を楽しむこともできる。
	ときわ公園	風光明媚な常盤湖畔を囲む、多様な施設を配した市民の憩いの場	常盤湖のほとりに広がる公園。世界で最も歴史のある野外彫刻の国際コンクールとされる「UBE ビエンナーレ（現代日本彫刻展）」を2年に一度開催していることで有名だが、遊園地、柵を設けない動物園、キャンプ場、展望台等をはじめとした多様な施設が充実している。
VI	兼六園	廻遊式の要素を取り入れながら、様々な時代の庭園手法が取り入れられた日本三大庭園の一つ	歴代の加賀藩主が築庭を重ねてきた日本3大庭園の一つであり、往時の姿を今に残す。季節を通して異なる魅力があり、春の桜、初夏のカキツバタ、秋の紅葉、冬の雪吊りなど、四季それぞれの美しさを楽しむことができる。
	奈良公園	奈良時代の文化遺産と一体になった歴史的風致の保全	東大寺、興福寺、春日大社、保存のための文化施設である国立博物館、正倉院等が隣接しており、奈良の歴史に触れることができる。寺社仏閣に公園が隣接することで、寺社周辺の景観が維持されている。また、園内の野生のシカへの餌やりが楽しめることも魅力の一つ。
	新倉山浅間公園	雄大な「富士山」と一体になった日本らしい景観の現出	雄大な「富士山」と五重塔「忠霊塔」とサクラを一目に見ることができ、日本らしい景観が人気となっている。京都に行かなくとも日本を代表する被写体が一枚の写真におさまることから、海外旅行者がSNSでその魅力を発信したことで魅力が認知れるようになった稀有な事例である。園内には約700本もの桜が配植され、花見客でもにぎわい、ハイキングコースとしても利用されている。園内の忠霊塔は富士吉田市民のシンボリックな存在となっている。
	首里城公園	琉球王朝の栄華を偲ぶ琉球国王の居城の復元	沖縄のシンボルであり、琉球王朝の栄華の証であった首里城が太平洋戦争で焼失したが、首里城の復元なくしては沖縄の戦後は終わらないという沖縄県民の悲願を受けて、国営公園として復元された。学識者による時代考証に基づいた復元がなされたが、2019年に再び焼失した。
VII	広島平和記念公園	人類初の原爆被災地の悲惨さの記憶の継承と恒久的な平和への祈り	公園内には、原爆資料館や原爆ドームがあり、原爆の悲惨さについて学ぶことができるほか、犠牲者への祈りを捧げられるような静謐な空間となっている。また、平和について発信する場としての役割も担っている。
	海洋博公園	沖縄の海と自然と文化をテーマにした国際海洋博覧会の跡地を公園化した国営公園	沖縄の海をそのまま切り取ったような展示がなされている美ら海水族館や、エメラルドビートといった目の前の海を活用した施設の他、国内随一のラン温室を有する熱帯ドリームセンターや、沖縄の文化が堪能できる沖縄郷土村や沖縄海洋文化館までが配されている。
	あしかがフラワーパーク	非日常的な花々の鑑賞	県の天然記念物である大藤の名木をはじめとして、四季折々の花々が鑑賞できる。他にも、花のない冬季はイルミネーションを行っており、全国の夜景鑑賞士が選ぶ全国イルミネーションランキングで1位に輝いた。

表 2-2 公園設計・デザインにかかる留意事項

タイプ	公園名	公園のデザインコンセプト	デザインに係る内在意味・意義の理解	独自デザイン及びその効果	高質なデザイン実現手法	公園周辺への景観影響	インスタ映えするスポットの存在
I	国営海の中道海浜公園	陸繋島砂州という地形や自然に馴染み、かつ国営公園としてのグレードを保ったデザインがなされている。	公園全体を通じて、広大な広さと自然を活かしたデザインとなっている。	砂州の砂地を掘れば地下水面がそのまま池になるなどの自然的特性を活かしたデザインとなっている。【自然特性保全活用デザイン】	園内の水族館施設の建築物は著名な建築家（磯崎新）の設計により、高いデザイン性を目指している。	西戸崎渡船場から公園までのアプローチの歩道の舗装への配慮がなされている。	花の時期や噴水、芝生広場、海浜など適した撮影スポットは多い。
II	新宿御苑	・風景式庭園、整形式庭園、日本庭園という異なるデザイン形態を園内に配置することで、風景の移り変わりを楽しめるデザインとなっている。 ・広大な敷地にビスタラインを通すことで、開放感のあるデザインとなっている。	欧米の建築や洋風庭園の様式が風靡されるという社会情勢を踏まえて、明治政府が威信をかけて整備した庭園であり、その形態が残されている。	都心において貴重な緑のオープンスペースとなっていること、及び異なる3種の庭園形式を楽しめることや、多数の花木が植えられていることが人気につながっている。【花活用デザイン】	明治時代、皇室の庭園として国の威信をかけて設計された。今は国民公園として国が管理を行っている。	渋谷区と新宿区において景観形成地区特定地と新宿御苑みどり眺望保全地区に設定されており、庭園からの眺望景観に配慮されている。	都会の広大な園地そのものが良好な撮影スポットであるが、サクラやキクの時期は見栄えがする。
III	警固公園	デザインコンセプトを「防犯と景観の両立」として再整備した。	治安を改善し、中心市街地にふさわしい利用空間を実現する。	見通しを良くすること等によって治安および景観の改善が図られた。それによって、周辺の商業施設の活性化が図られた。【都市の安全性確保デザイン】	様々な関係者の意見を集約する場を設けるとともに、都市計画の専門家の意見も採用して、安全・安心な空間を実現した。【関係者調整方式】	隣接する民間施設が、公園に面する形で、サービスを提供するようになった。	中心市街地の広場的空間自体が被写体となりうる。
IV	オアシス21(久屋大通公園)	名古屋の中心地である栄のシンボルである久屋大通公園の中で、さらに拠点性を有する高質な空間を形成させる。	久屋大通り公園の拠点性を確保するため、バスターミナルや地下街と一体になったシンボリックな空間が整備された。	宇宙船を彷彿させる都市のランドマークとなる施設によって、都市の拠点性が確保されている。【都市のシンボル形成デザイン】	受注したゼネコンの手によって、高質でかつ斬新なデザインが取り入れられている。【競争性のある選定方式】	周辺の街並みに合致するとともに、オアシス21が目立ったデザインを採用している。	オアシス21自体が高いデザイン性を有しているので、それ自体がインスタ映えする施設である。
V	生田緑地	里山の環境・文化の保全のため整備された公園緑地のため、森や自然をそのまま残すことが優先されている	都市部において保全されている貴重な緑地であり、過去の生活を伝える場として活用されている。	ゲンジボタルやホトケドジョウなどが息する貴重な環境が保全されている。【都市の自然環境保全デザイン】	緑地なので、森や自然を残すことを大切にしている。	公園内のバラ苑へのアクセスロードの整備など、生田緑地を活かした景観づくりの取組が見られる	バラ苑は良い被写体になる。
	国営ひたち海浜公園	春から秋まで雄大な花畑が見られるような花の組み合わせや維持管理方法が検討されている。	偕楽園の梅の見ごろが終わった後も、季節を通じて集客が可能な地域の観光名所を作ることを目的として、花畑が計画された。【花活用デザイン】	見晴らしの丘はもともと花畑にする計画ではなかったが、試行錯誤の結果、広大な丘を同一種の花で一面覆うというデザインが採用され、一躍有名になった。	建設発生土を利用したネモフィラの丘を、繰り返し土壌改良を行い、排水設備の整備や維持管理によって、今の状態となった。	周辺に店舗が多く張り付いてきた。新駅の開設計画もある。	コキア・コスモス・ネモフィラは恰好の被写体であり、今や世界的に有名である。
	ときわ公園	宇部市最大の湖で風光明媚な場所、市民の憩う場として多様な施設が整備されてきた。	UBE ビエンナーレの開催によって、国際的に知名度があがり、その効果を魅力アップにつなげている。	UBE ビエンナーレの受賞作品（彫刻）を展示するなど、イベントを整備に還元させている。	彫刻家の受賞作品によって、公園の芸術性がより高まる。	宇部市最大の風光明媚な常盤湖の景観保全に寄与している。	彫刻、動物、花など絵になる場所は多い。
VI	兼六園	都市公園であるが、特別名勝にもなっている名園であるため、昔からの景観を大切にしたい維持管理が行われている。	江戸時代から続く我が国屈指に日本庭園であり、その庭の形式を適切に保全している。	加賀藩の栄華を伝える庭園となっており、高いクオリティで保全されている。【歴史的環境保全デザイン】	石川県を代表する施設として、石川県の公共事業として適切に維持管理が図られている。	金沢市の景観条例によって眺望景観保全区域に指定されており、建築物・広告物・設備に対しての方針が定められている。	松の雪吊りや琴柱灯籠が撮影対象として特に有名である。
	奈良公園	奈良時代の社寺仏閣と調和した景観と雰囲気大切にしている。	奈良時代の歴史ある社寺仏閣を中心とした景観と自然を守ることを目的に公園の整備・維持管理が図られている。	新しい施設は極力設けず、社寺仏閣と馴染む広場や植栽が主となったデザインがなされている。【歴史的環境保全デザイン】	近年、問題になっている病害虫の発生の対策を行っているほか、成長しすぎた樹木の維持管理を行うなど、景観の維持に努めている。	我が国有数の文化財が存在することで、公園に至る奈良の町自体が独特の落ち着きを見せている。	社寺仏閣やシカが被写体
VI	新倉山浅間公園	700本の桜が配植されており、富士山と忠霊塔と一体となった景観を大切にしている。	第二次世界大戦の戦没者慰霊塔であり、観光地として有名になったのはSNSによるところが大きい	慰霊塔を五重の塔にしたことや、山の中腹に建造したことによって富士山・忠霊塔・桜という日本らしい要素が詰まった景観が生まれた。	慰霊塔を五重の塔のデザインにした意図ははっきりしないが、700本の桜が配植されることによって日本らしい景観が生まれた。	富士吉田市景観条例によって眺望が守られている	富士山と忠霊塔を一望できる空間が、外国人旅行者に人気

タイプ	公園名	公園のデザインコンセプト	デザインに係る内在意味・意義の理解	独自デザイン及びその効果	高質なデザイン実現手法	公園周辺への景観影響	インスタ映えするスポットの存在
	首里城公園	18世紀初頭の首里城の様子を学術的な時代考証によって解明し、正殿については忠実な復元がなされた。	沖縄県民の誇りともいえるべき存在だったため、確かな資料に基づき正確な復元が行われた。	忠実な復元を追求することによって、その価値を高めることが求められた。 【歴史的環境保全デザイン】	国営公園事業として、専門家からなる時代考証の委員会の運営に基づいて時代考証がなされた。	景観法に基づく那覇市景観計画が定められ、その中で首里金城地区景観形成地区が位置付けられている。	正殿をはじめ、復元された建築物や建造物はどれも被写体になりえた。
	広島平和記念公園	公園内には、原爆資料館や原爆ドームがあり、原爆の悲惨さを実感できるが、同時に犠牲者への祈りを捧げられるような静謐な空間となっている。	原爆死没者の慰霊・原爆被災地の被害の記録、次世代への継承と、恒久的な平和を祈念する場	人通りの多い平和通りから原爆ドームに向かう景観軸を定め、その軸上に慰霊碑配置し、後方に広島平和記念資料館が配置されている。資料館は原爆ドームへの視線を遮らないよう、ピロティ形式となっている。【鎮魂空間形成デザイン】	原爆の爆心地の記憶を後世にとどめるため、公共施設である公園として保全整備し、この悲劇を見つめることのできる静謐な空間を造った。	平和大通り沿道沿い・周辺市街地地区・原爆ドーム背景地区など、平和記念公園からの見え方に合わせて地区別の景観形成方針が立てられている。	原爆ドームは象徴的な被写体である。
VII	海洋博公園	沖縄海洋博覧会の跡地を国営公園として整備しているものであり、亜熱帯の自然と沖縄の海、沖縄の文化が体感できる場となっている。	全体として亜熱帯の自然地が表現されているが、自然や歴史・文化を伝える場として、ゾーンごとにデザインされている。	自然は沖縄の自然を表現したものとなり、特に水族館で展示している魚類は、沖縄の海で生息しているものを中心に集められている。 【地域自然環境活用デザイン】	植物や魚類、沖縄文化などのそれぞれの専門家が計画や維持管理にかかわり、学術的な裏付けを持ったデザインがなされている。	管理された公園の緑や各種公園施設は周辺地域に対しても良好な景観資源となっており、本部町をイメージづける施設（景観）の一つといえる。	公園内はどこでも格好の被写体になるが、特に美ら海水族館の人气が高い。
	あしかがフラワーパーク	花、特にフジが最大の売りである。開花に合わせ、1年に8つのテーマを設定し、季節ごと、年度ごとに異なる景観を創出している。花の停滞期である冬季には、イルミネーションの展示を行っている。イルミネーションは「光の花」という明確なテーマに基づいている。	フジの生育に適した環境が整備されている。冬季にはフジを模したイルミネーションが展示されるなど、藤を前面に押し出した計画となっている。	花の停滞期である冬季には、イルミネーションを取り入れることで、季節を通した集客が可能となっている。年度ごとに異なるデザインとすることで、リピーターを増やしている。	元湿地帯のため、園内には250トンを超える量の炭を敷き詰め、土壌の浄化、活力を高めるなどして花が咲く環境を整えている。ビューポイントの設定、見える角度、風景が映える演出づくりに力を入れている。毎年同じものにならないように、シーズン毎でも季節の変化・花ごとの変化をつけるようにしている。【花活用デザイン】	集客性が高い本テーマパークの影響で、新たに新駅が設けられた。	大藤をはじめとした花々は被写体として優れている。もともと大藤の写真がひろまったのが人気につながっている。

表 2-3 施設内容の留意事項

タイプ	公園名	自然	花	文化性	独自性	エンターテインメント性
I	国営海の中道海浜公園	海と松林という陸繋島砂州特有の景観を活かしつつ、野鳥の森や環境共生の森等の人工的な森の整備もなされている。	バラ、ネモフィラ、コキア等の四季折々の花々が園内を彩っている。	野外劇場も整備され、コンサートなどの持ち込みイベントが開催されるとともに、花やスポーツに係るイベントが実施される。	地下水がたまりやすいという地形上の特徴を活用して、園内の池の殆どが素掘りの池である。	子供が喜ぶ小動物園（動物の森）や、遊園地施設（ワンダーランド）もあり、一日中楽しめる。
II	新宿御苑	園内には約1万本の木々が生育しており、都心における貴重な緑地となっている。また、園内の温室では絶滅危惧種の保護等も行っている。	約65種1000本の桜が配植されており、ほぼ1年を通して花見を楽しむことができるほか、四季を通して様々な花が鑑賞できる。また、平成24年には温室がリニューアルオープンし、日本国内外の様々な環境テーマに沿った植物が鑑賞できる。	皇室の施設として整備された経緯から、皇室ゆかりのイベントが開催される。また、一部焼失を免れた建造物は重要文化財に指定されている。	風景式庭園、整形式庭園、日本庭園という3種のデザインが内在した庭園となっている。1年を通してサクラの花が鑑賞できるのは大きな魅力である。	菊花壇展をはじめとする歴史的背景を持つイベントから環境保全啓発のイベントまで、多様なイベントが開催されている。
III	警固公園	芝生等の植栽がなされている。	毎年春に「一人一花スプリングフェス」が開催され、花壇コンテストが開催されるなどしている。	冬にイルミネーションが展示され、ハロウィン時には大勢の若者で賑わう。	エリアマネジメント団体等の多くの関係者が参加した公園検討会に基づいて再整備がなされた。	各種のイベント開催の他、周辺商業施設が公園側を正面ととらえて営業している。隣接神社の結婚式の前撮りもある。
IV	オアシス21（久屋大通公園）	芝生等の植栽がなされている。	サクラが植栽されている。	広場では各種イベントが開催される場となり、愛知芸術文化センターと直結している。	施設の「水の宇宙船」は水盤になっており、下の広場に水の波紋が映る。	毎週末、多彩なイベントが開催され、多くの方で賑わっている。水盤は、夜間はライトアップされる。
V	生田緑地	クスギ・コナラを中心とした雑木林や、谷戸部の湿地、湧水等が保全されている。ゲンジボタルやホトケドジョウ等、が生息しているほどである。	栴形山ではサクラが鑑賞できるほか、湿地帯ではハナショウブが鑑賞できる。	里山の生活を体験できるプログラムが用意され、岡本太郎美術館、藤子・F・不二雄ミュージアムがある。また、鎌倉時代の城塞跡や古墳群が存在している。	全国から移築された古民家を見学することができる。	里山での生活を一部体験できるほか、美術館や科学館など幅広い展示を鑑賞することが可能。
	国営ひたち海浜公園	樹林エリアは、準絶滅危惧種のオオウメガサソウの最北端自生地であり、遊水地にはオゼイトトンボやホトケドジョウなど多様な動植物が生息している。	四季を通じて、季節を代表する花を大規模に植栽展示している。スイセン、チューリップ、ネモフィラ、コキア、ヒマワリ、コスモスなど	花にちなんだイベントの他、夏には恒例のロックフェスティバルが開催される。また、古民家の移築復元がなされるなど、文化的な展示が行われている。	雄大な花畑で有名。	雄大な花畑、ロックフェスティバルは本公園の代名詞的存在である。
	ときわ公園	風光明媚な常盤湖畔に立地している。	3千5百本のサクラや8万本のハナショウブが植えられている。	地元の石炭産業の歴史にまつわる石炭記念館が設けられている。	UBE ビエンナーレという国際彫刻コンクールというイベントを活用して、集客や公園整備に活かしている。	花壇コンクール100回を記念して整備された花運動記念ガーデンなど、イベントを契機に公園施設を拡充している。
VI	兼六園	兼六園は市街地にあるにもかかわらず、一年を通して様々な野鳥（カモ、アオサギ、セキレイ、カワセミ、ジョウビタキ、コゲラ、ウグイスなど）が観察できる。	日本の桜の名所百選にも選ばれている他、他の花木（ツバキ、サザンカ、冬桜、梅、マンサク、ツツジ、カキツバタ、サツキ、ハギ、キキョウ、フジバカマ、キンモクセイ）も多い。	ライトアップされた庭園を眺めつつ飲食を楽しめるイベント等が開催され、かつて宴の場として利用された雰囲気を味わえる。	「廻遊式」の要素を取り入れながら、様々な時代の庭園手法をも駆使して総合的につくられた庭。「築山・林泉・廻遊式庭園」ともよばれる。	兼六園周辺には、土産売り場をはじめとして観光客対象の店舗が多い。
	奈良公園	背景に見える春日山原始林は国の特別天然記念物に指定されているほど自然度が高く、様々な動物や植物の宝庫である。	サクラや、春日大社内のフジが有名。	奈良時代を代表する寺社仏閣の存在自体が我が国の文化を象徴している。	数々の寺社仏閣と雄大な自然と、伝統文化の継承が一体化した広大な公園。	シカへの餌やりは有名。周辺の寺社仏閣では歴史ある祭事（お水取り、なら燈花会春日若宮おん祭等）が実施される。
VI	新倉山浅間公園	新倉山の中腹にあり、園内からは富士山を望むことができる。	サクラが配植されている。	サクラの季節に合わせてイベントが開催されている。 園内の忠霊塔は仏教施設ではなく、戦没者	富士山と五重塔（忠霊塔）と桜が一望できる空間となっており、京都に行かずともその雰囲気が味わえる場所である。	サクラの季節にイベントが開催され、近くにアヤメの群生地があることから、同公園では6月ごろにあやめ祭りも開かれてい

タイプ	公園名	自然	花	文化性	独自性	エンターテインメント性
				慰霊塔である。		る。
	首里城公園	「京の内」には、沖縄自生の植物が植えられている。	琉球庭園にはソテツやマツが植えられ、園地には、ハイビスカス・ゲットウ・コバノサンダンカ等が植えられている。	首里城の存在自体が文化であり、また、沖縄文化の大半（組踊、琉舞、泡盛、空手、紅型、琉球菓子、琉球漆器、琉球音楽等）が首里城由来のものである。	建築物や建造物の正確な復元へのこだわりと、復元後は琉球文化にまつわる展示やイベントがなされた。	首里城にまつわる芸能を、園内常設舞台にて定期的に演じていた。
VII	広島平和記念公園	園内には被爆植物となったアオギリ、インドハマユウが存在しているほか、1500本もの高木と、中・低木 約8,000㎡が植栽され、緑豊かな公園となっている。	高木 約1,500本のうちサクラは約300本	平和記念公園資料館では、原爆被害に関する各種展示がされている。毎年8月6日には平和記念式典が執り行われている。	原爆ドームを軸とした公園設計がなされている。	毎年8月6日には平和記念式典が執り行われるほか、世界の要人が訪れるなど、世界的に注目を集める時がある。
	海洋博公園	エメラルドグリーンの海やラグーンに面した公園であり、かつ亜熱帯の植物で埋め尽くされている。	ランを主として展示している熱帯ドリームセンターがあり、園内には数々の花々で彩られている。	昔の沖縄の農村を再現した沖縄郷土村や、海洋文化を展示した海洋文化館が設けられている。	沖縄で最も人気の観光施設であり、施設内容やそのグレードが常に保たれている。	地域の芸能をイベントとして演じている。
	あしかがフラワーパーク	大藤をはじめとした花が売りのテーマパークであり、いかに美しい時に美しい植物をどのように見せるかという努力がはらわれている。	花のテーマパークであり、天然記念物の大藤をはじめ、ボタン・ロウバイ・寒紅梅、チューリップ・雪柳・桜、ツツジ・シャクナゲ、バラ・シャクナゲ・クレマチス・アジサイ、スイレン、アメジストセージ・秋バラなどの花が咲き誇る。	フジの開花に合わせ、ふじのはな物語～大藤まつり～が開催される他、冬季にはイルミネーションが展示される。 元湿地帯のため、園内には250トンを超える量の炭を敷き詰め、土壌の浄化、活力を高めるなどして花が咲く環境を整えている。	いかに客に満足してもらえる花が見せられるかという視点に立っており、そのために花の咲き具合によって料金を変動制にしている。	イルミネーションで有名。全国イルミネーションランキングで1位に輝いた。

表 2-4 周辺とのネットワーク形成の留意事項

タイプ	公園名	公共交通の利便性	周遊上の位置づけ	周辺施設との連携方策	都市の観光振興に寄与する公園の機能	都市形成に寄与した公園の役割	ソフト施策
I	国営海の中道海浜公園	○利便性が良い 鉄道（JR）や公共バス、渡船による公共交通機関が充実。マイカー利用は便利だが、自転車の園内への持ち込みも可能。	海の中道海浜公園は、金印で有名でかつ海水浴客でにぎわう志賀島が存在し、その途上に位置することからこれら観光施設とのネットワーク形成が可能。	福岡市の管理する公園施設である青少年海の家（青少年海の家）が存在するなど、地元公共団体との連携がみられる。JR 駅での公園案内もある。	・福岡市内で有数の景勝地である。 ・志賀島や海水浴場に至る途上に位置し、週末の観光レクリエーションの利用が多い。	政令指定都市である福岡市の中における広大な景勝地であり、その存在自体が福岡のシンボルともみなせる。中心市街地から至便な距離にあり、日帰りに適しているが、宿泊利用も可能。	毎年、フラワーピクニック、バラ祭りなどの管理運営者の実施するイベントの開催や、持ち込みイベントも多く開催されている。
II	新宿御苑	◎利便性が非常に高い 複数の駅から至便の距離にある。	交通の結節点である新宿駅から近いため、観光客の立ち寄り利用が多い。都内の他の施設との周遊にも立地条件は良い。	東京都内の庭園管理者が集まった「東京の日本庭園おもてなし協議会」にて、都内庭園を集めた英語版冊子や、共同イベントの開催・イベントチラシの作成などを実施。	・キクやサクラの見ごろは人気の観光スポットになる。 ・外国人にも人気が高い。	皇室の敷地であったため、東京の中心にも関わらず広大な緑地を形成している。現在、外濠、新宿御苑と明治神宮外苑と一体的に形成される「水とみどりの環」周辺での景観形成が進められている。	菊花壇展や能舞台の上演など、歴史・文化継承的なイベントの開催のほか、環境省開催のみどりフェスタなど自然保全啓発にかかわるイベントなどの多様なイベントが開催。
III	警固公園	◎利便性が非常に高い 西鉄福岡（天神）駅正面に位置しており、公共交通機関によるアクセスが容易	周辺商業施設での買い物の休憩所として利用されている。待ち合わせの場や出会いの場としての活用もある。	周辺商業施設や関係施設管理者等の意見を反映した公園計画になっている。	改修により安心・安全が取り戻され、中心市街地の人が行き交う場所として利用が促進された。	公園の改修によって、公園周辺も含めた治安の改善、及び商業の活性化が図られた。	エリアマネジメント団体によるオープンカフェやクリスマスイルミネーション、毎年春に「一人一花スプリングフェス」が開催される。
IV	オアシス 21（久屋大通公園）	◎利便性が非常に高い バスターミナルや地下鉄駅と直結する名古屋の交通拠点	オフィス街の勤務者や地下街の買い物客等が集う都市の拠点を形成している。	栄の町の中心拠点の形成	周辺施設との協議会に基づき、相互にポスター等を掲示し、観光情報を発信する大型デジタルサイネージを設置している。	敷地内の施設の「水の宇宙船」は名古屋のランドマーク的存在となっている。	銀河の広場では、毎週末多彩なイベントが開催され、多くの人で賑わう。
V	生田緑地	○利便性が良い 最寄り駅から徒歩約 13 分だが、新宿駅から乗り継ぎなし	来園者は公園及び、園内施設（日本民家園・科学館・藤子・F・不二雄ミュージアムなど）を見学することが目的で、他の施設との周遊はあまり想定されない。	沿線鉄道会社との協力に基づくマラソン大会や、市民活動団体等の協力による、緑地の管理や多摩区民祭・生田緑地サマーミュージアム等のイベントの開催。	広大な敷地の中に様々な施設があり、地元住民をはじめとして根強いリピーターがいる。	早い段階で都市計画決定がされたため、都市化が進んでも貴重な緑地（川崎市最大の緑地）が残された。	里山の生活体験等のメニューが充実しており、小学校等の学習の場として利用されている。
	国営ひたち海浜公園	○利便性が良い 最寄り駅から路線バスでアクセス可能。圏央道に直結しているので、車によるアクセスは良い。	茨城県やひたちなか市では、本公園を観光の軸にした周遊を促す取り組みが進められている。那珂湊お魚市場や偕楽園などの近隣観光施設との周遊利用が多い。あしかがフラワーパークとセットにしたツアーもある。	周辺施設との連携方法として、イベントや花装飾で連携しているほか、地域周遊を促す周辺エリア観光ガイドサイト「旅ドキ！ひたちトラベッペ」を運営している。	見晴らしの丘のネモフィラやコキアは、今や国際的に有名な観光地となり、地域の顔となっている。	公園内の見晴らしの丘は、ひたちなか市では最も有名な観光スポットとなっているほか、全国的に高い知名度を有している。	園内の自然についてのガイドツアーのほか、クラフト体験・スポーツイベント等、幅広いイベントが開催されている。
	ときわ公園	○利便性が良い 最寄り駅から比較的近く、新山口駅から特急路線バスあり。山口宇部空港からも近い。	山口県内の他施設の年間パスポートで、入園（館）の割引制度あり。	UBE ビエンナーレは、瀬戸内国際芸術祭と連携協定を結んで相互に広報発信を実施、山口情報芸術センターとも連携し、広報発信している。	県内の他の有名な観光地（萩、秋芳洞）ほどではないものの、宇部市では有数の観光スポットである。	宇部市最大の風光明媚な常盤湖の景観を活かしている。	野外彫刻展や花いっぱい運動記念ガーデンが整備されており、イベントを契機としたハード整備がなされている。
VI	兼六園	◎利便性が高い 金沢駅からの路線バスの便が良い。	周辺に多数の観光スポットが存在しており、茶屋街・兼六園・金沢 2 1 世紀美術館・長町武家屋敷跡・近江町市場などの周辺観光地の周遊が容易。	金沢市観光協会では、HP 上ではモデルコース等を紹介している。周辺の他施設との共通チケットあり。観光地を巡ることが可能。	我が国有数の大名庭園であり、兼六園を見るために金沢を訪れる人も多い。市内観光の拠点にもなっている。	兼六園周辺には和風の土産店が並び、市の景観条例によって眺望景観の保全が図られている。	朝ごはんやお昼ご飯を園内の茶店で食べるイベントが期間限定で開催されているほか、季節毎にライトアップやホテル観賞会などが開催。
VI	奈良公園	◎利便性が高い 最寄り駅から徒歩で 5 分程度と、公共交通機関によるアクセスが容易。	奈良県内の他の観光施設（薬師寺、平城旧跡等）への周遊拠点となっている。	駐車場予約システムによる渋滞解消や、周遊バスの導入、奈良公園周辺地域の整備等が行われている。	奈良県への観光客のうちの約 1/3 が奈良公園を訪れており、奈良県の観光の中心的な役割を担っており、インバウンド利用も多い。	東大寺の大仏や奈良公園のシカは、奈良市を代表するシンボルである。	隣接する寺社仏閣で行事が執り行われる。

タイプ	公園名	公共交通の利便性	周遊上の位置づけ	周辺施設との連携方策	都市の観光振興に寄与する公園の機能	都市形成に寄与した公園の役割	ソフト施策
	新倉山浅間公園	△利便性が高いとは言えない 富士急行線下吉田駅から徒歩10分、中央自動車ICから近いが、忠霊塔へ向かう道路の幅員が狭い。	周辺に観光施設がなく、連携等は行われていない。	富士五湖観光連盟にて案内チラシを作成。	インスタ映えが良く、外国人の間で有名になった公園。今では逆に国内観光客も訪れるようになった。	園内の忠霊塔は富士吉田市のシンボルとなっている。富士吉田市における良好な景観が望める緑地として、観光拠点として位置づけられており、市街地と拠点を、結ぶ歩行系ネットワークの計画がある。	さくらシーズンの混雑期は交通整理を行っている。サクラの季節には、さくらマルシェと題して、軽食や民芸雑貨を販売している。そのほか、地域の団体による音楽演奏やパフォーマンスも行われている。
	首里城公園	○利便性は良い モノレールやバスといった公共交通機関が利用できる。	沖縄本島の主要な観光地に位置づけられ、周遊観光の起終点として活用されている。	民間旅行会社のツアーは首里城を組み入れたツアーを多数組んでいる。	沖縄南部の観光の核である。通常はここを起終点として沖縄本島を巡るツアーが組まれている。	首里城復元を受けて、景観法に基づく位置づけがなされ、首里城周辺の竜潭通り沿いの建築物は首里城のモチーフを活用した意匠がデザインされている。	園内では各種の琉球王朝にまつわるイベントが実施されている。
VII	広島平和記念公園	◎利便性が高い 広島駅前からの市電の駅から至便	世界遺産である宮島などの著名な観光地とセットになった観光がなされている。	修学旅行等での見学が多い。	国際的に世界で初めての被爆地として有名であり、外国人の利用が多い。	原爆の悲惨さを伝える場として中心的存在となっている。破壊された場所に新たな公園を整備することによって、平和を象徴するコアを作るという思想の元に都市計画がされている。	ヒロシマピース ボランティアが広島平和記念資料館内または平和記念公園内を一緒に歩きながら移動解説をしている。館内では定点解説も行われている。
	海洋博公園	△利便性が高いとは言えない 那覇空港から直行高速バスの運行が開始され、アクセス性が向上しているものの、マイカーの利用が便利。	沖縄本島北部の観光の拠点として中心的役割を果たしている。	レンタカー会社と連携して、水族館と首里城のセット券を販売しており、ある程度効果を上げている。	沖縄観光でもっとも人気の高い美ら海水族館をはじめ、多くの施設を有することから、沖縄北部観光の核となっている。	本部町の景観を印象付ける重要な要素である。	ゾーンごとに各種イベントが開催されており、イベントによっては毎日開催されているものもある。美ら海水族館では、夏季にはナイトツアーが開催されるなど、観光シーズンに合わせたイベントも実施されている。
	あしかがフラワーパーク	○利便性が良い あしかがフラワーパーク駅下車徒歩3分	圏央道を使って、同じ花の見ごろであるひたち海浜公園や、館林のツツジとタイアップした観光ツアーが組まれている。	公園内HPにて、周辺施設の紹介や、観光プランの紹介がされている。	フジの見ごろは多くの観光客が訪れるので、周辺観光地を含めた周遊ツアー商品が旅行会社で企画されている。	園内の写真が足利市内や栃木県の周遊ツアーでのトップイメージとして使用されており、県内の観光の目玉の1つとなっている。	イルミネーションで有名。全国イルミネーションランキングで1位に輝いた。

表 2-5 ソフトサービスの留意事項

タイプ	公園名	利用者案内	各種サービス（ICT 含む）	その他
I	国営海の中道海浜公園	HP を通じた情報発信	福岡市が提供している無料の公衆無線 LAN サービスを園内 2 箇所に設置している。	
II	新宿御苑	HP を通じた情報発信、インバウンド対策として看板の多言語の推進	Wi-Fi 搭載自動販売機の設置 交通系 IC カードによる食券販売等	
III	警固公園	HP を通じた情報発信や、インバウンド対策として、トイレの使い方について英語で表示している。	交番付近に Fukuoka City Wi-Fi を設置している。	
IV	オアシス 21（久屋大通公園）	HP にてイベントの告知、観光案内所にて観光情報や名古屋の魅力情報を発信する大型デジタルサイネージを設置、インバウンド対策としての中国語・韓国語等の表示	フリーWi-Fi の設置	
V	生田緑地	HP を通じた情報発信	園内音声アプリの無料配布、フリーWi-Fi の整備、ポケットークの試験導入	
	国営ひたち海浜公園	インバウンド対策として、案内・ホームページ等の多言語化やトイレ使用の張り紙の多言語化を実施。外国人観光客の多いビューポイントには、立入防止柵および表示プレートを設置。	フリーWiFi ポイントを設置（「IBARAKI FREE WiFi」）。外国人団体利用者の呼び出しの際には、直接、引率者（ツアコン）が呼び出せるように運用している。園内にパークアテンダントガイドを配置し、公園の見どころを伝えるようにしている。	翻訳機を各ゲートに導入（ポケットークという機種を十数台）
	ときわ公園	HP を通じた情報発信	園内では、案内等の多言語化、フリーWi-fi の導入、多言語音声ガイドシステムの導入が行われ、宇部市では、スマホアプリ「うべ観光ナビゲーター」の多言語化、市内宿泊事業者、飲食事業者等が行う案内標示等への多言語化支援助成制度が創設されている。	
VI	兼六園	HP を通じた情報発信、パンフレット、案内等の多言語化（9 カ国語）	インバウンド対策として、キャッシュレス決済の導入や、フリーWifi の整備も行っている。 国内向けの対応として、日本円に関してもキャッシュレス化を進め、新たに交通系電子マネーの利用導入が図られた。	早朝には無料入園サービスあり。
	奈良公園	HP を通じた情報発信	フリーWi-fi の設置	
	新倉山浅間公園	ネット（観光サイト等）を通じた情報発信、英語表記を含む案内看板の設置、移動式観光案内所での観光案内、トイレの増設や展望デッキの設置	フリーWi-Fi の設置、 繁忙期の交通整理	
	首里城公園	HP 上での広報や利用者へのパンフレットの配布。	園内に古裝束のガイドを常時配置している。	公園の管理運営を行っている沖縄美ら島財団が、琉球王朝の文化財の保護のための基金を運営している。
VII	広島平和記念公園	HP を通じた情報発信、インバウンドへの取り組みとして、説明板の多言語化を実施。（英語、中国語）	ヒロシマ ピース ボランティアが広島平和記念資料館内または平和記念公園内を一緒に歩きながら移動解説をしている。館内では定点解説も行われている。	
	海洋博公園	HP と twitter による情報発信を行っている。 インバウンド対策として HP、SNS（Twitter、Line、Facebook、Instagram、You tube）による情報発信を行っている。	プラネタリウムの映像番組にはイヤホンでの多言語化対応実施。インバウンド対策として、特に生命に関わる救急対応など専門的な翻訳を必要とする案件には、「見える通訳」（iPad を用いた三者〔外国人観光客、職員〕間通訳）を活用し、迅速に対応するようにしている。	
	あしかがフラワーパーク	HP を通じた情報発信、インバウンド対策として、案内等の多言語化。 外国人観光客向けには、ビジュアル勝負であると捉え、イルミネーションにおいては、企画・設置を内製化し、ビューポイントの設定、見える角度など風景が映える演出づくりに力を入れている。	花の見ごろ時期を HP でリアルタイムに公表している。	花の見ごろに合わせて異なる料金を設定している（見ごろの時期が最も料金が高い）。

第三章 公園の魅力向上要件の留意事項

第一章では、海外事例調査結果をもとに、公園緑地の魅力向上のために必要な7つの要件の抽出と、その要件を構成する魅力要素の整理を行い、第二章では、国内事例調査結果をもとに、魅力要素を追加し、要件の内容の補強を行った。第三章では、第一章と第二章を受けて、各公園の事例から要件毎の留意事項を整理し、以下に記す。

要件1 都市における公園の明確な位置づけ

本要件は、公園緑地というものは、単体としての公園内容の価値のみならず、都市の中における当該公園の存在意義、すなわち位置づけが明確なものほど魅力が大きいことを示している。もう少しかみ砕いて表現すると、公園の魅力を向上させるためには、当該場所になぜに公園が設置されているかという理由（意味）、もしくは設置されなければならなかった意義が正しく踏まえられているかということが重要であるということの意味している。さらに言い換えれば、公園が設置された背景を正しく踏まえて、適切なテーマを見出せているかということでもある。

それは、海外事例のケースを見ると特に分かりやすい。例えば、セントラルパークは都市のスプロール化という社会問題に対応するため、都市の中央に広大な自然地を設けるという明確な目標が定められ、この目標に沿って人工的に広場や樹林、池が設けられ、その後は、セントラルパークに寄り添うように良好な市街地が形成されていき、今では、セントラルパークはマンハッタン島に不可欠な存在になっている。また、ミレニアムパークは、シカゴの中心地に残った遊休地を活用するために、都市のシンボルとしての公園を、アートをテーマに整備するという市長の明確な目標が立てられ、それに沿って一流の芸術家や建築家によるパビリオンが多数整備されていた。今では、まさにシカゴ市の顔であり、観光客はまず本公園を目指してくるほどになっている。ハイラインについては、廃線高架だった鉄道敷（ハイライン）を残したいという目標が一市民から提起され、地道な市民活動によってその保全が決まり、さらにどのように保全活用するかを多くの賛同者によって検討され、緑豊かな遊歩道公園が出来上がり、その周辺市街地は公園に合わせて用途や高さが制限されていった。今では、ハイライン沿線の市街地はニューヨークの中でも人気の観光地となり、多くの人々に利用されている。これらの成功事例に共通することは、どれも公園設置の明確な目的を有していることである。都市の中で公園に求められている機能を的確に反映したテーマを掲げ、その理念に忠実に則った公園の整備がなされている。

一般に新たに公園を計画する際には、たいていテーマが設定される。もちろん、公園のニーズが把握され、それに沿ったものが設定されるが、街区公園のように面積の狭い公園の場合、類似の公園と似通ったテーマが設定されることが多い。また、広域公園のように大面積のもので多様

な施設が設けられるような公園では、総花的なテーマが設定されることが多い。そうしたケースは、セントラルパークなどの事例のように、明確な目標や都市的な必要性が希薄なためであろう。しかしながら、少なくとも観光に資するような公園整備を図るならば、本来はその公園に特化したテーマが設定されるべきである。つまり、公園の目的や意義の理解がどこまで深められているかが、公園の魅力向上に不可欠だと言えよう。

また、もしもすでに供用されている公園で、今後観光客を呼び込もうとするならば、今ある公園のテーマを振りかえってみることも必要である。そのテーマが本当に公園に合致しているかを検証し、必要ならばテーマの見直しも必要であろう。

要件2 設置目的に合致したデザインコンセプト

要件1の「都市における公園の明確な位置づけ」は、公園の基本的な設置目的や方針にあたるが、それを実現するためには、こうした公園の設置目的に合致した適切な公園計画や公園全体のデザインコンセプトを立案することが重要である。ちなみに、ここで言う公園全体のデザインコンセプトとは、個別の公園施設のデザインコンセプトではなく、公園全体に一貫して適用すべきデザイン方針の共通事項を意味する。

セントラルパークの事例では、都市のスプロール化防止のために、市街地の中央に広大な自然地を設けるという目標が立てられた。この目標に沿って、園内に設けられたのは広大な池と芝生広場や牧草地、樹林、庭園などである。ベルヴェデーレ城やベセスタ・テラスなどの建築物も設けられてはいるものの、どれも公園全体からすれば規模は小さいものである。しかも、設けられた自然地は人工のものであるにも関わらず、池の汀線は自然の形態に似せて造られるなどの配慮がなされている。これが、もしも公園全体がディズニーランドのような遊園地のデザインになっていたならば、はたしてスプロール化防止の目的がどこまで達成されたかは疑問である。

また、ハイラインでは、そのデザインの選定についてはコンペが実施されたが、提案された案の中には、ジェットコースターを整備する案や樹木が1本も無い案もあったようである。数ある提案の中から、審査会が最終的に採用したのは、マンハッタンの摩天楼を山にたとえ、その山々のふもとに横たわる谷をイメージしたデザインであった。そのデザインは、市民がハイラインに抱くイメージそのものであり、そのデザインでなければハイラインを保全する意味が無いと判断されたからである。このように、セントラルパークやハイラインの事例を見ると、たとえ、公園の設置目的やテーマが明確であっても、その目的にそぐわないデザインコンセプトが立てられていては元も子もないことが分かる。公園の魅力向上のためには、いかに公園の設置目的やテーマを実現するかが大事であり、そのために公園計画における基本コンセプトやデザインコンセプトを正しく、かつ明確に立てなければならない。さらに他の事例を挙げると、例えば、スタンレーパークの場合は、都市に残った貴重な原生自然の保全が基本テーマであり、そのために自然に影響の少ない遊歩道（シーウォール）がメインの施設になるなど、極力原生自然を保全するデザインコンセプトが採られている。また、広島平和記念公園は、原爆被災地の記憶の継承と犠牲者の追悼がテーマであり、その目的のために、公園は静謐な空間の現出というデザインコンセプトが求められた。まさに、こうした公園の設置目的を実現するための正しいデザインコンセプトの立案が本要件の意味である。

ところで、広域公園や総合公園などで、洋風の公園の中に日本庭園があるなど、個別のゾーンや施設ごとにデザインが異なる場合がある。本要件でいう公園のデザインコンセプトとは、そうした個別の施設のデザインの違いを排除するものではない。本要件で指すデザインコンセプトとは、異なるゾーンの個別の施設デザインにも共通して普遍的に踏まえるべきコンセプトを指すものである。

なお、要件1と要件2は本来は一体不可分であり、順を追って要件を踏まえていくことが理想的である。しかしながら、実際には、公園を取り巻く環境の変化、例えば、周辺住民の高齢化に伴って公園へのニーズが変わってしまったとか、人気の公園施設の社会的陳腐化によって利用度が著しく低下するなどのことは十分にありうることであり、こうした状況では要件2のみの修正という対応が考えられる。

第一章で挙げた海外公園事例は、いずれも要件1と要件2がはっきりしているが、国内事例の中には、要件1と要件2の関係が変化した事例が見受けられる。例えば、警固公園は、もともとは駅前でかつ商業施設や行政施設に囲まれているといった立地条件のため、待ち合わせ等に利用される賑わいある公園であったが、公園の老朽化に伴って治安悪化が社会問題化したため、治安改善のためのリニューアルが、本公園再生のためのデザインコンセプトとなった。しかし、それは本来の公園のテーマや課題ではなく、長年の公園の歴史の中で、公園の施設状況や周辺市街地の状況の変化の中で現れた課題解決のためのものであった。本ケースは、要件1とは直接には関係のない要件2であっても、それが公園の利用増進に繋がる場合があるという稀有な事例と言える。こういうケースでは、当該公園にタイムリーに求められているニーズや課題に応じて公園のデザインコンセプトを見出していく必要がある。

要件3 公園施設デザイン（施設内容含む）

海外事例や国内事例からは、理念やテーマを踏まえた公園デザインコンセプトに基づいて、それぞれの公園の特性を活かしたデザインが様々に検討されていることが分かる。例えば、セントラルパークでは、人工的に整備する池については、できるだけ自然の風景となるように汀線護岸のデザインに配慮がなされている。また、ハイラインでは、通常の公園仕様で妥協しない、詳細なデザインへのこだわり（手すりの高さやベンチの仕様など）が見られた。利用者や観光客が公園を利用する場合に、直接目にして触れるのは、植栽、花、ベンチ、遊戯施設、便益施設といった個別の公園施設であり、それらが設置意義に応じて適正に計画・設計されていることが重要である。そうした良質な設計の実現への配慮が必要であるが、海外の代表公園などでは公園施設の個別デザインへの配慮が窺えた。それらの事例から、公園施設のデザイン手法として次の9つのデザイン手法を抽出することができた。ただし、これらはあくまで本資料で掲載した国内外の事例から導いたものであり、これら以外にも実際には個別のデザイン手法が存在することが考えられる。しかしながら、調査対象とした各事例は、想定される公園タイプごとに網羅的に選定されたものであるため、基本的なデザイン手法は踏まえられているものと考えられる。

- ①自然特性活用デザイン、②地域自然環境活用デザイン、③都市の自然環境保全デザイン、④都市のシンボル形成デザイン、⑤歴史的環境保全デザイン、⑥場の記憶保全デザイン、⑦都市の安全性確保デザイン、⑧鎮魂空間形成デザイン、⑨花活用デザイン

なお、本要件については、個別のデザイン手法に応じた留意点が存在するため、上記に示した9つのデザイン手法ごとに以下に留意点を取りまとめた。

① 自然特性保全活用デザイン

本デザイン手法は、公園敷地内に残る自然環境を、なるべく人の手を入れずにそのまま活用するデザイン手法を指す。自然公園のような大規模な自然環境が残る公園緑地に有効な手法である。本デザイン手法については、以下の事例が参考となる。

〔デザイン事例〕

スタンレーパーク（バンクーバー市、カナダ）タイプI（広大な自然体験型公園）

本公園は、三方を海に囲まれた丸い形状の半島がまるまる公園になっているものであり、園内は原生樹林に覆われている。このため、こうした原生自然には極力人の関与をしない設計になっ

ている。起伏のある内陸部には園路は極力設けず、地形の改変に影響のない計画になっている。メインの園路は海岸線沿いに設けられた公園の遊歩道（シーウォール）であり、汀線沿いの園路のため、大量の土砂の移動を伴う造成が必要なくなるとともに、利用者にとっても平坦な園路を利用できるというメリットがある。公園利用者のうちのおよそ9割が、このシーウォールを利用している。

海の中道海浜公園（福岡市）タイプⅠ（広大な自然体験型公園）

玄界灘の海岸線には手を付けず、人工林である松林は、園内の暴風のために不可欠であり、白砂青林の重要な要素でもあるため、その保全が図られている。

また、本砂州には雨水が溜まるため、園内の池の殆ど

は素掘りによって整備した池で、池の水位は地下水位そのものである。

このため、季節によって水位が変動するため、護岸は階段状にデザインされている。

園内で整備が進む「森の池エリア」に至っては、前記の

素掘り

の池と同じ理由で、降雨が続くと標高が低い箇所に現れる幻の池をそのまま公園施設として活用している。この幻想的な空間を、癒しの空間としてしつらえるため、自然地にはほとんど手を加えず、人の入る空間を限ったデザインが採られている。



② 地域自然環境活用デザイン

前記で掲げた「自然特性保全活用デザイン」は、園内に残る原生自然をそのまま保全・活用する手法であるが、本デザイン手法は、公園をとりまく地域固有の自然環境をデザインするものである。例えば、その場が熱帯地方であれば、地域に生息する熱帯性ランを集めて公園内で栽培するなどといった手法である。

〔デザイン事例〕

海洋博公園（国営沖縄記念公園海洋博地区、沖縄県本部町）タイプⅦ（テーマ特化型公園）

本公園で最も人気のある沖縄美ら海水族館において、展示してある魚類やサンゴ類などの海洋

生物は、基本的には
沖縄の海に生息す
る生物たちばかり
であり、展示テーマ
も沖縄の海（黒潮）
に沿ったものとな
っている。東京など



の水族館では世界中の珍しい魚類等を集めていることが
多いことと比べると、かなり明確なスタンスを持った展
示と言える。

このように、沖縄という地域に限った展示をしている
ため、海水は目の前の海から生海水（温度調整はせず）
を大量に水槽に引き入れている。また、水族館の建築物
は4階建てになっており、入口は4階部分に設けられて
いるが、各階の上の方ほど海の浅いところに生息する魚類が展示されている。このため、階を降
りるにしたがって、より深いところに生息する大型の魚類に遭遇することになるといった演出デ
ザインが図られている。



なお、本施設は単体でも十分に集客できる施設であり、利用客の中には、公園に隣接して水族館があると認識している者がいるほどである。本水族館は、開館当時は世界一の規模で、かつ複数のジンベエザメやマンタの飼育が人気の理由であり、こうした観光上誘客力のある施設を整備することによって、観光客の増加を図ることは手法として十分にありうることである。しかしながら、本水族館の人気魚類であるジンベエザメやマンタは、海洋博覧会から続いた前水族館での地道な飼育実績が実を結んだものであり、公園の施設として魅力ある施設の実現は一朝一夕には難しいものとする。安易に誘客機能を有する施設を公園内に誘致するという方法も考えられるが、その場合は、公園のテーマや理念との整合性が図られる必要がある。

③ 都市の自然環境保全デザイン

本デザイン手法は、既成市街地等の主に都市中心地において、都市計画上の観点から、都市のオアシスとしての緑化オープンスペースを創出するデザインを指す。ある意味、最も都市公園らしいデザインとも言える。

[デザイン事例]

セントラルパーク（ニューヨーク市、アメリカ）タイプⅡ（広大な都市のオアシス）

都市のスプロール化防止のために人工的に整備された公園のため、広大な芝生広場や牧草場が

広がるとともに、元からあった湖や沼なども巧みに活用している。

人工的に造られた公園にもかかわらず、公園のほとんどが自然に見えるのは、池の汀線などをより自然に近い地形にデザインし、かつ適切な植栽計画に



よるものである。また、道路は景観を崩さないために人工的に窪地に造られているなど、人工物が目に入らないような工夫もなされている。こうしたデザインによって、公園内はまるで天然自然の中にいるように錯覚する風景を現出し、都会的な景色や喧噪の中のオアシスとしての働きを果たしている。



新宿御苑（東京都）タイプⅡ（広大な都市のオアシス）

大都市の中の広大で静寂な自然環境が保たれている。大名屋敷の庭の遺構をデザインに組み込むなど、その土地の歴史を生かした設計がされている。現在の姿の原型は皇室の庭園として整備された際の形であり、イギリス式風景式庭園、フランス式整形式庭園、日本庭園という異なるデザインが巧みに



に組み合わせられた庭園を鑑賞することができる。設計者のアンリ・

マルチネは、ビスタラインを意識して庭園を造ったとされ、都市の過密化が進んだ現在、貴重な開放的なオープンスペースとなっている。また、園外の高層ビルと緑地の対比も魅力の1つとなっており、写真のように、その景観はニューヨークのセントラルパークに似ている。

生田緑地（神奈川県川崎市）タイプⅤ（施設複合型公園）

多摩川崖線上に位置する川崎市内最大の緑地である。公園のテーマは敷地内に残されている里山の自然や文化の保全であり、クヌギ・コナラを中心とした雑木林や、谷戸部の湿地や湧水等の里山的な環境が保全されている。それらに合わせるように、日本各地から古民家を移築・展示している日本民家園もある。里山の環境・文化の保全のため整備された公園緑地のため、森や自然をそのまま残すことが優先されている。このため、園路には、多数の登り坂や下り坂、階段、自然路などが点在しているほか、ゲンジボタルやホトケドジョウなどが生息する貴重な環境が保全されており、過去の環境を今に伝える場所になっている。

④ 都市のシンボル形成デザイン

本デザイン手法は、単に公園内のシンボルを作るということにとどまらず、都市のシンボルとなるべく、公園のシンボル性を際立たせたデザイン手法を指す。

〔デザイン事例〕

ミレニアムパーク（シカゴ市、アメリカ）タイプⅢ（都心の小規模なスポット）

ミレニアムパークを企画したブライアン市長は、ただの公園ではなく特別なものにしようという思いから、シカゴに古くからあったパブリックアートの伝統を活かして、ミレニアムパークを、芸術をテーマに整備することが望ましいと考えた。このため、世界的に著名な最高レベルの建築家や芸術家によるパビリオンや作品で公園を満たすことが目指された。



各パビリオンの整備は、寄付者（団体含む）にネーミングライト（施設名称決定権）が与えられたため、自らや自らが属する組織の名前が冠された施設であるならば、いっそ思い切った整備を行おうという動機につながり、その結果、各寄付組織の大胆な設計やデザインがなされ、どのパビリオンもシンボリックなものとなり、今では公園自体がシカゴ市の顔となっている。

ハイライン（ニューヨーク市、アメリカ）タイプⅣ（遊歩道公園）

公園化の動機は鉄道高架敷を保全することだったため、現状のハイライン（高架）の形状を、なるべくこのままの姿を維持した上で、最大限魅力を向上させることができる計画が指向された。それは、ハイラインをマンハッタンというアルプスのふもとに横たわる緑の谷に見立てて、適度な植栽を有する高質なデザイン案が採用された。

ちなみに、ハイラインが通るウェスト・チェルシー地区は、用途が軽工業地区だったところであり、もともと観光客が訪れるような場所ではなかった。また、ハイラインは鉄道廃線の高架であり、都市にとっては阻害要因でしかなかった。それを、



全く新しいタイプの公園として整備することによって地区にシンボルが誕生し、その影響で、公園周辺にアートギャラリー、美術館、ミ



ュージカルやオペラが披露できる施設などが建てられるようになり、アートと一体となった空間が形成された。今では、ハイラインは古いチェルシー地区のシンボルとなっており、チェルシー地区に緑をもたらしたグリーンインフラでもあると評価されている。

通常は、公共事業であれば標準設計があり、また、安全上の理由から各種の施設には守るべき基準が設けられているため、実施設計段階において、こうした各種の規定の順守と理想とする公園の姿の実現の間に軋轢が生じた。例えば、フェンスは必要な高さが2.4mであったが、これではせつかくの視界を遮ってしまうため、植栽エリアを設けて人が入り込めないようにすることでフェンスの高さの特例が認められた。また、公園の予算軽減の観点から、標準仕様に基づくベンチなどが求められたが、個別に丁寧にその必要性を説明してクオリティの高いベンチが設置されていったなど、実施設計段階でのこのような細部のこだわりが公園の魅力を向上させていった。



サウス・バンク・パークランズ（ブリスベン市、オーストラリア）タイプV（施設複合型公園）

ブリスベン川南岸は、洪水の影響で荒廃した地区となっていたが、博覧会を契機に博覧会跡地を公園化したのが当公園である。本公園で最もシンボリックな施設は、公園のほぼ中央に設けられた人工ビーチ（ストリートビーチ）であり、モートンベイ沿岸から運ばれた白砂が敷き詰められた内陸の人工ビーチである。ここは周りをブーゲンビリアなどの南国の植物や花木で修景することによって、リゾート地の雰囲気醸し出しており、公園の雰囲気を象徴する施設でもある。本施設をはじめとした公園内の施設は、ブリスベン川の湖岸のという自然条件を活かした緑豊かなデザインが特徴であり、素晴らしい川の景色を堪能しながら、リラックスしてくつろぐのに最適な市民のオアシスを形成し、ブリスベン市民の最高のライフスタイルを実現する場となっている。

本公園の登場によって、今やサウス・バンク地区には、芸術や音楽などの学校も多く張り付き、文化をリードする地区となっている。また、世界的に一流でスタイリッシュなレストランやバーがサウス・バンク・パークランズの景観と一体となって隣接し、広々とした河岸環境を作り出している。

オアシス 21（久屋大通公園）（名古屋市）タイプIV（遊歩道公園）

名古屋のオフィス街で、かつショッピング街である栄町の中心軸をなすのが久屋大通公園であり、大通公園の顔としてふさわしく、賑わいあふれる拠点性を確保するため、オアシス 21は、久屋



大通公園の中でもより一層ランドマークとなるべきデザイン性の高い建造物が目指された。建造物のデザインは、宇宙船をイメージしたもので、水をたたえたガラスの大屋根がシンボリックな

構造物となっている。この大屋根と芝生広場（緑の大地）とイベント広場（銀河の広場）、加えてバスターミナルや地下街のショップが一体となった立体型の公園となっており、町のシンボルの施設となっている。

国営ひたち海浜公園（茨城県ひたちなか市）タイプV（施設複合型公園）

広大な敷地に四季折々の花がダイナミックに咲き誇る風景で有名である。「みはらしの丘」一帯を覆うネモフィラやコキアは、毎年テレビなどでも紹介され、多くのファンを呼びこんでいる。これは、単一の樹種の花によって広大な丘を埋め尽くすという大胆なデザインが採用された例であり、右写真のように見る者を圧倒する。素人でも見栄えのする写真撮影が可能ほどの被写体であるため、SNS 上で人気が高く、今やネモフィラやコキアの同様の修景は、全国の他の大規模公園でも採用されている。



⑤ 歴史的環境保全デザイン

本デザイン手法は、歴史的な遺跡や庭園などを往時の姿で景観維持がなされる手法を指す。歴史公園の場合は、ほぼ本手法が採られているが、歴史景観の忠実な保全・再現がどこまで忠実になされるかがポイントとなる。

リュクサンブール公園（パリ、フランス）タイプVI（歴史的公園）

17 世紀に建造されたブルボン王朝ゆかりの宮殿や庭園をそのまま保存し活用されている。往時の施設として、養蜂園、ポニー乗馬場、オランジェリー〔冬季の園芸種の保存施設〕、温室などが配されており、観光客は、王朝文化に触れるために公園に訪れている。中でも、当公園で特筆すべきことは、画家のドラクロワ、ジョルジュ・サンド、ショパンなどの著名な作家の作品ばかりの彫像が、約 100 体も展示されていることである。



兼六園（石川県金沢市）タイプVI（歴史的公園）

「廻遊式」の要素を取り入れながら、様々な時代の庭園手法をも駆使して総合的につくられた大名庭園であり、「築山・林泉・廻遊式庭園」とも呼ばれる。歴代加賀藩主によって築庭されてきた状況をそのままに



保全している。観光客がよく写真を撮影する場所として琴柱灯籠や、サイフォン式の噴水などが挙げられる。現在は特別名勝であるため、

昔からの風景を大切に維持・管理が行われており、看板等の設置は控え気味するなどの工夫がされている。結果として江戸時代の風景が、高いクオリティで保全されている。

奈良公園（奈良市）タイプVI（歴史的公園）

東大寺、興福寺、春日大社、国立博物館、正倉院等と一体になった公園であり、奈良時代の風景が偲ばれるデザインとなっている。このため、社寺の歴史的風致景観を守ることが大前提と



なっており、風致地区にも指定されている。公園の歴史景観維持のため、案内看板等の設置やイベントの開催内容については、公園の歴史的雰囲気と合致するよう控えめなものになっている。

⑥ 場の記憶保全デザイン

前述した歴史的環境保全デザインは、歴史的遺産や環境を持続的に維持保全するデザイン手法であるのに対して、本デザインは、その場にあった何らかの歴史的記憶を、象徴的な事象を用いて利用者の記憶に留めるための手法である。

〔デザイン事例〕

ハイライン（ニューヨーク市、アメリカ）タイプIV（遊歩道公園）

本公園は鉄道高架の廃線敷をそのまま遊歩道公園として整備した事例である。本公園は、高架上という限られた空間の



中で、所要の園路や植栽帯を確保して整備されている。このため、当然ながら鉄道の名残であるレールは基本的には取り外されている。しかしながら、廃線敷であったという記憶を残すために、一部のレールは植栽帯の中に残されている。

⑦ 都市の安全性確保デザイン

本デザイン手法は、公園やその周辺の防犯の観点からの安全性確保を目指した手法である。

[デザイン事例]

警固公園（福岡市）タイプⅢ（都心の小規模なスポット）

公園の老朽化や植物の経年変化に伴って治安の悪化が問題となったため、「防犯と景観の両立」というデザインコンセプトのもとに公園施設の再整備が行われた事例である。防犯の観点



から見通しを改善するために、公園西側の築山の撤去や樹木の伐採が行われた。また、人の視線の死角を無くすために、公園内とその周辺の歩道を広くして、ベンチや花壇を配置した。その結果、公園の内外から園内の様子や来園者の様子が眺められようになり、防犯性が向上した。また、同時に園内からは周囲の都市景観を楽しめるようになった。さらに、スケートボードの利用を排除するために、舗装を芝や自然石を用いるなどに変更された。また、隣接する施設（神社等）からの人通りを円滑にするために園路計画を見直すとともに、交番を誘致するために、公園の一部を公園区域から除外するといった思い切った方法も採用された。

⑧ 鎮魂空間形成デザイン

本デザイン手法は、墓園や慰霊塔などにおいて、鎮魂するための空間の静謐な雰囲気を出し出すためのデザイン手法を指す。

[デザイン事例]

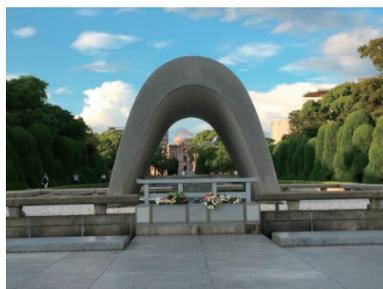
広島平和記念公園（広島市）タイプⅦ（テーマ特化型公園）

本公園は爆心地である旧太田川（本川）が元安川と分岐する三角州の最上流部に位置している。原爆被害者の慰霊と世界恒久平和を祈念して開設されたため、原爆被災地の悲惨さを記憶にとど

めて恒久的な平和を祈念する場となるように、メッセージが分かりやすくかつ静謐な雰囲気の醸成が図られた。

具体的なデザインとしては、人通りの多い平和大通

りから原爆ドームに向かう景観軸を定め、その軸線上に慰霊碑を配置し、後方に広島平和記念資料館が配置されている。資料館は解説機能として不可欠であるが、本資料館が平和大通りから原爆ドームへの公園利用者の視線を遮らないよう、建築物はピロティによって空中に浮かせる形となっている。



⑨ 花活用デザイン

公園緑地には必ずと言っていいほど花木や草花（紅葉する樹木等を含む）が植えられる。単に添景物として植栽される場合も多いが、花自体を集客のための重要な公園要素として植えられることも多く、また植え方にも工夫が凝らされる。

また、植物のデザインで重要なことは、それが生きている素材だということである。すなわち、健全に生育されなければならないので、農学的見地に基づいた植栽環境の整備も必要となってくる。例えば、国営ひたち海浜公園の見晴らしの丘は建設残土が盛られた丘であり、あしかがフラワーパークは低湿地だったところだが、双方ともに植物の生育を考慮した客土や土壌改良がなされている。

〔デザイン事例〕

新宿御苑（東京都）タイプⅡ（広大な都市のオアシス）

広大な園内には1万本を超える樹木が植栽されており、都心における貴重な緑地となっている。また、特に園内には約65種1000本のサクラが配植されており、一年を通じてサクラの花を觀賞することができる大きな魅力になっている。早春には早咲きのサクラが咲き、4月初旬にはソメイヨシノが、その後はサトザクラが花を咲かせる。カンザクラは冬に咲くが、夏や秋に狂い咲きすることもあるためである。長期間にわたってサクラの花見を楽しむことができるばかりでなく、他にも四季を通して様々な花が鑑賞できる。また、明治天皇誕生日の10月には、様々な菊の園芸品種の展示もなされる。



国営ひたち海浜公園（茨城県ひたちなか市）タイプV（施設複合型公園）

広大な敷地に四季折々の花がダイナミックに咲き誇る風景で有名である。四季を通じて色鮮やかな花々を雄大なスケールで見せる演出は、公園関係者の間でも注目を集め、見学に訪れる専門家も少なくない。茨城県での観光を考えると、偕楽園の梅の見ごろが終わった後も、四季を通じて花々を楽しむことができるようになっている。3月のスイセンから始まり菜の花やチューリップ、そして5月になると「みはらしの丘」一帯を覆うネモフィラは、毎年テレビなどでも紹介され、多くのファンを呼びこんでいる。夏にはバラやラベンダーが、秋になればこの公園で品種改良されたコキアの群れが鮮やかな紅葉で目を楽しませる。ひたち海浜公園がこうした花作りに注力してきたのは、茨城県を代表する公園にふさわしい個性と、地域に貢献できる集客力を目指すという目標が背景にあった。そこで県や地元の声を踏まえて、春から秋まで途切れなく楽しめる花と緑の組み合わせを選び、育てることで、現在のような姿が形成されていった。



足利フラワーパーク（群馬県足利市）タイプVII（テーマ特化型公園）

天然記念物に指定された大藤の名木をはじめとして、四季折々の花々が鑑賞できる。最大の売りである大藤の生育に適した水辺の環境が整備されている。ビューポイントの設定、見える角度、風景が映える演出づくりにも配慮され、特に、ビジュアルは常に変化をつけるように工夫され、毎年同じものにならないよう、また、シーズン毎にも季節の変化や花毎の変化をつけるようにされている。こうした景観創出の努力によってリピーターを生んでいる。



また、本フラワーパークで最も特徴的なことは、開花状況によって入園料金に差が設けられており、花の見頃に最も高い料金設定がなされていることである。

要件4 公園の実現手法

要件1～3は、どれも広い意味での計画・設計に係る要件である。しかしながら、いくら立派な絵が描かれたとしても、その絵を実現するための手立て（手法）を現実的かつ具体的に講じなければ、魅力のある公園の実現は難しい。

事業費の確保

その手立て（手法）とは、最も分かりやすいのは事業費（予算）の確保である。予算が潤沢であれば、どのような計画であっても、物理的に不可能ではなくかつ違法物件でないかぎり整備は可能である。しかしながら、実際には限られた予算の中でのやりくりとなり、その制約の中で実現を図らなければならないので、事業費の確保といった現実的手段は重要である。公共事業の場合は、関連法規（制度）を熟知したうえで、所要の予算化を図り、関係機関や利害関係者と調整して実現していくことになる。単に標準的なレベルの公園であれば、淡々とこうした手続きを進めていけばいいが、観光振興に資するような誘客効果の高い公園の実現には、多様な行政制度を活用するなどのさらに工夫が求められる。

国家的プロジェクトや地域の顔となるような公園であれば、所要の予算が確保される場合もあるが、昨今はなかなか予算面では厳しいものが予想される。事業の意義や必要性を説いて所要の予算を確保するのが王道であるが、それが難しい場合には、必要に応じて民活手法の導入なども視野に入れる必要がある。

民間手法の活用

昨今、Park-PFI 事業に代表される公園緑地での民活事業が推進されているが、その目的の一つに、事業費の多様化を図るという意味合いがある。また、民活手法は、単に予算の多様化を図るのみならず、施設にデザインを含めた民間のノウハウを取り入れやすいという意義もある。我が国では都市公園法の改正によって Park-PFI 制度が位置付けられ、今や全国各地で民間の運営による公園施設が生まれており、集客性の高い高質な施設の成功事例も見受けられる。しかしながら、民活が成立する公園は限られ、収益が見込まれる収益事業も限られる。このため、安易に民活に走るべきではない。まずは、民間ノウハウの導入が不可欠な事業であったり、有効な収益事業が見込まれるケースかといったことを見極めることが肝要である。

ミレニアムパークは、寄付金によって必要な整備費を確保した最たる事例であるが、米国であっても、通常の公共事業では予算上の制約があり、なかなか思い切ったことができない。このため、地面より上部の公園空間については、全て民間の寄付金でまかなうという方針がとられたことで巨額の資金を投入することができ、結果的に高質なデザイン性の高い空間がシカゴ市の中心に登場することになった。シカゴ市がこれだけの寄付を集められたのは、日本とは異なる社会的

背景の違いや時期的に幸運だったことも挙げられるが、ネーミングライトの制度を用いたり、寄付者の名前をモニュメントに刻んで残すといったきめ細かい手立てが講じられたことが功を奏したとされる。

また、デザインの選定方法の面では、ハイラインは、ニューヨーク市からの委託によってNPO フレンズ・オブ・ハイラインが公園計画のコンペを行った。これは、競争性のある選定方式（コンペ方式等）により、高質なデザインの採用が可能になった事例である。その結果、36 か国から720にも及ぶ作品が寄せられ、その中から、ハイラインをマンハッタンというアルプスのふもとに横たわる緑の谷に見立てた高質なデザイン案が採用された。

名古屋のオフィス街でかつショッピング街である栄の町の中心軸をなす久屋大通公園の中で、さらに都市のランドマークとなるべきデザイン性の高い建造物が求められたのがオアシス 21 だった。本施設計画は提案競技によって、宇宙船をイメージしたガラスの大屋根が水をたたえた案が選ばれた。このように、民活手法の活用は、事業目的の実現のための一つの選択肢となりうる。

関係者間の調整

どのような事業でも大なり小なり関係者間の調整は必要となってくる。また、単体の公園のみならず、周辺の市街地との連携を図る意味からも関係者間の調整は重要である。福岡市の警固公園は、治安の悪化という問題を解決するために、地域住民や周辺の事業者、エリアマネジメント団体、ボランティア団体、大学、福岡県警察が連携し「警固公園対策会議」が発足し、ここで検討が進められた。様々なステークホルダー等の関係者の調整に基づいて実現した最たる事例である。賑わい創出を求める民間企業と、静かな環境を求める地域住民の間の葛藤もあったようであるが、活発な議論から双方が合意する警固公園の姿が導き出されていった。警固公園の事例ほどは関係者が多様なことはあまり多くはないと考えられるが、調整すべき関係者の対象を的確に選定していく必要がある。

リーディングプロジェクトの導入

リーディングプロジェクトとは、国家的プロジェクト等の先行的プロジェクトや国際的イベントなどを指し、これらの事業に応じる形で公園整備を図るという手法である。適したリーディングプロジェクトが見いだせる場合には有効な手段である。例えば、サウス・バンク・パークランズは、荒廃していたサウス・バンク地区の再活性化のために開催されたブリスベン国際博覧会を契機に会場跡地が公園化されたものだった。その意味において、我が国においては、大阪府にある日本万国博覧会記念公園や大阪市内にある花博記念公園鶴見緑地、それに沖縄県にある海洋博公園と位置付けは似ている。博覧会はイベントというよりも一つの巨大なプロジェクトであり、その意味ではリーディングプロジェクトの導入によって公園目的を実現させたと理解できる。

また、ときわ公園は、UBE ビエンナーレという国際彫刻コンクールの開催によって、園内の彫刻というハードの充実と、集客を同時に実現させた事例であり、上記の博覧会関連事例と共通するところがある。

以上のように、先進事例では、公園自体の実現のためや公園の機能アップのために、様々な事業手法を駆使していることが分かる。それらの手法は、以上のように事業費の確保、民間手法の活用、関係者間の調整、リーディングプロジェクトの導入などにまとめることが可能である。

要件5 周辺とのネットワーク形成

本要件は、公園を取り巻く市街地や、観光周遊上の観点からの公園の魅力向上のための要件である。公園の魅力を決めるものは、単に公園敷地内の内容にとどまらず、その周辺状況によるところが大きい。それらは、公園へのアクセスのための公共交通機関の充実や、他の観光施設との観光周遊が図られること、また、周辺市街地との一体的な景観対策などが挙げられる。

交通アクセス性

海外事例ではほとんどの公園はアクセスが容易であり、国内事例もおおむねアクセス性は良好であった。もちろん、海洋博公園や新倉山浅間公園のように、アクセスの利便性が高いとまでは言いづらい事例もあるものの、アクセス性が悪いとまでは言えない。アクセス性の良し悪しは集客に大きく影響するため、立地条件（公園アクセス性）は、重要な要件の一つと言える。

アクセス性に優れない公園の魅力を高めるためには、交通手段の充実等の措置を講じる必要がある。特に、我が国への海外観光客の声として、単に交通インフラが整っていても、外国人には路線バスはほとんど乗りこなせないといった意見があるので、利用者への適切なアクセス情報提供手段も含めたアクセス性の向上策が必要である。

観光ネットワークの形成

観光の振興を図るには、単体としての公園のみで観光客の誘致を図るよりも、他の観光施設との周遊が図られたほうが望ましい。当該公園が際立って集客力がある場合には、本公園を中心に観光周遊ルートが形成されるが、集客力がそれほどでもない場合や、さらに集客を図る場合には、周遊上のネットワーク構築は有効である。具体的な策としては、団体ツアー客は、民間のツアー会社のコースに基づいて来訪するので、民間ツアー会社のコース上に公園が位置付けられる必要がある。そのためには、公園自体の魅力が伴うことが最も望ましいが、ツアー会社への観光手数料の支払いが可能なシステムの採用は有効である。また、個人客の場合は、他の観光施設とのセット券の販売など、周遊が図られやすい措置を図ることが望ましい。また、レンタカーやタクシー利用客の場合も、料金と入園料の割引等が一体になったタイアップが図られることが望ましい。

ちなみに、海外事例では、セントラルパークにおける周辺の博物館との情報共有程度しか具体の対策は見られなかったが、一方で、国内事例では、他観光施設等とのネットワーク形成のための努力がはらわれていた。観光行政にかかることはなかなか公園部局だけでは難しいが、観光部局や民間とのタイアップによって、その実現を図ることが望ましい。

周辺市街地との連携

公園緑地は都市の中の貴重な自然環境あふれるオープンスペースであるが、特に歴史公園などは、周辺の歴史的町並みと一体的な景観を形成することによって、観光上の魅力向上が図られることがある。国内の事例では、兼六園周辺の地区は、金沢市の景観条例によって眺望景観形成区域 兼六園眺望台区域に指定されており、周辺の建築物・広告物・設備に対して保全方針が定められている。また、沖縄の首里城公園は、首里城復元を契機に、周辺の街並みの景観意識が向上し、今では景観法に基づく那覇市景観計画が定められている。同計画では、首里金城地区都市景観形成地区が位置付けられ、首里城周辺の竜潭通り沿いの民間建築物は、首里城のモチーフ（赤瓦）を活用した意匠がデザインされている。このように、周辺市街地と一体的な景観形成に係る制度には多様な制度があるので、既存制度を活用した検討も必要である。



歴史公園に限らず、景観上の観点から都市の中における当該公園の位置づけは重要である。海外事例では、ハイラインの高架の下の土地は、鉄道とは関係の無い第三者の土地所有であったが、ハイラインの高架が撤去されれば、そこに建物を建てることができ、これらの土地所有者は莫大な利益が得られることになる。このため、これらの土地所有者の権利を守るために、開発権の移転が行われた。それは、ハイラインの上空の使えない開発権を近隣の他の街区の建物に移して売却するというものであった。本措置によって、ハイラインの通るチェルシー歴史地区は、引き続き建物の高さを低く抑えることが可能となり、地区の景観保全につながった。

景観上の周辺都市と公園の関係は、大きく、公園内の雰囲気に合わせて周辺市街地の景観整備、公園からの眺望を阻害しない周辺市街地の在り方（規制）、公園の存在による周辺市街地の住環境向上の三つに分類できる。セントラルパークの場合は、公園の存在によって周辺の住宅の価値が担保されている。以上のように、公園をその周辺地区と一体の施設として景観上の一体性を確保することが望ましい。

なお、都市の景観以外にも、公園とその周辺地域との連携は、エリアマネジメントに代表される地域全体での取り組みの一員としての連携も重要である。特に、公園はイベントをはじめとした地域連携の各種事業を実施する場として重要である。また、ニューヨークのハイラインのように、公園を核として地区全体が観光上一体的なイメージ形成が図られている場合には、地区全体での観光アピールの共同事業の実施につながる取り組みが求められる。

要件6 ソフトサービス

公園の観光上の魅力を向上させるには、ハードのみならず、適切な公園利用者や観光客へのソフトサービスの充実が、公園利用者や観光客の満足度を高めることにつながる。これは日本人が得意な「おもてなし」に通じるものであり、確実に集客や利用者の満足度向上につながる事項なので、重要な要件と考える。

ソフトサービスには、公園利用者や観光客への適切な情報提供や、園内での案内といった利用者案内が挙げられる。利用者への提供すべき情報は、大きく、公園を訪れるまでの事前情報の提供と、公園を訪れてから提供する情報とに分けられる。最近ではHPによる情報提供が利用者にとってが入手しやすいため、国内外ともにHPは充実してきている。また、主に国内事例では、園内での案内にICT技術を用いたサービスが提供されている。

イベントはソフトサービスとして集客に効果的なので、海外事例、国内事例ともによく開催されている。

利用者案内

従来から行われているサービスであるが、最近ではインターネットの発達によって、事前にHPにて情報が調べられるため、その適切な情報をタイムリーに影響することは重要である。特に、あしかがフラワーパークは、その日の花の咲き具合をタイムリーにHP上で情報提供しているが、まさにこうした情報提供こそが求められている。

また、SNSの発達によって、利用者の口コミが瞬時に広まってしまう昨今において、常に満足が得られる状態を備えておくことこそが重要である。

ICT 関連サービス

国内事例調査からは、最先端のICTデバイスを用いた利用者サービスも実施されている。これらは、基本的には、フリーWi-Fiのサービスと音声翻訳機の導入、案内音声アプリの開発に整理できる。これらのように、昨今は、インターネット環境の整備等のICT技術に関するサービスも提供されているのが特徴である。また、こうした技術は日進月歩のため、今後さらに便利なツールの開発も期待できる。利用者満足度の向上と、公園管理の省力化のためにも、積極的に導入を図るべきと考えられる。こうしたデバイスは、初期投資は必要だが、人件費の削減につながり、また、利用者にとっても利便性が良くなるので、必要なものという認識が必要である。

なお、ICT技術では、翻訳機のように多言語対応のために用いられている例が多い。また、国内事例では、ICT技術に限らず、海外旅行者のための多言語による利用者案内への取り組み努力がなされている。これは、我が国では言葉の壁が利用者案内上の課題になっているためであろう。その点、海外の公園、それも英語圏の場合には、海外旅行者が英語を話せばいいため、あまり言

語については課題意識がないのであろう。

イベント

公園にはイベント目的の来訪者も多いし、イベントによって来訪者の満足度が向上するため、積極的なイベントの開催が望ましい。なお、イベントは主催者が実施する主催者イベントと、第三者が実施する持ち込みイベントがあるが、理想的には集客力の高い持ち込みイベントの開催が望ましい。そうした持ち込みイベントが参入しやすい環境（ハード、ソフトとも）の充実を図ることが望まれる。

海外の公園事例では、実に多くのイベントが開催されていることが窺える。また、国内事例についても、それぞれの公園内容に沿ったイベントが開催されている。例えば、国営ひたち海浜公園のロックフェスティバルは、春のネモフィラ、秋のコキアと並んで、公園の大きな集客源となっている。ときわ公園は、彫刻の国際コンクール「UBE ビエンナーレ」が、インバウンドも含めた誘客に繋がっている。奈良公園は、公園管理者ではなく、隣接する寺社が開催する有名なイベント（東大寺修二会〔お水取り〕、なら燈花会、正倉院展、春日若宮おん祭）があるため、それが誘客に貢献している。

要件7 公園利用によって醸成された魅力

本要件は、公園の計画手順を踏んで導き出せるものではない。むしろ、その手順を踏んでも気づかれなかった魅力が存在する可能性があるということを意味する。また、本要件が適用できるケースは、既存の供用公園が対象となることが想定される。つまり、本要件を踏まえるとすれば、利用状態が捗々しくない公園のリニューアル計画を立案する場合に考慮すべき要件であると考えられる。

本要件が最も合致する事例は新倉山浅間公園である。その魅力がインバウンド客によって知られ、それがSNSで世界に広がり、人気に伴って国内観光客も訪れるようになった事例である。本公園で有名な五重塔は、本来は第二次世界大戦犠牲者の忠霊塔として造られたものであり、五重塔をモチーフにしているものの、鉄筋コンクリート製の建造物である。あくまで戦争犠牲者の鎮魂が目的で整備されたものであるが、五重塔という日本らしい



意匠の建造物であり、それが富士山やサクラと同時に一枚の写真に収めることができるため、外国人にSNS上で人気が出て、多くの外国人観光客が訪れる人気のスポットとなったという経緯がある。その意味では、忠霊塔整備の段階では想定していなかったインバウンド利用が生じ、ひいては国内観光客の集客にも寄与したということであり、利用者によってその魅力が発見・醸成されたという事例である。社会情勢の変化に伴って、公園の使われ方も変遷していくので、長い時間の経過があれば、当然ながら計画時点で想定しなかった使われ方がなされることはありうることである。そして、それが結果的に集客につながるのであれば、観光振興には寄与することになる。

本事例は、利用者によって公園の魅力が発掘されることではあるが、意図的にそうした潜在的な魅力を発見することによって、魅力の向上につなげていくことが考えられる。それらの留意点には以下のものが挙げられる。

公園の利用状況の把握

公園がどのように利用されているかを把握し、隠れたニーズを探し出す必要がある。その場合に、管理者が意図しない使われ方が見られた場合には、注意して観察したり、利用者へのヒアリングを行う必要がある。ただし、隠れたニーズはなかなか顕在化しないので、社会実験等の実施によって見出すことも必要である。特に、供用中の公園であれば、社会実験的に様々な公園の使われ方を試してみることもありうる。そして、公園利用者の反応に応じた公園のリニューアル計画を検討することが必要である。

既存の公園計画の取り扱い

一旦計画が立案されると、その変更は容易ではないが、公園の利用が十分に図られていない場合には、先入観を持たずに、また、既存の公園の基本計画にとらわれず、計画を白紙状態にみなして、虚心坦懐に公園のあるべき公園の姿を見出す必要がある。

第四章 資料の活用方法（手引き形式の活用方法）

前章までの検討で、観光振興に資する公園緑地の魅力向上に資する要件を整理してきた。実際に、公園緑地の事例において、観光上の観点から公園の魅力を上向きさせようとする場合には、基本的には前章に掲げた要件のうちで該当するもの全てに留意して検討することが望ましい。特に、要件の設定検討の過程で、要件1から要件4がより重要であることが認識されたので、本資料は第一章から順に読み進めていくことが推奨される。また、本資料には国内外の代表的な公園事例の情報も掲載しているので、有益な情報を得るという意味においても、順を追って読み進めていただくことを推奨したい。

しかしながら、既に公園緑地が供用中であり、特有の課題を解決するために改修等を行うようなケースにおいては、必ずしも本資料で掲げた全ての要件があてはまるわけではない。例えば、すでにハード面は整っており、ソフト面の改善にて観光客の増加を目指すような場合や、公園全体の改変予定はないものの、個別の公園施設の建て替えが実施される場合などは、該当する要件は限られてくる。このため、本資料が容易に活用できるように、以下のように手引き形式に必要な要件が導きだせるように配慮した。

1. 7つの魅力向上要件の関係性から必要な要件を導く

公園緑地の魅力向上を図る場合に、設定した7つの要件のうち、どの要件に留意すべきかを考える際には、まず、それぞれの要件の関係性を理解する必要がある。すなわち、それぞれの要件は全く無関係のものではなく、相互に関係しており、それらの要件のどれかがおろそかになってもいけない性格のものだからである。ちなみに、それらの要件の関係性を、図4-1のように示すことができる。

図4-1の左端には矢印を記しており、上方ほど要件の重要度が高いとしているが、これは上の方に位置づけられた要件がおろそかだと、いくらそれ以外の要件が満たされていても、十分に公園の魅力の発揮がされないことを示している。しかしながら、だからと言って、下方の要件が重要ではないという意味ではない。

なお、特に要件1から要件4までは、理想的には要件1から順を追って踏まえていくべき要件である。それは、第一章で紹介した海外事例を見ると理解しやすいが、正しい目的や理念に沿って公園のデザインコンセプトを立案し、さらにそれに基づいて施設の設計をして、具体の実現手段を講じていくというものである。段階的な要件の踏襲はどうしても必要となる。ただし、留意点のところでも述べたが、公園のリニューアル事例などのケースでは、要件2や要件3などから魅力向上の検討を始めることは実際にはありうる。それは、リニューアルが求められているような公園では、公園施設の見直しを行わなければならない課題がそもそも明らかに存在するはずであり、しかも警固公園の治安改善のように、卑近でかつ急を要する課題であることが想定されるからである。

一方で、要件5や要件6については、他の要件との関連性はあるものの、個別に検討することも十分に可能な要件である。例えば、公園の性格や施設を変更する予定はないが、他の観光施設との連携策や、イベント等のソフト施策で公園利用者の増加を図る場合などは、この要件5と要件6をそれぞれ単独で展開することができる。現況の公園緑地の魅力を即効的に向上させるには、これらの要件5と要件6に注目することが推奨される。

なお、要件7は、かなり特殊な要件であり、他の要件との関連性は低いように見える。これは、公園が利用されることによって醸成されてくる魅力や、公園管理者では気づかなかった魅力であるため、要件1からの手順を踏んで導ける要件でもない。しかしながら、公園の観光振興を図りたい場合に、要件1から要件6までに係る事項の手立てを講じても効果が見られなかった場合などは、要件7の観点から公園の魅力の再発見していくことは考えられる。要件7の具体的な留意点は前章に記しているが、公園管理者では気づくことのできなかつた魅力の再発見につながる可能性もありうると考える。

以上のように、図4-1を正しく理解していれば、要件1から要件7までのどの要件に配慮すべきかが見えてくるはずであるが、しかしながら、事例によっては、よくあてはまらない場合もありうるので、その場合は、魅力を向上させる目的から要件を導くことが考えられる。

要件1. 都市における公園の明確な位置づけ

当該場所に本公園が設置されている意味、設置されなければならなかった意義などが明確な公園は独自の魅力を有している。それは、歴史公園のように、すでに存在していた庭園を公園化する場合も同様である。逆に、存在意義が希薄な公園は魅力に乏しく、結果的に観光客の来訪は期待できない。

要件2. 設置目的に合致したデザインコンセプト

たとえ、公園の設置目的が明確であっても、その目的にそぐわない計画やデザインコンセプトが立てられていては十分に公園の設置目的は発揮できない。公園の設置目的に沿ったデザインコンセプトであることは重要な要件である。

要件3. 公園施設デザイン（施設内容含む）

公園設置目的や目的に沿ったデザインコンセプトをさらに現実化するためには、確かな技術に基づいた公園施設デザインが必要である。

（本資料案で取り上げたデザイン手法例）

- ①自然特性活用デザイン、②地域自然環境活用デザイン、③都市の自然環境保全デザイン、④都市のシンボル形成デザイン、⑤歴史的環境保全デザイン、⑥場の記憶保全デザイン、⑦都市の安全性確保デザイン、⑧鎮魂空間形成デザイン、⑨花活用デザイン

要件4. 公園の実現手法

魅力ある公園の実現には、実現するための具体的な手法が必要である。

事業費の確保、民間手法の活用、関係者間の調整、リーディングプロジェクトの導入

要件5. 周辺とのネットワーク形成

公園内の施設内容のみならず、周辺観光施設や周辺市街地との連携が必要である。

- 交通アクセス機能の向上：公共交通機関の充実、インバウンド客への適切な公園アクセス情報の提供等
- 観光ネットワークの形成：周辺観光施設との共通券の販売や相互の情報発信、レンタカーやタクシー利用者の入園料の割引制度、ツアー会社への観光手数料の支払いシステムの導入、行政組織内部での観光部局と公園部局の連携による観光施策の展開
- 周辺市街地との連携：公園内の雰囲気に合わせて周辺市街地の景観整備、公園からの眺望を阻害しない周辺市街地の在り方（規制誘導）、公園の存在による周辺市街地の住環境向上

要件6. ソフトサービス

ハードの整備のみならず、適切な公園利用者や観光客へのソフトサービスが重要である。

- 利用者案内：適切な事前情報の提供（HP等）、公園内での利用者案内
- ICT 関連サービス：Free Wi-Fi の導入、音声翻訳機の導入、案内音声アプリの開発 など。技術に歩はは日進月歩のため、今後さらに便利なツールの開発も期待できる。特に多言語対応や、維持管理費軽減につながる。
- イベント：主催者イベント、第三者が実施する持ち込みイベントの開催。持ち込みイベントが参入しやすい環境（ハード、ソフトとも）の充実

要件7. 公園利用によって醸成された魅力

もともと公園計画では想定しなかった使われ方によって公園利用の増進が図られることがある。この要件は想定することや意図した計画に盛り込むことが難しい要件ではあるものの、実際には起こりうることもある。

図4-1 各要件の関係

2. 魅力向上の目的から要件を導く方法

公園の魅力向上の検討の際に、魅力向上を図る目的から要件を導くことが可能である。その想定される目的を、表 4-1 に記載した。本表の目的欄に記された内容に近い行動を起こそうという場合には、該当する目的に合致した要件を導き、その要件の留意事項に沿った検討を行うことが望ましい。

表 4-1 想定される魅力向上の目的に応じた要件の対応表

目的	参照すべき要件	重要な要件の参照箇所（第三章）	備考
新規に観光に資する公園緑地を計画する	要件 1～6	P91～112	
既供用公園であるが、大規模に改修を行う	要件 1～7	P91～114	公園の基本的性格自体を見直すケースが該当する
公園の個別施設を新設、もしくは改修を行う	要件 2, 3, 6	P93～105 P111～112	公園の基本的性格を踏襲する
公園の自然特性を活かした新たな施設を整備する	要件 3	P95～105	自然を保全するテーマの公園であることが前提
公園の安全性を向上させて観光振興に寄与する	要件 3	P95～105	
公園の整備・運営において、民間のノウハウを活用する	要件 4, 5, 6	P106～112	
公園と調和した周辺市街地の景観向上を図る	要件 5	P109～110	
言語対応等のインバウンド対策を実施する	要件 6	P111～112	
イベントによって集客を図る	要件 6	P111～112	
想定していなかった公園の活用法を見出す	要件 7	P113～114	

3. 類似の事例から要件を導く方法

本資料案では、海外事例と国内事例の情報から要件が導かれているが、その根拠となっている事例は7つのタイプに分けて分類されている。本分類区分は、我が国の公園ならばどれもどこかに当てはまると考えられ、特に、観光振興に資する公園については合致しやすい区分が見つかるものとする。よって、もしも公園緑地の観光振興上の魅力向上策を図りたい場合には、まずは、検討対象の公園が、7つの区分のどれに該当するかを確認する必要がある。

なお、その場合に留意すべきことは、一つの公園は複数の区分に該当する場合があるということである。例えば、国内事例の海洋博公園は、Ⅶテーマ特化型公園に区分しているが、施設内容はⅤ施設複合型公園の性格も帯びるものであるため、本公園はⅦテーマ特化型公園とⅤ施設複合型公園の双方の性格を有することになる。また、事例では挙げていないが、もしも歴史的遺産である運河などを公園化し、そのほつりを歩けるように設計された公園は、Ⅳ遊歩道公園であるが、同時にⅥ歴史的公園でもある。このため、該当する公園の性格を的確に反映される区分の選定は重要である。もしも複数の区分にまたがる場合には、それぞれの性格を有する公園とみなし、両方の区分に係る箇所を参照にしなければならない。該当する公園の区分が決まったら、同じ区分

の参考事例が掲載された該当箇所を参照されることを勧める。掲載ページは、本資料の目次にタイプ別の頁数が記されている。

4. 自己診断表に基づく評価方法

公園緑地の魅力向上のための要件を導く方法として、検討対象の公園緑地の自己診断を行うことによって、補強すべき要件を明らかにするという方法も有効である。具体的には、次頁の表4-2を用いて、各要件に該当する事項を書き出し、整理したどの要件が弱いかを診断するものである。評価欄については、自己診断にて記載することも可能だが、学識経験者等の第三者が記載することも可能である。本表によって、補強が必要とみなされる要件については、類似のタイプの公園緑地の事例等を参考にして、魅力向上策の検討に資することが望ましい。

表 4-2 自己診断表

	要件	小要件	該事項記載欄	評価欄
1	都市における公園の明確な位置づけ			
2	設置目的に合致したデザインコンセプト			
3	公園施設デザイン(施設内容含む)			
4	公園の実現手法			
5	周辺とのネットワーク形成	交通アクセス機能の向上		
		観光ネットワークの形成		
		周辺市街地との連携		
6	ソフトサービス	利用者案内		
		ICT 関連サービス		
7	公園利用によって醸成された魅力	イベント		

あとがき

本資料は、公園緑地の魅力を高め、観光振興に積極的に役立てていくことを目的として、我が国の公園緑地の観光的活用方策の調査・研究をするため、平成 29 年度から令和元年度までの 3 箇年にわたり実施した「観光振興に資する公園緑地の魅力向上策に関する研究」の成果をとりまとめたものです。

公園緑地の事例の抽出にあたっては、安島 博幸跡見学園女子大学観光デザイン学科教授、代表的な海外の公園についての詳細な調査にあたっては田代 順孝千葉大学名誉教授、三友 奈々日本大学理工学部土木工学科助教、田島 夏与立教大学経済学部国際センター長補佐（教授）、木下 剛千葉大学大学院准教授、阿部 伸太東京農業大学農学研究科准教授、井上 忠佳ブリスベン国際博覧会日本館元副館長の学識者の方（役職は当時）からご意見を頂戴しました。また、事例に関わる資料収集については、各事例の関係する事業者等の皆さまに多大なご協力を頂戴しました。ここに、深く御礼申し上げます。

.....

国土技術政策総合研究所資料

TECHNICAL NOTE of N I L I M

N o . 1141 December 2020

編集・発行 ©国土技術政策総合研究所

.....

本資料の転載・複写の問い合わせは

〒305-0804 茨城県つくば市旭1番地

企画部研究評価・推進課 TEL 029-864-2675